平成 30 年度 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会 事業報告·決算







平成30年度

社会福祉法人 開成町社会福祉協議会 事業報告

はじめに

開成町社会福祉協議会は、一人ひとりの声を大切に、生涯にわたる生活を総合的に支えるしくみをコミュニティワークの実践をつうじて築いていくこと、開成町らしさあふれる"共助"文化の創造をめざして、平成30年度は次の事業・活動に取り組みましたので報告いたします。

目次

■事業報告 総括表	2
■福祉·企画 部門	
地域福祉活動推進 関係	
O1 自治会福祉活動の支援	7
O2 ボランティア活動の推進 (ボランティアセンター)	8
O3 当事者活動の支援	10
- O4 広報啓発事業の充実	13
O5 福祉教育事業の充実	15
法人運営 関係	
06 事業推進体制の整備	17
■福祉サービス 部門	
福祉サービスの利用支援 関係	
07 安心センター事業の充実	25
O8 総合相談・援護事業の充実	26
ー 在宅福祉サービス 関係	
09 在宅福祉サービスの推進(介護保険外)	27
10 介護保険事業の推進	30
11 地域包括支援センター事業の推進	31

■資 料

平成30年度社会福法人開成町社会福祉協議会 事業報告 総括表

◎:計画以上の成果(100%以上)○:概ね計画通りの成果(60~100%)△:計画どおり進まなかった(30~60%未満)■:成果がない・未実施・未実施(30%未満)

事業名称 評価 評価の説明 改善策及び今後の取り組み ް−No. 福祉·企画部門 01自治会福祉活動の支援 ① 自治会福祉活動サポート事業 本事業助成金が実効性を伴って活用 ・自治会域における共助活動のレベ ルアップと支援方策のアップデート されているため。 7 \bigcirc ・生活支援体制整備業務との有機的 連携、協働 自治会福祉部連絡会の開催 自治会福祉部長各位の課題認識の共 ・開成町らしい共助活動のレベル 有化が図れているものの、対目標比 アップ ・地域における新たな福祉課題の把 7 77%に留まったため。 Δ 握と柔軟、先駆的な取り組みへのア プローチ強化 上記①自治会福祉活動サポート事業 自治会福祉部の育成・支援 職員派遣を通じて本会の運動体とし 及び②自治会福祉部長連絡会とリン ての機能発揮が少なからず図れてい 7 るものの、派遣回数は対目標比89% クさせながらの新基軸に基づく支援 に留まったため。 本会の運動体としての機能発揮が少 地区別ふくし座談会(隔年開 ・寄せられたご意見の適切、リアル なからず図れているため。 タイムな事業反映とフィードバック 催) ・オープン参加で公開性を高めるア プローチと真に福祉ニーズを抱える 8 \bigcirc 当事者の出席促進 02ボランティアセンターの推進 ○ 1 ボランティアセンター機能の整備・強化 ・地域と連携したニーズ、マッチン ●ボランティア活動内容の把握と 年度途中からではあるが、相談件数 強化 をカウントできたため。 グ方法の確立(生活支援体制整備業 8 0 務との連携強化) • 市民活動的なボランティア活動の 把握 ②ボランティアの登録促進(発 団体及び個人の登録数が前年度を上 ・個人登録ボランティアの確保と末 登録ボランティアへの案内強化 掘•育成) 回れたため。 地域と連携したニーズマッチング 8 0 方法の確立(生活支援体制整備業 務、ちょこボラとの連携強化) ・各ボランティアグループの活動把 ❸ボランティアグループ等の育成 助成金交付申請手続きにおいて各団 (助成•支援) 体の活動状況が把握できたため。 握と支援 9 \bigcirc • 新たにグループ化した団体等への アプローチ ② ボランティア講座の開催 ・若年層(小中学生等)に対する案 ①手話講習会(入門講座) 目標の参加者10人以上が達成できな 内強化〔学校へ協力依頼、連携〕 かったため。 9 Δ • 近隣市町社協と連携した広域事業 ○ ③ ボランティアグループ等情報交 年間2回開催予定でしたが、1回の開 ・定期的な開催によるグループ等の 換会の開催 *名称変更 催となり、全登録団体の出席が得ら 情報交換、情報共有、課題改善の強 9 れなかったため。 Λ 化 • 対象グループが参加しやすい環境 づくり 登録人数、派遣回数共に昨年度を大 ・個人登録ボランティアの確保 ④ お互いさま活動「ちょこボラ」 の実施 きく上回ったため。 ・地域と連携したニーズマッチング (0) 10 方法の確立 ・生活支援体制整備業務との連携 広域連携による運営、継続実施予定 ⑤ 足柄上地区災害ボランティアセ 災害ボランティアセンター設置まで の課題の整理、理解が深まったた ンター担当職員等研修会 10 0 (足柄上地区社協連絡会事業として X) 位置付け) 03当事者活動の支援 (高齢者) 敬老会の開催(開成町共催) 来場者の目標は達成されましたが、 多くの高齢者や家族の参加を得られ る魅力ある内容(進行プログラム、 従前のスタイルから脱却するため 10 0 の、検討委員会を設け、新たな内容 余興など)の開発 (高齢者への敬意とおもてなしの を導入できたため。

事業名称	\$ [−] No.	評価	評価の説明	改善策及び今後の取り組み
② ふれあい交流会の開催(民生委員児童委員協議会共催)	11	0	開催準備の負担が多く課題も多かったが、参加者の満足度は高いものと なったため	・毎年ご好評頂いている保育園児と のふれあいの継続 ・対象者とのコミュニケーションの 充実を図り今後の見守り活動を円滑 にし、外出機会の継続をめざします
③ 老人クラブ連合会の支援(事務局)	11	Δ	目標会員数に達しなかったため	・一般住民への事業活動の周知強化 ・会員加入にむけた事業見直し、既 存事業の統廃合
(障がい児者)				
① 足柄上郡障がい者レクリエーション大会等の開催(足柄上郡5町社協共催)	11	0	初めてインドアスポーツを開催でき たため(ボウリング大会からの脱 却)。 カーレットは参加者から好評だった ため。	・ 待ち時間なくスムーズに楽しめるよう時間配分計画 ・ レクリエーション指導員派遣事業の(「レク先生がやってくる」)活用検討
② 障がい児者ネットワーク会議の 開催	12	0	障がい者週間に合わせて「ともに生きる社会かながわ憲章パネル展」を 開催できたため。	・関係機関との情報交換、表面化した意見や課題の改善に向けた取り組みの具現化(事業展開) ・ともに生きる社会かながわ憲章パネル展の継続開催 ・開成町役場完成に伴い「開成町障がい者福祉大会(仮称)」内容協議
③ 身体障がい者福祉協会と心身障がい児者と家族の会かるがもの支援 (事務局)	12	0	かるがも、身障協会で研修会に参加できたため。	・共催事業の内容充実と継続・会員加入に向けた取り組み(広報等)
(ひとり親家庭)			,	
① ひとり親家庭ネットワーク会議の開催	12	Δ	当事者団体、関係機関との情報交換の機会となっている	情報の共有化と把握したニーズ解決に向けた取り組みの検討
② 母子寡婦福祉会つくしの会の支援(事務局)	12	Δ	年間を通じ新規会員募集のPRを行っているが会員数が伸びていないため。(1人増)	会員募集方法、活動PR、情報発信の 方法の検討
(子育て支援)				
○ ① 子育て中の親子のサロン「チ ビッ子らんど」の開放	13	0	親子の交流や仲間づくり、情報交換の機会となっている。	・PR強化、子育て支援に関する情報 発信と相談窓口の設置・関係機関との連携強化
○ ② チビッ子らんどフェスタの開催	13	0	前年度を大幅に上回る参加者が得られたため	・子育て中の世代への社協のPR、 ニーズ把握の機会としての活用 ・子育て支援の関係機関との連携強 化
04広報啓発事業の充実				10
○ ① 広報紙「社協だよりかいせい」 と「かいせい社協かわら版」の発行 報紙発行	13	0	昨年より多くの情報をSNSに掲載することができた。広報紙の配架場所のPRができた。	・新規企画会議の開催(概ね3ヶ月に 1回) ・モニター制度の活用 ・広報紙配布場所の拡大
② 社会福祉大会の開催	14	Δ	草の根福祉活動実践者への顕彰披露 等により福祉意識の啓発、向上には 寄与できているものの、対目標比 57%に留まったため。	当町らしい共助文化を育み、創造する場面としての内容刷新(リニューアル)
③ ホームページ公開・更新	14	0	7月に全面リニューアル及び2月に福祉会館オンライン予約を導入できたため。	・ホームページ掲載内容の充実、活用(追加) ・福祉会館オンライン予約システム の再検討
④ 地区別かいせい社協説明会の開催	14	0	①本会概要⇒②会費納入手順の一体性、連続性を考慮しつつ、地域特性を踏まえ、赴いた地区担当職員が説明できていると考えるため。	会員制度含む本会の必要性の訴求
05福祉教育事業の充実		ı		
① 福祉ふれあい教育推進事業への 助成	15	0	各校が希望する福祉体験プログラム のコーディネート(講師派遣、連 携)及び助成ができたため。	・助成金制度の周知(「福祉教育関係者連絡会」において周知) ・助成金活用しての福祉教育プログラムの充実
② 小・中学生福祉作文コンクールの実施	16	0	応募総数が目標数を上回り、神奈川 県福祉作文コンクールにおいて入選	・募集案内、周知強化(福祉教育関係者連絡会において行う)
③ 親子ふくし一日教室	16	0	者多数だったため。 参加人数は目標を下回ってしまいましたが、各種団体の協力を得て体験 型の福祉プログラムを行えたため。	・案内チラシ配布依頼(7月)・参加、体験型の事業として内容の 充実・開催案内、参加者募集案内周知

事業名称	\$ [−] No.	評価	評価の説明	改善策及び今後の取り組み
④ 福祉教育関係者連絡会の開催	16	0	計画通り年間2回開催できたため。 全ての関係機関からの出席をいただき、情報等が共有できたため。	・関係機関との情報交換の場としの定期開催 ・助成金の有効活用いただくため情報提供の場としての開催 ・表面化した意見、課題の改善にけた取り組みの具現化
⑤ 資格取得のための学生等実習生 の受入	17	0	養成機関の都合により受け入れ人数が目標に達しなかったが、3人の学生を受け入れできたため。	・本事業に取り組む必要性を全職が再認識 ・業務の振り返りと後継者育成が 的であることを全職員で共有化
6事業推進体制の整備				
) 会務等 ① 理事会の開催	17	0	理事会への出席率も高く、毎回建設 的かつ活発な議論が交わされている ため。	自律的法人経営をめざした的確な 断と地域に開かれた組織体制の確
② 監事会の開催	18	0	毎回適切に監査いただき、活発な質問や意見、指摘が表出され、都度説明を加えることにより、監査機関としての役割発揮が果たせていると考えるため。	新たに整備した監査マニュアルに 沿った監査の実施
③ 評議員会の開催	18	0	毎回活発な質問や意見が表出され、 都度説明を加えることにより、議決 機関としての役割発揮が果たせてい ると考えるため。	自律的法人経営をめざした的確な 断と地域に開かれた組織体制の確
④ 理事担当部会(総務・事業)の 開催	19	0	毎回活発な質問や意見が表出され、 都度説明を加えることにより、理事 担当部会としての役割発揮が果たせ ていると考えるため。	自律的法人経営をめざした理事担 部会の機能強化
⑤ トップミーティング(経営者会 議)の開催	19	0	毎回活発な質問や意見が表出され、 都度説明を加えることにより、経営 者会議としての役割発揮が果たせて いると考えるため。	・自律的法人経営をめざしたトッミーティング(経営者会議)の機強化(経営判断) ・正副会長の負担軽減のため、理会前の開催検討(コンセンサス目開催は廃止方向)
⑥ 役員研修会の開催	19	0	役員各位の識見向上に少なからず寄 与できていると考えるため。	役員各位の出席率向上
⑦ 評議員選任・解任委員会の開催	20	0	が要な手続きとして機能しているため。 がある。	 評議員の任期満了、改選期及び選 母体側都合による任期途中の交替 に随時設置、開催
⑧ 地域福祉推進協議会の開催	20	0	計画の進捗、達成状況を各層から多面的に評価いただき、的確な進行管理に資することができているため。	社会福祉法に定める地域福祉像及市町村地域福祉計画像の当町らしを発揮した具現化促進
⑨ 職員会議の開催	20	Δ	PDCAミーティングは12回開催できましたが、部門ミーティングにおいては定期開催ができなかったため。	・PDCAミーティングについては 事業進捗チェック機能の強化 ・部門(福祉企画、福祉サービス ミーティング開催検討
⑩ 職員の資格取得促進と各種研修等への参加	21	0	各種研修を受講し職員1人が新たな資格(主任ケアマネージャー)を取得できたため。	職員の資質及び専門性の向上を図 ための資格(国家資格、ケアマネ ジャー)取得
財源の確保			40.00	
① 会員加入の促進(地区別かいせい社協説明会とのリンク)	21	0	一般会員(世帯、団体)数及び賛助 会員数とも前年比プラスとなったため。	現行の加入率61.0%(H30実績 自治会加入率相当の約80%までき 上げることを当座の目標とし(= 治会加入世帯は100%本会会員) 最終的には町内全世帯加入をめざ ます。
② 寄付寄託者の拡大と福祉基金の 増強	21	Δ	基金取り崩しを行わざるをえなかったため。	寄付金についてはPRの強化及び他の見える化に、福祉基金について避難的基金取り崩しの事態回避とみ増しの実現にそれぞれ努めます
③ 共同募金の実施	22	Δ	前年実績を上回ることができなかっ たため。	PRの強化及び使途の見える化をすめ、前年実績増をめざします。
)連絡調整機能の充実	1	1	1	
① 公私社会福祉事業関係機関・団体等との連携	22	0	関係機関、団体と連携し、各協議会 等へ参画できたため。	今後も積極的に関係機関、団体と 携協働し、地域福祉の増進に努め 社協の存在意義を強く示す

	Í	İ	1	ı
事業名称	\$ [−] No.	評価	評価の説明	改善策及び今後の取り組み
② 民生委員児童委員協議会の支援 (事務局)	23	0	定例会及び役員会を予定通り開催できたため。 他町との交歓民児協の実施及び上ブロック大規模研修等に積極的に参加ができたため。	児童委員活動の強化(研修参加、活動周知)
4) 受託(指定管理者)事業の運営				
○ ① 生活支援体制整備業務の実施 (生活支援コーディネーターの配置 (町受託事業))	23	0	中家村並びに円中地区の取り組みを中心に地域の活動を支援できたため。 関連事業(フォーラム、講師派遣、広報啓発物の製作)ができたため。	・本事業の必要性、重要性を地域住民に理解していただくための取り組み強化 ・地域で活動されるボランティアやコーディネーターの養成、セミナーや研修会の開催 ・社会福祉協議会の地区担当職員と連携を密にした地域課題の発掘、地域づくり
② 福祉会館の管理・運営(指定管理者制度事業)	24	Δ	利用時数、稼働率、利用件数、利用 人数全ての項目において前年比増と なったものの、稼働率が目標未達と なり、福祉会館独自事業も未開催 だったため。	・ 公共施設、自治会施設、町内店舗 (賛助会員) などに案内ポスター貼 付、パンフレットの設置依頼強化 ・会館独自事業の創出(チャリ ティーコンサート、夏休みプログラ ム、避難所宿泊体験など) ・小学生以下の子どもと母親が属す る子育てサークル、団体の利用料無 料化(町との調整、協議要)
福祉サービス部門				
07安心センター事業の充実				
① 日常生活自立支援事業の実施 (県社協受託事業)	25	Δ	目標の利用契約者20人、支援員2人確保が達成できなかったため。 生活支援員の不足により専門員が生活支援員を兼務する状況があるため。	・専門員及び生活支援員の資質向上 と適正な支援が行われる体制整備 ・専門員と生活支援員がそれぞれの 役割を踏まえた相互牽制機能できる 体制整備
② 福祉対象者把握一覧の整備・活用	25	0	年間2回更新ができ、情報が共有化できたため。	対象者の理解(同意)を得て、必要な方が記載されるよう周知を強化し
<u>円</u> ③ 法人後見事業の調査・研究	25	0	足柄上地区社協連絡会として、日常 生活自立支援事業を中心とした「成 年後見推進センター」の設置に向け た取り組みを強化する方向性が確立 できたため。	近隣社協(足柄上地区社協連絡会)で課題の一つとして広域連携事業として検討します。
08総合相談・援護事業の充実			,	
1)総合相談支援関係				
① 総合生活相談の実施	26	0	適切な助言、援助、関係機関への移行(連携)ができているため。	金融機関や病院などへの相談所開設 PR
2) 生活困窮者支援関係 ① 生活福祉資金の貸付(県社協受 託事業)	26	0	貸付や償還の相談対応を迅速に行えたため。	貸付相談に対する的確な判断と迅速 な対応。関係機関との連携と必要な 情報の共有
3)援護関係				
① 年末たすけあい援護費の支給 ② 交通遺児援護費(県社協受託事業)の支給	26 27	0	効果的な配分ができたため。 * 今年度支給対象なし	配分の妥当性(使途)の審査
③ 災害見舞金支給	27	0	迅速かつ適切に見舞金を支給できた ため	該当者への適切かつ迅速な支給
09在宅福祉サービスの推進				
① 福祉機器貸与事業の実施	27	0	・年度末のアンケートで満足度が高評価だったため。 ・初回利用者に対し丁寧な事業説明を行なうことができたため。	・短期利用者への満足度調査、アンケートの実施 ・HPや広報紙によるPRを図る・老朽化した機器の廃棄処分(H3O年度はPトイレ10台を廃棄)
② ふくし移送サービスの実施	27	0	利用件数は目標を達成でき、利用者の移動の利便性を提供できたため。	・支援者(運転業務)の確保及び教育 ・利用者のアセスメント、モニタリングの継続
③ 生活援助ヘルパー派遣事業 ● 高齢・障害サービス ❷産前・産後 サービスの実施	28	0	関係機関との連携のもとサービス提 供を行い、情報共有を図ることがで きた	・アセスメント、モニタリングの継続 ・新規利用の促進に向けたPR強化
④ 「ふれあいサロン金曜会」の実施	28	0	参加者相互の交流の機会となっているため	 新たな参加者の募集、広報PR 健康づくりなどテーマごとのメニューの検討
	1	1	1	1—— •>1\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\

事業名称	చ~No	評価	評価の説明	改善策及び今後の取り組み
⑤ レスパイト (障がい児者家族等 の休息) サービスの実施 (ボラン	29	0	当事者団体との共催できた。他事業 所の協力もあり多くの参加者があっ	・一時預かり中の保護者向けプログ ラムの検討
の	29		た。 定行及び利用状況調査が実施でき、	・プール体験回数の増加 ・サービスの質の維持に向けた運転
	29	0	利用者数が大きく伸びたたため。 地域の声、利用者要望への可能な限 り対応できたため。	員ミーティングの実施 ・利用者要望の把握と今後の運行形態の協議
10介護保険事業の推進				ぶいの助政
① 居宅介護支援事業(ケアマネジメント)の実施("介護予防"居宅介護支援事業含む)	30	0	年間を通じてプラン立案件数を維持 することができたため。	新規ケース依頼の依頼に対し、可能 な限り対応できるよう事業所の体制 整備(新規採用)
○② 通所介護事業(デイサービス) の実施("介護予防"通所介護事業 含む)	30	0	営業活動により利用登録者も順調に増え、目標値を達成。	よりきめの細かいサービスの研究と 提供。送迎車両(大型)の見直し、 入れ替え
③ 介護保険事業利用者等意向調査 の実施	30	0	居宅: 昨年度と同様に比較的満足度 の高い回答が得られたため 通所: サービス内容の変更による満 足度調査で満足度の高い回答が得ら れたため。	居宅:職員間の情報交換により、迅速な対応、よりよいサービス提供をめざします 通所:満足度の高いサービスの提供を継続します
11地域包括支援センター事業の推進		•		
1) 包括的支援事業(開成町受託事	業)			
① 介護予防マネジメント事業の実施	31	0	体制が不十分ながらも委託は要介護 状態のご家族や要介護から要支援へ の移行ケースのみ(2件増)で、その 他のケースはセンター内で対応した ため。	・プラン立案を受けていただける居 宅介護支援事業所の確保 ・センターの人員体制の整備
② 総合相談支援事業の実施	31	0	相談件数は目標を下回りましたが介護予防把握事業や認知症サポーター養成講座等と合わせながら包括の周知を行なえたため。	相談窓口体制の整備と相談窓口とし ての周知
③ 権利擁護事業の実施	31	0	相談に対し行政や包括内で相談し適切な支援を図ることができたため。	行政、福祉事務所、社協事業等の関 係機関との更なる連携強化を図りま す
④ 包括的・継続的ケアマネジメント事業の実施	32	0	相談件数は微減ですが、連携のもと 対応できたため。	・人員体制の整備 ・平成31年度からは町(保険者)と 共に居宅介護支援事業者連絡会の内 容を検討
⑤ 地域ケア会議(開成町地域ケアねっとわ~く会議)の開催	32	0	会議開催回数は目標どおり12回でした。個別会議では活発な意見交換ができ地域課題をイメージする話し合いができたため。	包括支援センターの日々の相談業務からも地域の実情を把握し課題抽出、解決方法を検討していく会議とする
2) 指定予防介護支援	32	0	人員体制が整わないため、即応性に やや欠けていたと思われるため。	・人員体制の整備・相談窓口体制の整備
3) 在宅医療・介護連携推進事業	32	0	在宅医療介護連携支援センターの主催する研修参加のほか、毎月に地域ケア会議への参画を図れたため。	切れ目のない支援を提供できるように包括と医療や事業所間での連絡、調整機能の充実を図る
4) 認知症総合支援事業	33	0	ボランティアの協力を得ながら、認知症カフェ「ほのぼのサロン」の開催や認知症サポーター養成講座の受講者増を図れたため。	・ボランティアの協力を得ながら、 認知症力フェ「ほのぼのサロン」の 増回、内容の充実 ・徘徊高齢者が発生した場合の町と の連携体制(役割分担)の検討
5) その他 ① 介護予防・日常生活支援総合事				
業の実施	33	0	地域ケアねっとわーく会議での専門 多職種による地域課題検討の他、個別会議において地域住民や民間事業 所の参加を図ることができたため	総合事業対象者や介護保険申請前の 方への生活支援サービスの周知、充 実を図りフレイルの段階から地域、 町、石柱は25協働レ介護予防に努める
② 介護予防対象者把握事業の実施 	33	Δ	保健師の採用が叶わず、プランナーを含め3名で事業を進めました。	・保健師の採用・多職種連携による相談支援体制の 充実を図る
③ 任意事業の実施	33	0	昨年度より多くの住民の方々に認知 症について考える機会を設けられた ため。	認知症であっても安心して暮らせる まちづくりに向けた取り組みの体系 化

平成30年度 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会 事業報告

□福祉・企画部門□

【評価基準】

◎:計画以上の成果(100%以上)△: 棚ね計画通りの成果(60~100%)△:計画通りに進まなかった(30~60%)■:成果がない・未達・未実施(30%未満)

地域福祉活動推進 関係

白治会福祉活動の支援

<u>01 自治会福</u>	祉活動の支援	₹		
① 自治会福祉	业活動サポート			
	にする取り組 的かつ継続的 員の派遣等) 具体的には	み(自治会福祉)に展開できる。 。 、自治会福祉	自治会エリア)において、さまざまな人々が互いにた 祉活動)が、それぞれの地区にふさわしい創意と工夫 よう支援するために、サポート事業を実施しました(活動の推進に意欲的に取り組む自治会を実施主体とし	を活かしたものとして主体 助成金の交付、地区担当職
内容	ステップ1 ①啓発活 ②援助活 ステップ2 ①認知症	(基本事業) 動 ~ ふれる		、その他
期日	通年			
対象地区			延沢、④下延沢、⑤円 中、⑥宮 台、⑦牛 島、 本、⑪中家村、⑫下 島 ⑬パレットガーデン *	計13地区
目標達成度を計 る指標		いきいきサロ	ン等を含む)各地区事業の年間総開催回数	目標設定 400回
助成額	計1,617,00	O円(*1地区	[上限130,000円、同平均124,000円)	
実績・成果	が、自治会福 文化)の実現 つなげる)。 各地区事業の	祉部を中心に へ向けて、本 年間総開催回		動における住民自治(共助
課題			マンネリ化からの脱却 した柔軟な事業展開視座の涵養	
評価	0	評価の説明	本事業助成金が実効性を伴って活用されているため。	
			動のレベルアップと支援方策のアップデート の有機的連携、協働	
② 自治会福祥	业部長連絡会 <i>の</i>	D開催		
内容	各地区の事		ついての情報交換と今後の新たな活動展開及び課題に した。	ついての意見交換等を行う
	① 7月5日(iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	木)	* 計1□	
目標達成度を計	本級会への名	白い合ったが	三 の川麻葱	目標設定
る指標	連絡会への各	日心女徳仙郡	区の山市学	100%
参加者数	10人			
実績 • 成果 	主に自治会 の打開策模索	福祉部長を対象 の場として機能	象に、相互の情報、意見交換を行うべく開催していま 能しています。出席率:77%(10/13)。	す。課題認識の共有化とそ
課題	より生活支援	型活動を意識	した取り組みへのアプローチ強化 	
評価	\triangle	評価の説明	自治会福祉部長各位の課題認識の共有化が図れている 留まったため。	5ものの、対目標比77%に
改善策及び今後 の取り組み			レベルアップ 課題の把握と柔軟、先駆的な取り組みへのアプローチ	強化
③ 自治会福祉	业部の育成・支	援		
内容	地区担当職 福祉活動を支		専門員)を派遣し、情報提供、助言等を行うことによ	り、各地区の特性に応じた
期日	通年			
目標達成度を計 る指標		(年延/全事	業計)	目標設定 80回
職員派遣回数	延71回(* 🕏	全事業計/前年	比19回增)	

実績・成果			助言等をつうじ ュニティワーク		の特性に応じ	た福祉活動が	主体的、継続的	かに展開でき
課題	地区担当職員	の地域援助技	術たるコミュニ	ティワーク	のスキルアッ	プ(情報収集	、分析、提供能	能力)
評価	Δ	評価の説明	職員派遣を通じ 派遣回数は対目				からず図れてい	るものの、
改善策及び今後 の取り組み	上記①自治会	福祉活動サポ	ート事業及び②	自治会福祉	部長連絡会と	ニリンクさせな	がらの新基軸に	基づく支援
○④ 地区別ぶく	くし座談会の開							
	ことにより、 ともに、開成 年開催)。 ①説明	福祉活動にお 町らしい福祉 ~ 開成町 ~ ずっと	き、住民の方々 ける自治の実現 コミュニティ(のたすけあい活 このまちで安心 不安を出し合っ	をめざした (共助文化) (動はいまー) (して暮らし	さまざまな取 づくりに寄与 ていくために	7り組みのより することを目 -	一層の充実、乳 的として開催し	経展を図ると
							目標設定	
る指標	1地区めにり		ma/			00 (L (00		30人
期日	② 10月11 ③④10月14 ⑤⑥10月20	:8(土/岡 8(木/牛 :8(土/上 :8(土/下延 :8(土/宮	島) 島、みなみ) 沢、河原町)		⑩⑪11月1	0日(土/円 1日(日/金井 8日(日/上延 5日(日/パレ	場、下島))
会場	当該地区の自	治会館等集会	施設					
参加者数	延403人 *	< 1地区平均28	3.8人、前回(H	128) 比74	人増			
共催	開催地の自治	会						
実績•成果	しています(りが感じ取れ することのな	コミュニティ ます。また、 いよう働く「 後には、お寄	る「福祉力」を ワーク実践)が 住民各位の抱か 調整弁」として せいただいたす	び、ご発言の れる想いや の役割も果	ひとつひとつ 要望、実態と たせています)から自治、共 :本会の描く将: 「。	助意識の着実な 来像(ビジョン	で醸成、高ま ソ)とが乖離
課題			地区における参 えるプレゼンテ					からの脱却
評価		31.2 - 27.75	本会の運動体と				ため。	
改善策及び今後 の取り組み			、リアルタイム 高めるアプロー				出席促進	
02 ボランテ	ィアセンター	-事業の推進						
○① ボランテ-	ィアセンター機	鱶能の整備・強						
	ティア活動内容 ボランティ		<u>.</u> る情報の整備、	t⊒/H t□=\/	ひっぱポニヽノ=	シマの冬年に	准 套成空友怎	テンニトにト
内容	り、ボランテ		拠点機能の整備			「イアの豆球ル	姓、月戍守で1、	JUCCICA
	通年						目標設定	
目標達成度を計 る指標	怕談件数●▼						総合的な取り	組み強化
実績・成果	内訳		活動:7件、沉			、ちょこボラ	: 34件、その(也:1件
課題		活動者(希望 整備事業との)の把握と派遣 連携	iのマッチン [·]	<i></i>			
評価	0	評価の説明	年度途中からて	ではあるが、	相談件数を	カウントできた	きため。	
改善策及び今後 の取り組み	・地域と連携・市民活動的			の確立(生	活支援体制整	経備業務との連	携強化)	
2 ボランラ	ティアの登録仮	産進(発掘・育	ī 成)					
	ボランティ 通年	アの発掘、育	成を図り、登録	促進、育成	等を促進しま	こした。		
登録者数	①グループ ②個人	8グループ(19人			*計 14 *前年比 2	46人 24人増		
実績・成果	新規登録1団	体がありました	こ。					

課題	お互いさま	活動「ちょこ	築に向けた、地域の担い手(個人登録ボランティア) ボラ」の担い手(個人登録ボランティア)の確保 マッチング方法の確立	の確保
評価	0	評価の説明	団体及び個人の登録数が前年度を上回れたため。	
改善策及び今後 の取り組み			確保と未登録ボランティアへの案内強化 ッチング方法の確立(生活支援体制整備業務、ちょこ	ボラとの連携強化)
❸ ボランラ	ティアグルーフ	プ等の育成(助	的成•支援)	
内容	情報提供等	を行うととも	に、活動費の一部を助成し、活動を支援しました。	
期日	通年			
助成数•金額	6グループ	計 174,000	O円 (前年度比 団体、助成額ともに 増減なし)	
実績・成果	地域で活動 れています。	されている各	グループへ活動費を助成し支援することにより、安定	的、継続的に活動が展開さ
課題	財源の確保と	:助成対象グル	ープの固定化	
評価	0	評価の説明	助成金交付申請手続きにおいて各団体の活動状況が打	巴握できたため。
			の活動把握と支援 体等へのアプローチ	
② ボランティ	ィア講座の開催	Ĕ		
内容			のある方々を対象として、知識の習得と住民の主体的 することを目的に、手話入門講座と音声訳ボランティ	
目標達成度を計 る指標	参加受講者数	Į.		目標設定 各種講座10人以上
① 手話講習会	(入門講座)			
	①2月15日	(金)	④3月 8日(金)	
期日	②2月22日	(金)	⑤3月15日(金)	
	③3月 1日	(金)	⑥3月22日(金)	*計6回
会場	福祉会館			
協力	手話サークル	かたつむり、	足柄上ろうあ福祉協会	
参加者数				
実績・成果			わかりやすく知識技能の習得がすすみ、参加者の興味 たサークルへ加入された方もあり、グループの機能強	
課題			(ボランティア活動へつなぎ) 内容の固定化)	
評価	\triangle	評価の説明	目標の参加者10人以上が達成できなかったため。	
改善策及び今後 の取り組み		中学生等)に 協と連携した	対する案内強化〔学校へ協力依頼、連携〕 広域事業展開	
○③ ボランティ	ィアグループ等	等情報交換会 <i>の</i>	D開催	
内容	ティアネット	ワークの拡大	ティアグループ等が集い、お互いの交流を深め、情報 を図ることを目的に、交流会を開催しました。 報、意見交換等。	と課題を共有し、ボラン
	3月 7日(木 福祉会館	7)		
 目標達成度を計 る指標	参加団体・者	 数		目標設定 全グループ参加
参加者数	7団体(該当	9団体) 10	人	
実績•成果			行われ、他グループの活動に興味をもたれる等相互のがい者ネットワーク会議」へ3団体が参画できました。	
課題	情報交換の場	としての定期	開催	
評価	Δ	評価の説明	年間2回開催予定でしたが、1回の開催となり、全登かったため。	録団体の出席が得られな
改善策及び今後 の取り組み			ープ等の情報交換、情報共有、課題改善の強化 すい環境づくり	

一つカゲの "却上台以下"国力でとして、	④ お互いさき	ま活動「ちょこ	「ボラ」の実施						
照日 海年 日神達成度を計 党員者教 合作情、深温回数	内容	て、ゴミだし	、重たい物の	買い物、家具の					
日標設定	期日								
要は、成果 登録名数: 4人(前年度比 2人間) 深温作数: 79年(前年度比 77年度) 理師 ●	目標達成度を計	登録者数						目標設定	派遣10件
		登録者数: 派遣件数:	4人(前年原 79件(前年原	度比 2人増) 度比 77件増))				
改善策及び今後・・組入登録ホランティアの確保 ・地域と連携したニーズマッチング方法の確立 ・地域と連携したニーズマッチング方法の確立 ・生活支援体制を開催業務との連携 ⑤ 足柄上地区災害ボランティアセンター担当職員等所接会 全国名比で大乗権な災害が起きている中、確災地ではその厚に災害ボランティアセンターが設置され多く の表示ボランティアのたりが活動を入れている。現状ではます。災害が起きてからボランティアセンターの参名は、被災地の社会発制能 内容 (大乗が関係構能な)連携して運営といて10年に対望が発きまたの対域が自分の対域を発生え、災害が起きてからボランティアセンターの設置 すでの対域が近常学は発として互称上は対望接後において開発もの可能分と表はメンバー) 別日 11月 2日(金) 会場 然日即健康宿社センター 参加名数 4人(キ当型からの参加者 (競長等) 実施・成果 ・成果 ・大ヤーマンターの設置、運営が送空の理解を深めるために継続しておいました。 講教:「マスオルランを対している。とは、経験を深め、大きの理解を深めたために継続しておいました。 (定核上地区とは高速能を事業として位置付け) ・この限となる事態しました。(定核上地区社協連絡会事業として位置付け) ・この取り組み ・ オラの豚のはは協の連携・体的体験。 評価の説明 ② 非価の説明 ② 非価の説明 ② 非価の説明 ② 非価の説明 ② 非価の説明 ② 非価の説明 ② おき合の問権 多年にわたり社会に貢献してこられた高齢者に被議を表し、長寿をお祝いするとともに、敬愛精神の高揚と言い、表し、他語の年、後半のよりならびに関係といた。「開始関略を会主業として位置付け) O3 当事者活動の支援 1) 最齢者関係 ② 取者会の問権 ② 年にわたり社会に貢献してこられた高齢者に被議を表し、長寿をお祝いするとともに、敬愛精神の高揚と高・高齢者の体をの問権といたいました。 また、結婚の年、食場)ならびに同のでは、ダイヤモント場)を迎えられたこ夫妻のご長寿を扱うことを目的として、朝氏育造の経済と対しならびに固定の作(ダイヤモント場)を迎えられたこ夫妻のご長寿を扱うことを目的として、朝氏育造の経済と対しならびに同のでは、ダイヤモント場)を迎えられたこ夫妻のご長寿を扱いたしました。 また、私語のは、年代のよりによる手づくりの記念店を増呈する「長寿夫妻記念品増置事業」を実施いたしました。 第1日 9月17日(月)*数きの日	課題	受付からボ	ランティア派	遣までのマッラ	チングがスムー	ズに行え	.るためのボラン	/ティア (担し	ハ手)の確保
の取り組み・地域と連携ルたニーズマッチング方法の種立・生活支援体制整備業務との連携 ・生活支援体制整備業務との連携 ・全面含地で大規模な関連が終う 全面含地で大規模な関連が経過されています。災害ボランティアセンターが設置されるぐの災害ボランティアセンター担当職員等が修会 全面含地で大規模な関連が出るでしています。災害ボランティアセンターの多くは、被災地の対会電性協議会が関係機関を注機して運営されている中、被災地の支援を行いるが、ランティアセンターの総当、諸会が関係機関を注機して運営されている地域を済まえ、災害が過乏からボランティアセンターの設置・までの対域方法を学が機会として定権上部社協連絡会において戦場等の研修会を開催しました。	評価	_			遣回数共に昨年	度を大る	きく上回ったたと	め。	
全国合地で大規模な災害が起きている中、級災地ではその度に災害ボランティアウンターの多く組織を削った。 の災害パランティアの方のが高められています。災害ポランティアウンターの多く組織を設めれた。 対さず関係機関等と連携して運営されている現状を終まえ。災害が起きてからボランティアセンターの段態 までの対応方法を学・環を出まいらい意味プランティアセンターの設施 までの対応方法を学・環としてでは上野おけ経証券をいる。 が書とへの設置まで流れからの支援体制を学ぶへ 講義:「大規模災害発生から災害ボランティアセンター設置までの対応について」 対策: (本務川県共同募金会 事務局長 中島 李夫氏(災害支援プロジェクト会議メンバー) 11月 2日(金) 会場 松田町健康福祉センター 参加者数 4人(*当町からの参加を、調員等) 会場 松田町健康福祉センター 参加者数 4人(*当町からの参加を、調員等) ・イアセンターの設置、運営方法等の理解を深めるために維続して訓練を実施しておりました。 フィアセンターの設置、運営方法等の理解を深めるために維続して訓練を要施しておりました。 ・ク・チェには、(受罪・対しな行権・事業として位置付づ)。 ・ ジェボランティアセンター運営マニフアルの整備検討。 ・ 海事の際の社協間の連携体制の構築。 ・ 海事の際の社協間の連携体制の構築。 ・ 海野の説明 災害ボランティアセンター強営マニフアルの整備検討。 ・ 海野の駅の社協間の連携体制の構築。 ・ 海野の説明 災害ボランティアセンター強を主ないる。 ・ ジェボランティアセンター強を当てコアルの整備検討。 ・ 海野の説明 災害ボランティアセンター強を主ないの整理、理解が深まったため。 ② 当等者活動の支援 1) 高約者関係 ① 軟名会の開催 多年にわたり社会に貢献してこられた高齢者に敬意を表し、長寿をお扱いするとともに、敬愛精神の高揚と高齢者高祉の一層の推進を認るために、「開成財命会」を開催いたしました。 現日 日		・地域と連携	したニーズマ	ッチング方法の	D確立				
の災害ボランティアの方内が活動されています。災害ボランティアセンターの多くは、被災地の社会福祉協 諸会が関係機関等と連接して憲管されている現状を選注え、災害が起きてからボランティアセンターの設置 までの対応方法を学ぶ機会として足権上部社協連絡会において譲員等の研修会を開催しました。 議論・「大規模災害長生から災害ボランティアセンター 段間までの対応について」 ・災害火のの設置まで流れや県の支援体制を学ぶ〜 諸師・神祭川県共同募金会 事務局長 中島 孝夫氏(災害支援プロシェクト会議メンバー) 11月 2日(金) 会場 松田町健康福社センター 参加者数 4人(*当町からの参助者/職員等) 東補・成果 実補・成果 実施・成果 実施・成果 ・グラーの設置、運営がご客の理解を実施や県市合同防災制練への参加を実地訓練として災害ボランティアセンターの設置、運営がご客の理解を実施して認めるために維持して制験を実施しておりました。 フィアセンターの設置、運営がご客の理解を実施して制造を関係しておりました。 でが、災害ボランティアセンター連当者会議において挙げられた課題を整理するために職員等を対象 会理をしていて、宣表研修会を開催しました。(足柄上地区社協連絡会事業として位置付け)。 ・ 「足術上地区社協連絡会事業として位置付け)。 ・ 「足術上地区社協連絡会事業として位置付け)。 ・ 「足術上地区社協連絡会事業として位置付け)。 ・ 「保藤の説の社協制の連携体制の情報。 ・ 「評価の説明 「災害ボランティアセンター設置までの課題の整理、理解が楽まったため。	⑤ 足柄上地區					フの座に	······································	- THY D	
期日 会場 松田町健康福祉センター参加者数 4人(*当町からの参加者/職員等)	内容	の災害ボラン 議会が関係機 までの対応方 講義:「大	ティアの方々 関等と連携し 法を学ぶ機会 規模災害発生 災害VCの設置	が活動されていて運営されてい て運営されてい として足柄上表 から災害ボラン 置まで流れや県	ハます。災害ボーンの現状を踏また。 いる現状を踏また。 いたは協連絡会にでいた。 いたは、 いたが、 いまで、 いまで、 います。 いまで、 います。 います。 いまで、 います。 いるでは、 のるでは、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 しるでも、 しるでも、 しるでも、 しても、 しるでも。 しるでも。 しるでも。 しるでも。 しるでも。 しるでも。 しるでも。 しるでも。 しるでも。 しるでも。 しるでも。 し。 と。 し。 と。 し。 と。 し。 と。 し。 と。 し。 と。 し。 と。 し。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	ランティ え、災害 おいて職 一設置ま 学ぶ〜	アセンターの多 が起きてかられ 員等の研修会を での対応につい	らくは、被災が ボランティア・ E開催しました Nて」	也の社会福祉協 センターの設置 こ。
実績・成果	会場	11月 2日(松田町健康福	金) 祉センター		1 60 3-700			Zu347 · 27 / 1	,
### ・災害ボランティアセンター運営マニュアルの整備検討。 ・有事の際の社協間の連携体制の構築。 評価の説明 災害ボランティアセンター設置までの課題の整理、理解が深まったため。 改善策及び今後の取り組み 広域連携による運営、継続実施予定(足柄上地区社協連絡会事業として位置付け) 「の取り組み 「の取り担か 「の取り 「を取り 「の取り 「の取り 「の取り 「を取り 「の取り 「の取り 「の取り 「を取り 「の取り 「を取り 「の取り 「を取り 「の取り 「を取り 「を取り 「の取り 「を取り 「の取り 「を取り 「を取り 「を取り 「を取り 「を取り 「を取り 「の取り 「を取り 「を取り 「を取り 「を取り 「を取り 「を取り 「の取り 「を取り 「の取り 「を取り 「の取り 「を取り 「を取り 「を取り 「の取り 「の取		従前、災害 ティアセンタ 今年度は、	ボランティセ ーの設置、運 災害ボランテ	ンター運営訓練 営方法等の理解 ィアセンター!	ቑを深めるためⅠ 旦当者会議におⅠ	に継続し いて挙け	,て訓練を実施し [*] られた課題を <u>整</u>	ておりました	こ。
 改善策及び今後の取り組み ○3 当事者活動の支援 1) 高齢者関係 ① 敬老会の開催 多年にわたり社会に貢献してこられた高齢者に敬意を表し、長寿をお祝いするとともに、敬愛精神の高揚と高齢者福祉の一層の推進を図るために、「開成町敬老会」を開催いたしました。また、結婚50年(金婚)ならびに同60年(ダイヤモンド婚)を迎えられたこ夫妻のご長寿を祝うことを目的として、町民有志の協力による手づくりの記念品を贈呈する「長寿夫妻記念品贈呈事業」を実施いたしました。 期日 9月17日(月)*敬老の日福祉会館開成町 増成町 場所、町開成町老人クラブ連合会開成町民生委員児童委員協議会開成町自治会長連絡協議会開成町婦人会日本製紙クレシア株式会社開成工場マルシェ開成開成町商工振興会青年部チャーリーケアドのMNYれんげ開成シュニアアンサンブルBlueBirds作文朗読者(開成小学校、文命中学校)司会者(沖野卓子氏、碓井尚子氏)フォートあしがら目標達成度を計高齢者・来場者数る指標(敬老会の見直し・進行プログラムの改善を含む) 来場者250人参加者数 241人 *前年度比 9人減 「みんなでご長寿をお祝いするつどい"とサブタイトルを掲げ、内容を改めるための「検討会」を開催いたしました。 新たな試みとして、①お楽しみ抽選会、②農産物等販売(開成マルシェ)等をメニューに加え、敬老会を盛り上げることができました。 	課題	災害ボラン	ティアセンタ	ー運営マニュフ		0			
の取り組み	評価	0	評価の説明	災害ボランテ	ィアセンター設	置までの	の課題の整理、	理解が深まっ	たため。
1) 高齢者関係 ① 敬老会の開催 多年にわたり社会に貢献してこられた高齢者に敬意を表し、長寿をお祝いするとともに、敬愛精神の高揚と高齢者福祉の一層の推進を図るために、「開成町敬老会」を開催いたしました。また、結婚50年(金婚)ならびに同60年(ダイヤモンド婚)を迎えられたご夫妻のご長寿を祝うことを目的として、町民有志の協力による手づくりの記念品を贈呈する「長寿夫妻記念品贈呈事業」を実施いたしました。 期日 9月17日(月)*敬老の日会場福祉会館開成町 開成町老人クラブ連合会 開成町民生委員児童委員協議会 開成町自治会長連絡協議会 開成町婦人会日本製紙クレシア株式会社開成工場 マルシェ開成 開成町商工振興会青年部 チャーリーケア KOMNYれんげ 開成シュニアアンサンブルBlueBirds 作文朗読者(開成小学校、文命中学校)司会者(沖野卓子氏、碓井尚子氏)フォートあしがら目標達成度を計高齢者・来場者数る指標(敬老会の見直し・進行プログラムの改善を含む) 来場者250人参加者数 241人 *前年度比 9人減 "みんなでご長寿をお祝いするつどい"とサブタイトルを掲げ、内容を改めるための「検討会」を開催いたしよした。 新たな試みとして、①お楽しみ抽選会、②農産物等販売(開成マルシェ)等をメニューに加え、敬老会を盛り上げることができました。		広域連携によ	る運営、継続	実施予定(足村	两上地区社協連;	絡会事業	として位置付け	t)	
① 敬老会の開催 多年にわたり社会に貢献してこられた高齢者に敬意を表し、長寿をお祝いするとともに、敬愛精神の高揚と高齢者福祉の一層の推進を図るために、「開成町敬老会」を開催いたしました。また、結婚50年(金婚)ならびに同60年(ダイヤモンド婚)を迎えられたご夫妻のご長寿を祝うことを目的として、町民有志の協力による手づくりの記念品を贈呈する「長寿夫妻記念品贈呈事業」を実施いたしました。 期日 9月17日(月)*敬老の日会場 福祉会館 現成町 関成町 関成町 関成町 関成町 関成町を入りラブ連合会 関成町民生委員児童委員協議会 関成町自治会長連絡協議会 関成町婦人会日本製紙クレシア株式会社関成工場 マルシェ開成 関成町商工振興会青年部 チャーリーケア KOMNYれんげ 関成シュニアアンサンブルBlueBirds 作文朗読者(関成小学校、文命中学校) 司会者(沖野卓子氏、碓井尚子氏) フォートあしがら 目標達成度を計 高齢者・来場者数 日標設定 名指標 (敬老会の見直し・進行プログラムの改善を含む) 来場者250人 参加者数 241人 *前年度比 9人減 がみなでご長寿をお祝いするつどいでとサブタイトルを掲げ、内容を改めるための「検討会」を開催いたしました。実績・成果 新たな試みとして、①お楽しみ抽選会、②農産物等販売(関成マルシェ)等をメニューに加え、敬老会を盛り上げることができました。		動の支援							
と高齢者福祉の一層の推進を図るために、「開成町敬老会」を開催いたしました。また、結婚50年(金婚)ならびに同60年(ダイヤモンド婚)を迎えられたご夫妻のご長寿を祝うことを目的として、町民有志の協力による手づくりの記念品を贈呈する「長寿夫妻記念品贈呈事業」を実施いたしました。 期日 9月17日(月)*敬老の日		開催							
会場 共催 開成町 開成町 開成町民生委員児童委員協議会 開成町自治会長連絡協議会 開成町婦人会 日本製紙クレシア株式会社開成工場 マルシェ開成 開成町商工振興会青年部 チャーリーケア KOMNYれんげ 開成ジュニアアンサンブルBlueBirds 作文朗読者(開成小学校、文命中学校) 司会者(沖野卓子氏、碓井尚子氏) フォートあしがら 目標達成度を計 高齢者・来場者数 (敬老会の見直し・進行プログラムの改善を含む) 里標設定 来場者250人参加者数 241人 *前年度比 9人減 "みんなでご長寿をお祝いするつどい"とサブタイトルを掲げ、内容を改めるための「検討会」を開催いたしました。 新たな試みとして、①お楽しみ抽選会、②農産物等販売(開成マルシェ)等をメニューに加え、敬老会を盛り上げることができました。	内容	と高齢者福祉 また、結婚 目的として、	の一層の推進 50年(金婚)	を図るために、 ならびに同60	「開成町敬老: 3年(ダイヤモ:	会」を開 ンド婚)	催いたしました を迎えられたこ	<u>:</u> 。 ご夫妻のご長ヲ	春を祝うことを
協力 日本製紙クレシア株式会社開成工場 マルシェ開成 開成町商工振興会青年部 チャーリーケア KOMNYれんげ 開成ジュニアアンサンブルBlueBirds 作文朗読者(開成小学校、文命中学校) 司会者(沖野卓子氏、碓井尚子氏) フォートあしがら 日標達成度を計 高齢者・来場者数 (敬老会の見直し・進行プログラムの改善を含む) 田標設定 家加者数 241人 *前年度比 9人減 「みんなでご長寿をお祝いするつどい"とサブタイトルを掲げ、内容を改めるための「検討会」を開催いたしました。 新たな試みとして、①お楽しみ抽選会、②農産物等販売(開成マルシェ)等をメニューに加え、敬老会を盛り上げることができました。	会場	福祉会館 開成町							
る指標 (敬老会の見直し・進行プログラムの改善を含む) 来場者250人 参加者数 241人 *前年度比 9人減	協力	日本製紙クレ KOMNYれん	シア株式会社 げ	開成工場 マルニアアンサン!	レシェ開成 開ル ブルBlueBirds	成町商工	振興会青年部	チャーリー! フォートあり	アア
″みんなでご長寿をお祝いするつどい″とサブタイトルを掲げ、内容を改めるための「検討会」を開催いたしました。 実績・成果 新たな試みとして、①お楽しみ抽選会、②農産物等販売(開成マルシェ)等をメニューに加え、敬老会を盛り上げることができました。	る指標	(敬老会の見	直し・進行プ		善き含む)			目標設定	来場者250人
しました。 実績・成果 新たな試みとして、①お楽しみ抽選会、②農産物等販売(開成マルシェ)等をメニューに加え、敬老会を 盛り上げることができました。	多川石数					た+B/ご	中央をルタン	. ル の 「+◇= イ	
	実績•成果	しました。 新たな試み 盛り上げるこ	として、①お とができまし	楽しみ抽選会 、 た。	②農産物等販	売(開成	マルシェ)等を	モメニューにカ	

課題	″みんなでご長	長寿をお祝いす	「るつどい"としての内容検討。	
評価	0	評価の説明	来場者の目標は達成されましたが、従前のスタイルだ 委員会を設け、新たな内容を導入できたため。	ら脱却するための、検討
改善策及び今後 の取り組み		や家族の参加敬意とおもて	- を得られる魅力ある内容(進行プログラム、余興など なしの心))の開発
② ふれあい3	交流会の開催			
内容	点からその心 か、ひとり暮	身機能の維持らしや昼間独	の方々が住み慣れた地域において自立した生活を継続 向上機会や閉じこもり防止のための交流の場の創出と 居、家の中で過ごしがちな高齢者等の方々が気軽に集 者相互の交流の輪を広げることを目的に「交流会」を	充実が求められているな える機会の提供、ふれあい
/*3_	5月12日(土	_)		
	福祉会館 ふれあい交流	· - - - - - - - - - - - - -	(民生委員児童委員協議会、町社協事業部担当理事)	
エ に 協力			課)、日本製紙クレシア㈱開成工場、開成町社協デイ	サービスセンター、㈱明治
			ザーズベル、マロンチューリップ、KOMNYれんげ	
目標達成度を計 る指標	参加者数(リ 参加者・関係	ピーター・新 者へのモニタ	規をそれ <i>ぞ</i> れ集計) リング	目標設定 100人
参加者数	91人(来賓、	余興出演、第	管行委員、職員は除く)	l
実績・成果	(KOMNY1)	んげ)も各テ	デイに依頼し社協事業のPRを図りました。対象者へ修一ブルの話題に繋がる内容となりKOMNYれんげ事業育園児の遊戯が喜ばれ、ハンドベルは対象者も一緒に	PRにも配慮できました。
課題			下が感じられました。自宅までの送迎希望者が多く配事の際にはむせ込んでしまう方がおり身体状況把握を	
評価	0	評価の説明	開催準備の負担が多く課題も多かったが、参加者の流 ため	起度は高いものとなった
			育園児とのふれあいの継続 ションの充実を図り今後の見守り活動を円滑にし、外	出機会の継続をめざします
@ * 1/2==	ブホムムの呑け	÷ . ± +==		
③ 老人クラフ 内容			決、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援し	ました。
				目標設定
る指標	事業・活動参 945人 (H3)			会員数1,010人
実績・成果		に達しなかっ	<u>.</u> た。	
課題	加入率は県組織運営と		、ここ数年会員数は減少傾向	
評価	Δ	評価の説明	目標会員数に達しなかったため	
改善策及び今後 の取り組み			- 周知強化 直し、既存事業の統廃合	
2)障がい児者閣 ① 足柄上郡脚		ノエーション大	:会等の開催(足柄上郡5町社協共催)	
内容			方の社会参加を促進する活動の一環として、レクリエ げていくことを目的に開催しました	ーションを通して交流の機
	平成30年6月		• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
	福祉会館 足柄上5町社1	汤		
目標達成度を計 る指標	毎たたインド	アスポーツの	企画実施	目標設定 インドアスポーツの開催
	カーレット、	スポーツ吹き	矢を実施	
課題	想定していた	よりも早く終	わってしまった。レクリエーションの内容によって待	 ち時間ができてしまった。
評価	0	評価の説明	初めてインドアスポーツを開催できたため(ボウリンカーレットは参加者から好評だったため。	/グ大会からの脱却)。

			楽しめるよう時間配分計画 派遣事業の(「レク先生がやってくる」)活用検討	
	- 当ネットワーク	7会議の開催		
内容	障がいをお	持ちの方の生活	舌を支援する一環として、関係機関、団体との情報の ために、ネットワーク会議を開催しました。	共有化と連携強化を図り、
· · -	① 11月22 福祉会館		② 3月19日(火)	* <u></u>
協力	身体障がい者 力の郷、開成 トゥモローラ	町(福祉課)、ンド、風祭の	身障がい児者と家族の会かるがも、KOMNY地域作業 、放課後デイサービストゥモローランド、生活介護ト 森地域支援センターひまわり、放課後デイサービス蕾 CAN クラブ、かいせい音声訳ボランティアの会	ゥモローランド、就労支援
	連携強化、終 制度等の周知		の確認と活性化、精査 是供	目標設定 2回開催(大会協議含)
参加者数			① 11人 ② 12人	
実績・成果	2回開催。開作 開催。	催、情報交換に	こよって「ともに生きる社会かながわ憲章パネル展」	を障がい者週間に合わせて
課題	パネル展開催	にあたり依頼	期間が短く、全ての協力団体からの成果物の拠出がで	きなかった。
評価	0	評価の説明	障がい者週間に合わせて「ともに生きる社会かながれ きたため。)憲章パネル展」を開催で
改善策及び今後 の取り組み	ともに生き	る社会かなが	表面化した意見や課題の改善に向けた取り組みの具現 わ憲章パネル展の継続開催 開成町障がい者福祉大会(仮称)」内容協議	化(事業展開)
③ 身体障がし	ハ者福祉協会と	心身障がい児	者と家族の会かるがもの育成・支援	
	_	有な課題の解え	央、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援し	ました。
期日	通年			目標設定
目標達成度を計 る指標	役員・会員研 会員数の増加 共同事業の実			研修会5回/か3身2 会員52人(5%増) 共同事業の企画・継続
			障協会2)。会員数前年度47人(かるがも22、身障	協会27)
実績・成果 課題	会員の高齢化			協会27)
課題	会員の高齢化会員数の増に	向けた取り組み評価の説明	み方法の検討かるがも、身障協会で研修会に参加できたため。	協会27)
課題 評価 改善策及び今後	会員の高齢化会員数の増に	向けた取り組む 評価の説明 内容充実と継続	み方法の検討 かるがも、身障協会で研修会に参加できたため。 続	協会27)
課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3) ひとり親家版 ① ひとり親家 内容 期日 会場	会員の高齢化会員数の増に ・共催事業の・会員加入に ・芸関係 家庭ネットワーひとり親家	向けた取り組み 評価の説明 内容充実と継続 向けた取り組み クラ会議の開催 庭の生活を支持 すめるために、	み方法の検討 かるがも、身障協会で研修会に参加できたため。 続 み(広報等)	
課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3) ひとり親家版 ① ひとり親家 内容 期会場 協力 目標達成度を計	会員の高齢化会員数の増に ・共催事業の・会員加入に ・共催員加入に ・ 受け ・ できる	向けた取り組み 評価の説明 内容充実と継続向けた取り組み ク会議の開催 庭の生活を支持すめるために、 かくしの会	み方法の検討 かるがも、身障協会で研修会に参加できたため。 続 み(広報等) 援する一環として、関係機関、団体との情報の共有化	
課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3) ひとり親家版 ① ひとり親家 内容 期会場 協力 目標達成度を計	会員の高齢化会員数の増に ・共催加入に ・共催加入に ・ 実験 ない ・ アーマック の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	向けた取り組み 評価の説明 内容充実と継続向けた取り組み ク会議の開催 庭の生活を支持すめるために、 かくしの会	み方法の検討 かるがも、身障協会で研修会に参加できたため。 続 み(広報等) 援する一環として、関係機関、団体との情報の共有化	と連携強化を図り、ネット
課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3) ひとり親家 ① ひとり親家 ① ひとり親家 ⑤ ひとり親家 ⑤ ならい の 関 の 関 の 関 の 関 の おきに の また	会員の高齢化会員数の増に ・共催員 ・共催員 かった ・ 大年 ・ かった ・ 大年 ・ かった ・ かっ	向けた取り組み 評価の説明 内容充実と継続向けた取り組み 一ク会議の開催を支持であるために、 くり 会つくしの会 連携強化	み方法の検討 かるがも、身障協会で研修会に参加できたため。 続 み(広報等) 援する一環として、関係機関、団体との情報の共有化	と連携強化を図り、ネット 目標設定 開催回数の増
課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3) ひとり親家版 ① ひとり親家 ⑤ ひとり親家 ⑥ ひとり親家 ⑥ ないるり の取りがある。 「日標達成度を指表する。」 「自標達成度を指表する。」 「実績・成果	会員の高齢化 会員数の増に ・共信員がある。 ・共信はは、・共信はははは、・共信はははははははははは	向けた取り組み 評価の説明 内容充実と継続向けた取り組み 一ク会議の開催をの生活を支持をあるために、 か会しの会 連携強化	み方法の検討 かるがも、身障協会で研修会に参加できたため。 続み(広報等) 援する一環として、関係機関、団体との情報の共有化、ネットワーク会議を開催しました。	と連携強化を図り、ネット 目標設定 開催回数の増
課題 評価 改善策及び9後の取り組まる ① ひとり親家版 ① ひとり親家版 ① ひとり親家版 ① ひとり親家版 ② 財会協力 目標達成を指表 参加者 実績・成果 評価	会員数の高増化に ・共信員 ・共信員 ・共信員 ・共信員 ・ サール ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	向けた取り組み 評価の説明 内容充実り組み 内容充実り組み 一ク会議の開催 をすりることが 会つくしの会 連携強の共有、 情報の共有化、	み方法の検討 かるがも、身障協会で研修会に参加できたため。 続み(広報等) 援する一環として、関係機関、団体との情報の共有化、ネットワーク会議を開催しました。	と連携強化を図り、ネット 目標設定 開催回数の増ました。
課題 評価 改善策及び今後 の取り組 3) ひとり親家版 ① ひとり親家版 ① ひとり親家版 ② ひとり親家 国際達成とります。 日標達成を指表 参加者 実績・成果 課題	会員数の高増に ・共保員 ・共保員 を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	向けた取り組み 評価の説明 内容充実り組み ク会議の開催 を対している。 を対している。 連携強化 る課題の共有、 情報の共有化、 評価の説明	み方法の検討 かるがも、身障協会で研修会に参加できたため。 続み(広報等) 援する一環として、関係機関、団体との情報の共有化、ネットワーク会議を開催しました。 、関係機関との情報交換により現状課題の把握を図り、当事者に向けた情報発信	と連携強化を図り、ネット 目標設定 開催回数の増ました。
課題 評価 改善策及び9組 な善策及び9組 なきの取り ひとり親家版 ① ひとり親家版 ① ひとり親家 図 内 期会協を指者 数 実績・ 課題 評価 改善策及びり組 ひきの取り組	会員数の高増化に ・共保員 ・共保員 ・共保員 かった ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	向けた取り組み 評価の説明 内容でではいる。 内ではいる。 内ではいる。 内ではいる。 内ではいる。 内ではいる。 内ではいる。 ではいる。 はい。 はいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	み方法の検討 かるがも、身障協会で研修会に参加できたため。 続み(広報等) 援する一環として、関係機関、団体との情報の共有化、ネットワーク会議を開催しました。 、関係機関との情報交換により現状課題の把握を図り 、当事者に向けた情報発信 当事者団体、関係機関との情報交換の機会となってルーズ解決に向けた取り組みの検討	と連携強化を図り、ネット 目標設定 開催回数の増ました。
課題 評価 改善策及び組み 3) ひとり親家版 ① ひとり親家版 ① ひとり親家版 ① ひとり親家 図 ○ 日標達成るお計標 参加者 成 課題 ○ 平の取り組み の 日 の の の の の の の の の の の の の の の の の	会員ののの 第 次 で	向けた取り組みででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	み方法の検討 かるがも、身障協会で研修会に参加できたため。 続み(広報等) 援する一環として、関係機関、団体との情報の共有化、ネットワーク会議を開催しました。 、関係機関との情報交換により現状課題の把握を図り 、当事者に向けた情報発信 当事者団体、関係機関との情報交換の機会となってルーズ解決に向けた取り組みの検討	と連携強化を図り、ネット 目標設定 開催回数の増ました。
課題 評価 改善策及び組み 3) ひとり親家版 ① ひとり親家版 ① ひとり親家版 ① ひとり親家 図 ○ 日標達成るお計標 参加者 成 課題 ○ 平の取り組み の 日 の の の の の の の の の の の の の の の の の	会員ののの 第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	向けた取り組みででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	み方法の検討 かるがも、身障協会で研修会に参加できたため。 続み(広報等) 援する一環として、関係機関、団体との情報の共有化、ネットワーク会議を開催しました。 、関係機関との情報交換により現状課題の把握を図り 、当事者に向けた情報発信 当事者団体、関係機関との情報交換の機会となってルーズ解決に向けた取り組みの検討 援	と連携強化を図り、ネット 目標設定 開催回数の増ました。

会員数				7.12 A C. 15 T.	m.1.2.2.1.1.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.			
			エーション、料理教室等)を流	通じ、会員相互の交流を流	深めることができました。			
課題	会員数の増に	回けた取り組						
評価	Δ	評価の説明	年間を通じ新規会員募集のPI 人増)	Rを行っているが会員数7	が伸びていないため。(1			
改善策及び今後 の取り組み	会員募集方法	、活動PR、情	青報発信の方法の検討					
4) 子育て支援関 ○① 子育て中の		/「チビッ子ら	んど」の開放					
内容	書館的な要素 できるスペー また、毎月 さらに、子	福祉会館の一室(2F娯楽室、教養娯楽室)と3F人工芝バルコニー(ひよこ広場)を開放し、おもちゃ図 書館的な要素を加味した子育て中の親子のサロンとしてチビッ子らんどを設置し、自由に交流や情報交換かできるスペースを提供しました。 また、毎月第3水曜には、ぱたぱたママの協力によるおはなし会を開催しました。 さらに、子育て支援センター酒田保育園の協力により、子育て相談や保護者の仲間づくりの一助となるよう、毎月1回チビッ子サロンも併せて開催しました。						
期日	①チビッ子ら②チビッ子サ		毎週火、木曜(祝日除く) 毎月1回木曜					
	③ひよこ広場	i	通年					
	福祉会館	7 7 7+5						
	はにはにくく	、子育(文援	センター酒田保育園		口描乳中			
目標達成度を計 る指標	参加者数				目標設定 800人			
参加者数	延1,052人	*前年比179	9人増					
実績・成果			しています。(5〜8月は平均 よりリピーターが多くみられ、					
課題	広報紙以外の	媒体を活用し	た事業PRの実施					
評価	0	評価の説明	親子の交流や仲間づくり、情	報交換の機会となってい	1る。			
	• PR強化、 3 • 関係機関と		する情報発信と相談窓口の設	置				
0② チビッ子を	らんどフェスタ	の開催						
内容	会として開催	しました。フ	町社協の活動PRの機会として リーマーケットやボランティブ 対象のベイブレード大会を行し	ア団体によるおはなし会、				
	10月27日(福祉会館	土)						
	開成町商工振 者と家族の会	かるがも、母	イオンズクラブ、おむすびこえ 子寡婦福祉会つくしの会、㈱ が田原地域事務所、開成町自	蕾 放課後等デイサービ	スつぼみ、開成町消防団、 :人 全民救患者搬送協会			
目標達成度を計 る指標	来場者数				目標設定 350人			
参加者数	700人 *前							
実績・成果			各コーナーの運営に、各種団(加の親子連れも多くいられ、t					
課題	社協PR機会と	こしての活用た	「不十分					
評価	0	評価の説明	前年度を大幅に上回る参加者	が得られたため				
	・子育て中の ・子育て支援		のPR、ニーズ把握の機会とし の連携強化	ての活用				
O4 広報啓発	事業の充実							
○① 広報紙「ネ			いせい社協かわら版」の発行					
内容			:福祉情報の提供、福祉意識の 等へ配布しました(自主財源の					
社協だより) (A4/8)°-))						
	① 5月1日 (_)12月1日 (No.197)				
発行日	② 7月1日 (_	1月1日 (No.198)				
発行部数	③ 9月1日 (5,500部 (7		6) 3月1日 (№.199)	*計6□			

❷ かわら版	(A4/4 ⁶)		0		
発行口	① 4月1日(② 6月1日(④10月1日(No ⑤11月1日(No		
光门口	③ 8月1日(© 2月1日 (No		*計6回
	5,350部				
目標達成度を計		企画•掲載			目標設定
る指標	SNSの活用				新たな企画記事の掲載 SNS 12件(33%増)
実績・成果	新たな記事の	企画、掲載が	できなかった。SNSは19件掲載。	,	
課題		不足	全体で検討する場の新規設定		
評価	0	評価の説明	昨年より多くの情報をSNSに掲載すること ができた。	ができた。	広報紙の配架場所のPR
改善策及び今後 の取り組み	・新規企画会 ・モニター制 ・広報紙配布	度の活用	93ヶ月に1回)		
② 社会福祉	大会の開催				
内容	地域の福祉 とともに、開 り」をより一 ①式典	成町らしい共 層推進するた ~ オープ ~ パネル 演題:	者が一堂に会し、永年にわたり社会福祉の発助文化の将来を展望することにより、「誰もかに本大会を開催しました。 こングコーラス、功労者表彰及び感謝、福祉ディスカッション 夢の実現 〜さらにその先へ〜 睪 野 大 地 さん(日本大学スポーツ科	らが安心して 止作文朗読等	て暮らせる福祉のまちづく
期日	10月28日(
会場	福祉会館				
後援	開成町、開成 ブ連合会	町教育委員会	開成町自治会長連絡協議会、開成町民生勢	5 員児童委員	員協議会、開成町老人クラ
日標達成度を計 る指標		映し、一部リ			目標設定 300人
参加者数		年度比21人均	<u>.</u>		3007
参加者数	170人 *前 記念講演講 熱や苦悩を乗	師には、(福 り越える勇気	望 业とは毛色が異なるものの)現役トップアス をおおいに語っていただき、氏の人生哲学で くの示唆と感銘を届けることができました。	か生きざまた	Jてのスポーツにかける情
参加者数	170人 * 前 記念講演講 熱や苦悩を乗 と熱き想いと ・式典へのア	師には、(福 り越える勇気 して響き、多 クセント要素	业とは毛色が異なるものの)現役トップアス をおおいに語っていただき、氏の人生哲学で くの示唆と感銘を届けることができました。	か生きざまた	Jてのスポーツにかける情
参加者数 実績・成果	170人 * 前 記念講演講 熱や苦悩を乗 と熱き想いと ・式典へのア	師には、(福 り越える勇気 して響き、多 クセント要素	业とは毛色が異なるものの)現役トップアスをおおいに語っていただき、氏の人生哲学でくの示唆と感銘を届けることができました。 の行加	り生きざまた	ンてのスポーツにかける情 が参加者―人ひとりの胸へ
参加者数 実績・成果 	170人 *前 記念講演講 熱や苦悩を乗と熱き想いと・式典へのア・大会運営(師には、(福 り越える勇気 して響き、多 クセント要素 在り方)の見 評価の説明	社とは毛色が異なるものの)現役トップアスをおおいに語っていただき、氏の人生哲学なくの示唆と感銘を届けることができました。 の付加 直し、新たな企画による内容刷新、再構築 草の根福祉活動実践者への顕彰披露等によ	り生きざまだり 福祉意識 きため。	ンてのスポーツにかける情 が参加者―人ひとりの胸へ
参加者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み	170人 * 前 記念講覧を記述される できる できる できる できる できる できる できる できる できる でき	師には、(福 り越える勇多 して響き、多 クセント要素 在り方)の見 評価の説明 助文化を育み 新 、事業のPRと	业とは毛色が異なるものの)現役トップアスをおおいに語っていただき、氏の人生哲学なくの示唆と感銘を届けることができました。 の付加 直し、新たな企画による内容刷新、再構築 草の根福祉活動実践者への顕彰披露等によきているものの、対目標比57%に留まった	り福祉意識ことがいい	ンてのスポーツにかける情 が参加者一人ひとりの胸へ の啓発、向上には寄与で
参加者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み ③ ホームペー 内容	170人 * 前	師には、(福 り越える勇多 して響き、多 クセント要素 在り方)の見 評価の説明 助文化を育み 新 、事業のPRと	社とは毛色が異なるものの)現役トップアスをおおいに語っていただき、氏の人生哲学なくの示唆と感銘を届けることができました。 の付加 直し、新たな企画による内容刷新、再構築 草の根福祉活動実践者への顕彰披露等によきているものの、対目標比57%に留まった 創造する場面としての内容刷新(リニュー 福祉情報の提供、福祉意識の啓発、醸成の	り福祉意識ことがいい	ンてのスポーツにかける情 が参加者一人ひとりの胸へ の啓発、向上には寄与で
参加者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み ③ ホームペー 内容	170人 * 前	師には、(福 り越える勇多 クセント要 在り方)の見 評価の説明 助文化を育み 新 事業のPRと 会館各部屋の	社とは毛色が異なるものの)現役トップアスをおおいに語っていただき、氏の人生哲学なくの示唆と感銘を届けることができました。 の付加 直し、新たな企画による内容刷新、再構築 草の根福祉活動実践者への顕彰披露等によきているものの、対目標比57%に留まった 創造する場面としての内容刷新(リニュー 福祉情報の提供、福祉意識の啓発、醸成の 予約状況公開含む)。	り福祉意識ことがいい	レてのスポーツにかける情が参加者一人ひとりの胸へ の啓発、向上には寄与で ムページを公開、更新し
参加者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み ③ ホームペー 内容	170人 *前 * 前 * 前 * 前 * 前 * 前 * 前 * 前 * 前 * 前	師には、(福気 り越響き、要を クセン方)の説明 か文化を育み か事のを かまない。 かず、 かず、 かず、 かず、 かが、 かず、 かず、 かず、 かず、 かず、 かず、 かず、 かず、 かず、 かず	社とは毛色が異なるものの)現役トップアスをおおいに語っていただき、氏の人生哲学なくの示唆と感銘を届けることができました。 の付加 直し、新たな企画による内容刷新、再構築 草の根福祉活動実践者への顕彰披露等によきているものの、対目標比57%に留まった 創造する場面としての内容刷新(リニュー 福祉情報の提供、福祉意識の啓発、醸成の 予約状況公開含む)。	り福祉意識 ためい かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	レてのスポーツにかける情 が参加者一人ひとりの胸へ の啓発、向上には寄与で ムページを公開、更新し 目標設定 515件/月(30%増) 全面改定
参加者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み ③ ホームペー 内容 目標達成度を計標 実績・成果	170人 *前 *前 * 前 * 前 * 前 * 前 * 前 * 前 * 前 * 前	師には、(福気 りはえき、 クセク方) かでで かでで かでで かで かで かで かで かで かで かで かで かで	社とは毛色が異なるものの)現役トップアスをおおいに語っていただき、氏の人生哲学なくの示唆と感銘を届けることができました。の付加	り福祉意識 にため。 -アル) ためにホー	レてのスポーツにかける情 が参加者一人ひとりの胸へ の啓発、向上には寄与で ムページを公開、更新し 目標設定 515件/月(30%増) 全面改定
参加者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み ③ ホームペー 内容 目標達成度を計標 実績・成果	170人 *前 *前 * 前 * 前 * 前 * 前 * 前 * 前 * 前 * 前	師には、(福気 りはえき、 クセク方) かでで かでで かでで かで かで かで かで かで かで かで かで かで	社とは毛色が異なるものの)現役トップアスをおおいに語っていただき、氏の人生哲学なくの示唆と感銘を届けることができました。の付加	り福祉意識 こため。 - アル) ためにホー /年(1,11	レてのスポーツにかける情が参加者一人ひとりの胸への啓発、向上には寄与で ムページを公開、更新し 目標設定 515件/月(30%増) 全面改定 19件/月)。
参加者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び組み ③ ホームペー 内容 目標達成度を計標 実績・成果 課題	170人 * ii 熱や熱 式大 ・・ 大 ・・ 大 ・・ 大 ・・ 大 ・・ 大 ・・ か か か な の に マー ・ か か か か か か か か か か か か か か か か か か か	師にはえ響とからいた。 のはえきというのでである。 ではえきというのでである。 ではえきというのでである。 では、るきというのでである。 では、るきというのでである。 では、るきというのでである。 では、るきというできます。 では、るきというのでである。 では、るきというできます。 では、るきというできます。 では、るきというできます。 では、るきというできます。 では、るきというできます。 では、るきというできます。 では、るきというできます。 では、るきというできます。 では、るきというできます。 では、るきというできます。 では、こったい。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	社とは毛色が異なるものの)現役トップアスをおおいに語っていただき、氏の人生哲学なくの示唆と感銘を届けることができました。か付加 直し、新たな企画による内容刷新、再構築 草の根福祉活動実践者への顕彰披露等によきているものの、対目標比57%に留まった 創造する場面としての内容刷新(リニュー 福祉情報の提供、福祉意識の啓発、醸成の かい おい おい おい かい	り福祉意識 こため。 - アル) ためにホー /年(1,11	レてのスポーツにかける情が参加者一人ひとりの胸への啓発、向上には寄与で ムページを公開、更新し 目標設定 515件/月(30%増) 全面改定 19件/月)。
参加者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び組み ③ ホームペー 内容 目標達成度を計標 実績・成果 課題 でラ組み	170人 * iii	師にはえき クセリカーの説明 かまないではないでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 では、 ののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	社とは毛色が異なるものの)現役トップアスをおおいに語っていただき、氏の人生哲学でくの示唆と感銘を届けることができました。の付加	り福祉意識 こため。 - アル) ためにホー /年(1,11	レてのスポーツにかける情が参加者一人ひとりの胸への啓発、向上には寄与で ムページを公開、更新し 目標設定 515件/月(30%増) 全面改定 19件/月)。

期日	①② 5月12日(土/円 ③ 5月13日(日/金井 ④⑤ 5月19日(土/下延 ⑥⑦⑧5月20日(日/岡	語) 近次、宮 台) 野、上 島、榎 本) **) 5月27日(日/パレ)⑪ 6月10日(日/牛 ②⑬⑭6月17日(日/上頭 計14回	島、みなみ)
	当該地区の自治会館等集会	施設		
	開催地の自治会			目標設定
る指標	帯/自治会加入世帯)	民各位の社協認知度の向上(会員加入率:会員加入世	100%
参加者数	延434人 *1地区平均3			
実績・成果		を仰ぐ自治会役員と組長の皆の継続的な理解促進が少なかし の継続的な理解促進が少なかし 世帯:81.1%		的として毎年度定例的に開
課題	より分かりやすいプレセ子育て支援事業紹介等に	ンテーションの工夫(見える ^ん よる若年層への訴求	化)	
評価	評価の説明	①本会概要→②会費納入手順 え、赴いた地区担当職員が訪		
改善策及び今後 の取り組み	会員制度含む本会の必要性	の訴求		
05 福祉教育	事業の充実			
	シスペングロス かい教育推進事業への助成			
内容		学校でい、活動とは、 学校でい、活動を支援演するというできたが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	た。(※印は交付金活用語 (おゆうぎとうた) (協力) (カファーマーズ」 ※ (記) ※ (協力) ※ (記) ※ (こ)	事業) ※ : : : :
		福祉科社会福祉基礎福祉体 (誘導、車イス、点字、手記 「吉高祭」において、KOMI	、認知症サポーター養成	
期日				
協力	ボランティアグループ四 括支援センター、デイサー	つ葉、手話サークルかたつむ ビスセンター 	り、点字グループ若葉、k 	
目標達成度を計る指標	福祉教育関連の活動・プロ	グラムの適切な提供		目標設定 3園・4校への適正な福祉 教育活動を支援
	1園、2校から5件 助成窓			
実績・成果 課題	各校が希望する福祉体験 助成金の交付についての周			
評価	評価の説明	各校が希望する福祉体験プロ 助成ができたため。		(講師派遣、連携)及び
	助成金制度の周知(「福 ・助成金活用しての福祉教	祉教育関係者連絡会」におい 育プログラムの充実	て周知) 	

小・中学生福祉作文コンクールの実施 作文をとおして社会連帯を基調とした福祉への理解と関心を深め、福祉活動への主体的な参加意識を育む ために、小、中学校の児童、生徒を対象にコンクールを実施しました。 審査会では、小、中学生の部それぞれに優秀賞3篇(町社協会長賞、共同募金会開成町支会長賞、開成町 教育長賞)、優良賞2篇、佳作5篇の各10篇を選出しました。 また、入選作品を文集化し、小、中学校や社会福祉大会にて配布するとともに、入選された児童、生徒に 朗読、発表いただきました。 内容 なお、上位作品を神奈川県福祉作文コンクール(神奈川県共同募金会等主催)に応募したところ、次の方 が入選されました。 小学生の部 優秀賞 : 今西美好さん(開成4年)、府川拓夢さん(開成南5年)、小沼宥輝さん(開成5年) 準優秀賞:遠藤陽世さん(開成5年) 中学生の部 優秀賞:草柳紗希さん(3年)、優秀賞:髙橋美妃さん(3年) 募集期間 7~8月 審查会期日 9月26日(火) 後援 開成町教育委員会 協力|開成小学校 開成南小学校 開成町立文命中学校 開成町 月標設定 目標達成度を計応募総数 る指標|福祉活動への主体的な参加意識の醸成 553編 (5%増) ①小学生 509編 *計 583編 応募数 ②中学生 74編 第42回神奈川県福祉作文コンクールにおいて、小学生の部4人(優秀賞③、準優秀賞①)、中学生の部2 人(優秀賞)に入選いたしました。 実績・成果 12月15日に開催された、神奈川県福祉作文コンクール表書式に出席すための送迎等配慮ができました。 審査会の運営と作文集の製作 課題 ・応募者増への取り組 応募総数が目標数を上回り、神奈川県福祉作文コンクールにおいて入選者多数 (0)評価 評価の説明 だったため。 改善策及び今後 ・募集案内、周知強化(福祉教育関係者連絡会において行う) の取り組み ・案内チラシ配布依頼 (7月) ③ 親子ふくし一日教室の開催 より多くの子どもやその親たちが「ふくし」について考えるきっかけづくりとして様々 な体験学習の機 "助けあいの心、他人を思いやり共に生きていくや 会を提供し、「ふくし」に対する理解と関心を深め、 内容 さしい福祉の心"を育むことを目的に開催しました。 ①高齢者への理解《認知症サポーター講座、ほのぼのサロン、高齢者疑似体験》 ②障がい者の理解《手話 体験、点字体験、誘導体験、盲導犬デモンストレーション、障がい者とお話ししよう》 期日 8月1日 (水) 会場福祉会館 後援 開成町教育委員会 開成小学校、開成南小学校、文命中学校、NPO法人聴導犬育成の会、ボランティアグループ四つ葉、福祉ボランティア点字グループ「若葉」、手話サークルかたつむり、足柄上ろうあ福祉協会、開成町身体障がい 者福祉協会、公益社団法人長寿社会文化協会、地域包括支援センター 目標設定 目標達成度を計参加者数 る指標|体験プログラムを通じて福祉への理解と意識向上 125人(30%增) 参加者数 114人 *前年度比 18人增 体験学習(誘導、手話、点字、障がい者障がい者とお話ししようと高齢者疑似)、認知症サポーター養成 講座、デモンストレーション(盲動犬)と幅広くプログラムすることができました。 福祉教育としての"種まき"的な活動としては十分成果があったと思われるが、他の事業や機関につなげ 実績・成果 ることも重要性が認識できました。 ・参加者増への取り組み(周知案内に余裕を持つ) 課題 • 会場内の移動(動線の確保)と案内表示の検討 参加人数は目標を下回ってしまいましたが、各種団体の協力を得て体験型の福 評価 評価の説明 祉プログラムを行えたため。 改善策及び今後 ・参加、体験型の事業として内容の充実 の取り組み ・ 開催案内、参加者募集案内周知(案内チラシ配布) ④ 福祉教育関係者連絡会の開催 福祉教育事業とボランティア育成事業との整理を前提として、福祉教育プログラムの充実と継続的な支援 体制の確立及び学校等教育機関との連携強化を図るために、連絡会を2回開催します。 期日 ① 6月29日(金) ② 3月 7日(木) 計2回 会場 福祉会館 協力はぐくみ福祉会、町立小、中学校、吉田島高等学校、開成町教育委員会

参加者数		k前年度比 1			=:=		
実績・成果	業を園、学校	への情報提供	ができ成果など	を共有できまし		した。また	と、本会の福祉教育関係事
課題		い教育推進事 関係者との連	業助成等の適切 携 	な説明、案内			
評価	0	評価の説明	計画通り年間2 全ての関係機関		こめ。 いただき、情報	等が共有	できたため。
改善策及び今後 の取り組み	・助成金の有	効活用いただ	場としての定期 くための情報提 改善にむけた取	供の場としての			
内容	社会福祉士					会福祉援助	助技術現場実習)。
		指導者の増	プ1941g(乙) 1915 - 1				目標設定 受入8人 指導者2/
実績・成果	 養成機関の都 者が2人にな	 合等で受け入る りました。	れ人数は目標に	達しませんでし	ンたが、指導者 i	講習を新規	規に職員1人が受講、指導
課題	実習プログラ	ムの充実を図	るためにも全職	員の意識統一を	E図る必要性が a	あります。	
評価	0	評価の説明	養成機関の都合け入れできただ		れ人数が目標に	達しなか	ったが、3人の学生を受
改善策及び今後 の取り組み			を全職員が再認 育成が目的であ		受で共有化		
法人運営 関 06 事業推進)会務等 ① 理事会の原	体制の整備						
内容	執行機関で	ある理事会を	、福祉会館にて	6回開催しまし	た。		
	5月16日(水理事:10)	く) し、監事:1	k				
議題	①平成29年歷 ②平成29年歷 監查報告 ③平成30年歷 ④評議員候補 ⑤小口資金貸	き事業報告にてきまります。 ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま)いて : >いて			ハて	
	6月19日(以						
出席者数	_	し、監事:2		1.7			
議題	①役員の一部②会員加入の③その他		事担当部会につ	VIC			
❸ 期日	8月20日(月])					
出席者数		、監 事:2 補充に伴う対 催について					
議題	④社会福祉大 ⑤共同募金の ⑥その他	会の開催につ 実施について	の開催について いて				
	10月 4日(理事:10)	水) V、監 事:C)				
	①社会福祉大	会の開催につ					
	12月11日(火) 人、監事:2	人				
	小松与地和の	一部変画につ	いて				

議題 ①給与規程の一部変更について ②その他

期日 2月28日 (木) 出席者数 理 事:11人、監 事:2人 ①定款の変更について ②常務理事の就業等に関する規程の廃止について ③役員の報酬、費用弁償に関する規程の一部改正について ④職務権限規程の一部改正について ⑤文書取扱規程の一部改正について ⑥職員表彰規程の一部改正について 議題 ⑦平成30年度補正予算案について ⑧平成31年度事業計画案について ⑨平成31年度予算(案)について ⑪その他 月標設定 目標達成度を計 理事会における発言理事の割合 (発言理事/理事定数12名) る指標 100% 出席率 88.6% (*平均) 役員各位から建設的かつ活発な質問や意見等が多く寄せられ、法人運営への主体的な参画意識が醸成され 実績・成果 つつあります(年6回開催は県西地区最多)。 発言理事割合:72.5%(*平均) 問題意識の共有化を図り、「アイデアのゆりかご」として議論することにより、問題提起等、真の執行機 課題 関にふさわしい役割発揮をすすめます。 評価の説明「理事会への出席率も高く、毎回建設的かつ活発な議論が交わされているため。 評価 ____ 改善策及び今後 自律的法人経営をめざした的確な判断と地域に開かれた組織体制の確立 の取り組み ② 監事会の開催 監査機関である監事会を、福祉会館にて3回開催しました。 内容 期日 5月08日(火) 出席者数 監事:3人 議題 平成29年度事業及び会計に関する決算監査 期日 9月12日(水 出席者数 監 事:3人 議題|平成30年度(4~7月)事業及び会計に関する中間監査(第1回) 期日 1月16日(水) 出席者数 監事:3人 議題 平成30年度(8~11月)事業及び会計に関する中間監査(第2回) 実績・成果|中間含め年3回監査を実施することにより、定期的なチェック体制が整備されています。 監査マニュアル活用。 課題 毎回適切に監査いただき、活発な質問や意見、指摘が表出され、都度説明を加 評価 評価の説明 えることにより、監査機関としての役割発揮が果たせていると考えるため。 改善策及び今後 新たに整備した監査マニュアルに沿った監査の実施 の取り組み ③ 評議員会の開催 議決機関である評議員会を、福祉会館にて2回開催しました。 内容 期日 6月01日 (木) 出席者数 評議員:24人、理事:3人、監事:1人、来賓:2人 ①平成29年度事業報告について ②平成29年度決算について 監査報告 議題 ③平成30年度補正予算について ④役員(理事)の選任について ⑤その他 期日 3月26日(火) 出席者数 評議員:21人、理事:3人、来賓:1人 ①定款の変更について ②役員の報酬、費用弁償に関する規程の一部改正について ③平成30年度補正予算案について ④平成31年度事業計画案について ⑤平成31年度予算案について ⑥その他 出席率 86.5% (*平均) 評議員各位から第三者性を有した活発な質問や意見等が寄せられ、最終議決機関にふさわしいスタイルと 実績・成果

なりつつあります。

	発言者が固	定化されるき	らいがあるため、進行方法と提供資料に工夫が必要。
評価	0	評価の説明	毎回活発な質問や意見が表出され、都度説明を加えることにより、議決機関と しての役割発揮が果たせていると考えるため。
改善策及び今後 の取り組み	自律的法人経	営をめざした	: 的確な判断と地域に開かれた組織体制の確立
	邵会(総務・事		
内容	世事担当部	会(総務、事	業)を、福祉会館にて開催しました。
1) 総務部会			
	5月11日(金		
出席者数	総務部会担当	埋事寺:5人	
議題	②平成29年月 ③平成30年月 ④評議員候補	隻事業報告に1 隻一般会計決算 隻予算補正予算 i者の選任につ .及び改正につ	算について 算について いいて
2 期日	2月19日(以	<i>(</i>)	
出席者数	総務部会担当	理事等:5人	
	①定款の改正		
			る規程の廃止について
議題		·部改正につい g 補正予算に	
		まる 開北 アダル	
		度 予算につい	
2) 事業部会			
● 期日	8月10日(金	2)	
出席者数	事業部会担当	理事等:5人	
	①敬老会の開	催について	
議題	②チビッ子ら	んどフェスタ	の開催について
可我是		会の開催につ	
	④共同募金の	実施について	
実績・成果			チビッ子らんどフェスタ等について、役員各位が理事会とは別に本会運営につい
天視・以木	て幅広くかつ	率直に参画、	議論できる場として機能しています。
課題	開催時期、	回数、内容	
評価	0	評価の説明	毎回活発な質問や意見が表出され、都度説明を加えることにより、理事担当部 会としての役割発揮が果たせていると考えるため。
改善策及び今後 の取り組み	自律的法人経	営をめざした	理事担当部会の機能強化
© 17	N. F. (47	⋜₩ ⋨ ◇≅¥⋋⋌	D88/#
_ ⑤ トップミー	-ティング(紹		· · · · · ·
内容	グ(理事会開	催前の事前協	でへ向けた合意形成を図るために、正副会長、事務局長の計4人によるミーティン 議等)を、福祉会館にて5回開催しました。
期日	① 5月14日		③12月 4日(火) ④ 2月21日(★) ★ ₹ 4回
	② 8月13日 理事会に生		④ 2月21日(木) *計4回 *計4回 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
実績・成果	埋事云に允 す。	ゴク、 本云王	:1407ャネンスノドにフいて励議し、コノヒノリ人を侍る場合して機能していま
課題	本会の経営	、運営方針や 議への負担増	対会的使命、将来像、戦略の立案。 ・
		評価の説明	毎回活発な質問や意見が表出され、都度説明を加えることにより、経営者会議
			としての役割発揮が果たせていると考えるため。
改善策及び今後 の取り組み			たトップミーティング(経営者会議)の機能強化(経営判断) め、理事会前の開催検討(コンセンサス目的開催は廃止方向)
⑥ 役員研修会	全の関係		
内容		を2回開催し	まし <i>た</i> 。
1) 役員研修			
	/ <u>/</u> 11月28日(7K)	
	藤沢市社協	. = -/	
	理事:9人	、 監 事:1/	A.
ᄶᄆᇄᄱ			へ i築をめざして
内容			9架をめさして 引れる居場所"地域の縁側"実践事例から学ぶ~
rau	視察先:藤		The second secon
	1		

	2) 足柄上地	也区・西湘地区	〔(2市8町)社	協役員合同研修会	
		12月12日(水)		
		福祉会館			
	出席者数	理 事:3人	(*当町からの	D出席者)	
		①講演			
	内容			え合い・助け合いのめざす姿 さん(中央共同募金会常務理事)	
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 台 馬 无	ON (中央共同券並云吊拐连事)	
-	 目標達成度を計				目標設定
	る指標				100%
-		43.3% (**			10070
_				た駆的な取り組み事例を現地へ赴き直接説明を受けま	した。現在の本会の立ち位
	実績・成果			答ができたことにより、役員各位の課題認識の共有化	
	課題			为部研修(理事会以外の議論の場)と②外部研修(先	
_	1 大陸	に企画、実施	することによ	り、役員各位のさらなる資質向上に寄与したいと考え	<i>.</i> ます。
	評価	\cap	評価の説明	役員各位の識見向上に少なからず寄与できていると	考えるため 。
_					
	改善策及び今後 の取り組み	役員各位の出	席率向上		
_	しつ 月入・フ 小丘 ひ ア				
	⑦ 評議員選係	壬・解任委員会	≧の関催		
-		ナークロがけ		たに必置となった評議員選任・解任委員会を、福祉会	 :館にて1回閏催しました
	内容	(書面表決)			品にて「国内にしてした
	1 期日	4月23日(月	1/通知発出日)	
	会場	委員:4人			
	出席者数	選考委員(評	議員):4人		
	議題		2人)の選任に	こついて	
_		②その他			
_				軍営へ向けた必要な手続きとして機能しています。 	
_	課題	協議体として	、より多種云 	員(団体、機関)から選出、応援いただくための工夫	.0
	評価		評価の説明	必要な手続きとして機能しているため。	
-	改善策及び今後				
	の取り組み	評議員の任期	満了、改選期	及び選出母体側都合による任期途中の交替期に随時設	:置、開催
_					
	⑧ 地域福祉	推進協議会の開	眉催		
				と地域福祉活動計画(開成町社協)の一体計画たる開	
	内容			するための協議会を、福祉会館にて1回開催しました。	
				坦っていた本協議会の事務局機能を本年度から本会^	移官
		3月28日(木	₹)		
	出席者数	委 員:8人		(1100 00) - 1/4/4/1977	
	■美里百	11福祉コミュ12地域福祉推		(H28-32)の進捗状況について 理覧について	
	哉煜	3その他	ににのうる音		
-	実績・成果	担当所管課、	局ごとの一次	評価シートをもとに、計画全71事業の総合評価と補	
-				よる基本理念・目標の達成	
_	=17.745			計画の進捗、達成状況を各層から多面的に評価いたが	
	評価		評価の説明	することができているため。	
	改善策及び今後	 社会福祉法に	定める地域福	祉像及び市町村地域福祉計画像の当町らしさを発揮し	た旦現化促進
_	の取り組み				
		- 88 /H			
_	9 職員会議(きまいせる方	1 にはね、温度充計のサナルナ図フセルル、1190円入窓	
	内容	職員の貸質 た。	、専門性の同	上と情報、課題意識の共有化を図るために、職員会議	を偏位云路に(開催しまし
-		<u> /⊂。</u> 員ミーティング	»		
-		ラミーティフラ 毎週1回 *:		富全 が	
-				- 33 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	
-		毎月1回			
_			給食、包括	各部門別ミーティング)	
_	日煙法の舟を引	課題分析			目標設定
	目標達成度を計る指標	タミーティン	グの開催回数		PDCA: 12回開催
			アヨルエノノ (本)		±000 · 1 (5) 88/1/2

期日 実績・成果 課題	毎月各1回他			
			÷:☆のサケルがすすユナーセ	
			意識の共有化がすすみました。 地域福祉援助技術等専門技術のレベルアップ。	
評価	_	17-738. 評価の説明	PDCAミーティングは12回開催できましたが、部門期開催ができなかったため。	ミーティングにおいては定
			NTは、事業進捗チェック機能の強化 ービス)ミーティング開催検討	
10 職員の資格	各取得促進と各			
内容 ————————————————————————————————————	参加しました		上を図るために、神奈川県社協等主催による各種研修: 	会、研究会に随時慎極的に
実績・成果			知識、技術の修得がすすみました。	
課題	体系的研修	プログラムの <u>:</u>	立案と計画的な受講	
評価	0	評価の説明	各種研修を受講し職員1人が新たな資格(主任ケアマ たため。	ネージャー)を取得でき
改善策及び今後 の取り組み		び専門性の向	上を図るための資格(国家資格、ケアマネージャー)〕	取得
2) 財源の確保				
	の促進と会員構	請成の拡充		
内容	ととあわせて	、社会福祉へ	事業関係者をはじめ、幅広い分野からの参加を得、地 の関心の喚起、町社協への参加意識の醸成のために、 規加入促進を各々目標に、町社協会員の募集と会費徴	一般会員(一般世帯)は全
募集月間) () () () () () () () () () (X 2 13 7 13 7 2 7 2 0
202147010	①一般会員(一般世帯)	4,028世帯(4,554口/カ	11.0%)
		500円~	*前年比22世帯増	
加入結果		各種団体)	82団体(572口)	
	>	500円~ (注 1. 企業等)	*前年比3団体増) 168社(280口)	
		[法人、企業等] 3,000円~	*前年比6社增	
協力	自治会	5,000 5	では十四〇江海	
·		·#*\ hn] ## (/		O+#=0 &
日信手以らて訂			今号加7 ##某 / 今### \	目標設定
る指標		.市)加入率(: 会費納入:	会員加入世帯/全世帯) 金額	80%
	同	会費納入	金額	80% 2,400,000円
る指標 	同 前年比でみ 入率は、分母 減となってい 入いただけま スティングを 一般会員(会費納入 た場合、加入 を①全世帯と ます。なお、 した。また、 昨年度に引き 団体)はDM(金額 世帯数は22世帯増となったものの、同口数は±ゼロのした場合は0.9ポイント、②自治会加入世帯とした場合本年度新たに発足したみなみ自治会からは初年度にもパレットガーデン自治会へは全地区対象に行っている流続き実施しました。 こよる案内、依頼を、賛助会員は直接訪問、依頼のほな	80% 2,400,000円 の同数となっています。加合は0.6ポイントいずれも 関わらず128世帯新規加通常の説明会の他、別途ポ
る指標 	同 前年比でみる 減となってける 入いただグラ それぞれまし それぞりまし	会費納入 た場合、加入 を①全世帯と ます。また、 した。また、 昨年度に引き 団体)はDMI 開拓含め行っ た。なお、H2	金額 世帯数は22世帯増となったものの、同口数は±ゼロのした場合は0.9ポイント、②自治会加入世帯とした場合本年度新たに発足したみなみ自治会からは初年度にもにしまりでいるがある。	80% 2,400,000円 の同数となっています。加合は0.6ポイントいずれも 関わらず128世帯新規加通常の説明会の他、別途ポ のDMによる案内、依頼を は同6口いずれも増の好結
る指標 	同 前年は、	会費納入 た場合ではあるでは、 た場合ではいるでは、 たまたでは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	金額 世帯数は22世帯増となったものの、同口数は±ゼロのした場合は0.9ポイント、②自治会加入世帯とした場合本年度新たに発足したみなみ自治会からは初年度にもパレットガーデン自治会へは全地区対象に行っている流き実施しました。 こよる案内、依頼を、賛助会員は直接訪問、依頼のほだた結果、一般会員(団体)は前年比20口、賛助会員に27年度からの継続的取り組みとして役員各位に企業あ	80% 2,400,000円 の同数となっています。加合は0.6ポイントいずれも 関わらず128世帯新規加通常の説明会の他、別途ポ のDMによる案内、依頼を は同6口いずれも増の好結 がて訪問いただき(職員随 、連続性を考慮しつつ、地 びに組長各位ヘプレゼン いるなか、幅広い層へのよ 共助意識の具現化、醸
る指標 <u>実績・成果</u>	同 前率というでは、	会費納入 た場合ではあるでは、 た場合ではいるでは、 たまたでは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	金額 世帯数は22世帯増となったものの、同口数は±ゼロのした場合は0.9ポイント、②自治会加入世帯とした場合本年度新たに発足したみなみ自治会からは初年度にもパレットガーデン自治会へは全地区対象に行っている流き実施しました。 こよる案内、依頼を、賛助会員は直接訪問、依頼のほだた結果、一般会員(団体)は前年比20口、賛助会員に27年度からの継続的取り組みとして役員各位に企業あって地のとおり)では、本会概要〜会費納入手順の一体性、ワークの一環として各担当地区へ赴き、自治会役員並らいています(説明責任遂行)が、若い組長様も増えています(説明責任遂行)が、若い組長様も増えては地野近に感じられる)説明方法の工夫が必要です(純毎の徴収、納入方法として組費からの一括納入スター	80% 2,400,000円 2,400,000円 2,400,000円 2,400,000円 2,400,000円 3,400,000 3,40
る指標 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後	同 前率というでは、 で分でけが員新ま入 で見いまを (規し依 っが) い、た の からいまを (規し依 っが) い、た の からいまを (規し依 っが) い、た の 加入	会費納入 た場合ではいるでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	金額 世帯数は22世帯増となったものの、同口数は±ゼロのした場合は0.9ポイント、②自治会加入世帯とした場合本年度新たに発足したみなみ自治会からは初年度にもパレットガーデン自治会へは全地区対象に行っている続き実施しました。 こよる案内、依頼を、賛助会員は直接訪問、依頼のほかた結果、一般会員(団体)は前年比20口、賛助会員は27年度からの継続的取り組みとして役員各位に企業をプセールス(後方支援)いただきました。 述のとおり)では、本会概要~会費納入手順の一体性、ワークの一環として各担当地区へ赴き、自治会役員並らいています(説明責任遂行)が、若い組長様も増えていけが卑近に感じられる)説明方法の工夫が必要です(三組毎の徴収、納入方法として組費からの一括納入スターを模索していくことも急務です。	80% 2,400,000円 0同数となっています。加合は0.6ポイントいずれも 関わらず128世帯新規加通常の説明会の他、別途ボ のDMによる案内、依頼を は同6口いずれも増の好結 いて訪問いただき(職員随 連続性を考慮しつつ、地 びに組長各位へプレゼン いるなか、幅広い層へのよ 共助意識の具現化、醸 イルが増えている現状に鑑
る指標 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み	同 前率というでは、 で分でけが員新ま入 で見いまを (規し依 っが) い、た の からいまを (規し依 っが) い、た の からいまを (規し依 っが) い、た の 加入	会 信息 では できました では できました では できました では できました できました できました できました できない できない できない できない できない できない できない できない	金額 世帯数は22世帯増となったものの、同口数は±ゼロのした場合は0.9ポイント、②自治会加入世帯とした場合本年度新たに発足したみなみ自治会からは初年度にもパレットガーデン自治会へは全地区対象に行っている流き実施しました。 こよる案内、依頼を、賛助会員は直接訪問、依頼のほだた結果、一般会員(団体)は前年比20口、賛助会員に27年度からの継続的取り組みとして役員各位に企業あって中度からの継続的取り組みとして役員各位に企業あって中度からの継続的取り組みとして役員各位に企業あって中では、本会概要へ会費納入手順の一体性、ワークの一環として各担当地区へ赴き、自治会役員並にいています(説明責任遂行)が、若い組長様も増えてはでかりでは、本会概要へ会費納入手順の一体性、ワークの一環として各担当地区へ赴き、自治会役員並にいています(説明責任遂行)が、若い組長様も増えてにはが卑近に感じられる)説明方法の工夫が必要です(認明の徴収、納入方法として組費からの一括納入スターを模索していくことも急務です。	80% 2,400,000円 0同数となっています。加合は0.6ポイントいずれも 関わらず128世帯新規加通常の説明会の他、別途ボ のDMによる案内、依頼を は同6口いずれも増の好結 いて訪問いただき(職員随 連続性を考慮しつつ、地 びに組長各位へプレゼン いるなか、幅広い層へのよ 共助意識の具現化、醸 イルが増えている現状に鑑
る指標 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み ② 寄付寄託記	同 前率といたイルで が表といたイルで が表といたイルで がったがした で分でけが員新ま入 で分でけが員新ま入 で分でけが員新ま入 で分でけが員新ま入 で角に職ルやま応 の自 大 民確 にの保 にの保 での保 での保 での保 での保 での保 での保 での保 で	会費納入 た場合では、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	金額 世帯数は22世帯増となったものの、同口数は±ゼロのした場合は0.9ポイント、②自治会加入世帯とした場合本年度新たに発足したみなみ自治会からは初年度にもパレットガーデン自治会へは全地区対象に行っているが続き実施しました。 こよる案内、依頼を、賛助会員は直接訪問、依頼のほかた結果、一般会員(団体)は前年比20口、賛助会員に27年度からの継続的取り組みとして役員各位に企業ありでは、本会概要~会費納入手順の一体性、ワークの一環として各担当地区へ赴き、自治会役員並いています(説明責任遂行)が、若い組長様も増えていています(説明責任遂行)が、若い組長様も増えていています(説明責任遂行)が、若い組長様も増えては性が卑近に感じられる)説明方法の工夫が必要です(説明の徴収、納入方法として組費からの一括納入スターを模索していくことも急務です。 一般会員(世帯、団体)数及び賛助会員数とも前年比の実績)を自治会加入率相当の約80%まで引き上げるが本会会員)、最終的には町内全世帯加入をめざしまれた善意の寄付金品等を受け入れるとともに、寄付寄った。 れた善意の寄付金品等を受け入れるとともに、寄付寄った。 れた善意の寄付金品等を受け入れるとともに、寄付寄った。	80% 2,400,000円 0同数となっています。加合は0.6ポイントいずれも 関わらず128世帯新規加通常の説明会の他、別途ポのDMによる案内、依頼を は同6口いずれも増の好結 がて訪問いただき(職員随 連続性を考慮しつつ、地 びに組長各位へつしゼン いるなか、何見現化、醸 イルが増えている現状に鑑 プラスとなったため。 ことを当座の目標とし す。 担当:土井高史 託者の拡大を図り、自主財
る指標 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み ② 寄付寄託記 内容	同 前率といたイルで が表といたイルで が表といたイルで がったがした で分でけが員新ま入 で分でけが員新ま入 で分でけが員新ま入 で分でけが員新ま入 で角に職ルやま応 の自 大 民確 にの保 にの保 での保 での保 での保 での保 での保 での保 での保 で	会 意 ま し に は は は は は は は は は は は は は	金額 世帯数は22世帯増となったものの、同口数は±ゼロのした場合は0.9ポイント、②自治会加入世帯とした場合本年度新たに発足したみなみ自治会からは初年度にもパレットガーデン自治会へは全地区対象に行っているが続き実施しました。 こよる案内、依頼を、賛助会員は直接訪問、依頼のほかた結果、一般会員(団体)は前年比20口、賛助会員に27年度からの継続的取り組みとして役員各位に企業ありでは、本会概要~会費納入手順の一体性、ワークの一環として各担当地区へ赴き、自治会役員並いています(説明責任遂行)が、若い組長様も増えていています(説明責任遂行)が、若い組長様も増えていています(説明責任遂行)が、若い組長様も増えては性が卑近に感じられる)説明方法の工夫が必要です(説明の徴収、納入方法として組費からの一括納入スターを模索していくことも急務です。 一般会員(世帯、団体)数及び賛助会員数とも前年比の実績)を自治会加入率相当の約80%まで引き上げるが本会会員)、最終的には町内全世帯加入をめざしまれた善意の寄付金品等を受け入れるとともに、寄付寄った。 れた善意の寄付金品等を受け入れるとともに、寄付寄った。 れた善意の寄付金品等を受け入れるとともに、寄付寄った。	80% 2,400,000円 0同数となっています。加合は0.6ポイントいずれも 関わらず128世帯新規加通常の説明会の他、別途ボのDMによる案内、依頼を は同6口いずれも増の好結 いて訪問いただき(職員随 連続性を考慮しつつ、地 びに組長各位へプレゼン いるなか、向見現化、醸 イルが増えている現状に鑑 プラスとなったため。 ことを当座の目標とし す。 担当:土井高史 託者の拡大を図り、自主財

	①寄付金			59件		
奇仃件数	②寄託品			20件		
	*計			79件 *前:		
	①一般受付分			804,239円		
同 金額	②善意の小箱	1(*設置協力)	店舗数:33店舗)	65,774円		
	*計			870,013円	*前年度比	47,073円減
	①本年度積立	額	850,0	000円		
積立等結果	②同 取崩	額	1,117,	587円		
	③累計		68,040,8	879円		
	寄付金につ	いては、前年		 :口寄付1件がなかっ/	こことも影響し	
実績・成果	た。	2.04 133 17	~ J C J W C C C / W	313 11113 6.13 27		
天碩 *			人全体の歳入不足に	より止む無く本年度	も基金を崩し	補てんせざるをえない事
	が続いていま	す。				
課題	めの姿勢まで 知、PRに一層 福祉基金に	だは至っていまで 国の工夫が必要 こついては、基:	せん。本会が実施す です。 金と積立金の位置づ	る地域福祉推進事業	の貴重な財源の 旨と役割、整領	、積極的に寄付を募る等 としての活用状況含め、 合性)と、原資取り崩し
評価	Δ	評価の説明	基金取り崩しを行れ	 つざるをえなかったた	<u>-</u> め。	
	寄付金につい	L TはPRの強化	L :及び使涂の目える(ては避難的其	金取り崩しの事態回避と
		現にそれぞれ			「ては歴史記が生	
③ 共同募金	の実施					
	1		エナヘシケル トフサ			
	お実せいた			同募金に協力しまし		へ全額送金するとともに
内容						* 異として活用させてい
	だきます。	050 · 75 <u>m</u> 75 ie	20.000 0011 20171	TO BOOK OF THE	12012	
草仝日問	10~12月					
戸別募金協力						
广则务业励力		·詳导	2.旧辛禾2.协举人禾		₩5540 / J + ·	±₩±₹₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩
街頭募金協力	町長、町譲云 田阜草笙学校	(議貝、氏生安! 5 マックフバ	貝尤里安貝協議云安 11~関成庄 - 関成职	:貝、KOIVINY地域作 !前店、小田急開成駅	美川(1/01)、	地域作業所合力の郷、吉
		(フュ用水心、用水剤	別心、小田志用戏劇		目標設定
目標達成度を計 る指標						2,760,000
						Z. (Y)(J.(J(J)
	小市団首全		0.00E			
	①戸別募金			500円 ⑤学校募金	± 🛆	87,346
募金 結果	②街頭募金		71,	479円 ⑥その他の募	金	87,346 35,259
募金 結果	②街頭募金 ③法人募金		71, 225,	479円 ⑥その他の纂 976円 *計		87,346
募金 結果	②街頭募金		71, 225,	479円 ⑥その他の募		87,346 35,259
募金 結果 実績・成果	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3年続		71, 225, 49, となっていた実績額	479円 ⑥その他の纂 976円 *計 384円 *前年比49,	296円減 てしまいました	87,346 35,259
	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3年続たす街頭募金	では、多くの	71, 225, 49, となっていた実績額 関係機関、団体の方	479円 ⑥その他の募 976円 *計 384円 *前年比49, が本年度は減に転じ なの協力をいただき	296円減 てしまいました ました。	87,346 35,259 2,534,944 E。運動のPR的役割を果
実績・成果	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3年続たす街頭募金	では、多くの 	71, 225, 49, となっていた実績額 関係機関、団体の方 環として実施される	479円 ⑥その他の募 976円 *計 384円 *前年比49, が本年度は減に転じたの協力をいただき 共同募金は、本会を	296円減 てしまいました ました。 含む民間福祉	87,346 35,259 2,534,944 E。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える
実績・成果	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3年続たす街頭募金 国民たすけめに重要かつ	では、多くの あい運動の一! 不可欠である	71, 225, 49, となっていた実績額 関係機関、団体の方 環として実施される	479円 ⑥その他の募 976円 *計 384円 *前年比49, が本年度は減に転じたの協力をいただき 共同募金は、本会を	296円減 てしまいました ました。 含む民間福祉	87,346 35,259 2,534,944 E。運動のPR的役割を果
実績・成果	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3年続たす街頭募金	では、多くの あい運動の一! 不可欠である	71, 225, 49, となっていた実績額 関係機関、団体の方 環として実施される	479円 ⑥その他の募 976円 *計 384円 *前年比49, が本年度は減に転じたの協力をいただき 共同募金は、本会を	296円減 てしまいました ました。 含む民間福祉	87,346 35,259 2,534,944 E。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える
実績・成果	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3年続たす街頭募金 国民たすけめに重要かつ的に展開して	では、多くの あい運動の一! 不可欠である	71, 225, 49, となっていた実績額 関係機関、団体の方 環として実施される ことから、引き続き	479円 ⑥その他の募 976円 *計 384円 *前年比49, が本年度は減に転じたの協力をいただき 共同募金は、本会を	296円減 てしまいました ました。 含む民間福祉 普及」を基調。	87,346 35,259 2,534,944 E。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える
実績・成果 課題 評価	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3年続たす街頭募金 国民たすけめに重要かつ的に展開して	では、多くの あい運動の一: ア可欠である まいります。	71, 225, 49, となっていた実績額 関係機関、団体の方 環として実施される ことから、引き続き	479円 ⑥その他の募 976円 *計 384円 *前年比49, が本年度は減に転じて なの協力をいただき 共同募金は、本会を にたすけあいの心の	296円減 てしまいました ました。 含む民間福祉 普及」を基調。	87,346 35,259 2,534,944 E。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3年続たす街頭募金 国民たすけめに重要かつ的に展開して	では、多くの 対	71, 225, 49, となっていた実績額 関係機関、団体の方 環として実施される ことから、引き続き 前年実績を上回るる	479円 ⑥その他の募 976円 *計 384円 *前年比49, が本年度は減に転じて なの協力をいただき 共同募金は、本会を にたすけあいの心の	296円減 てしまいました ました。 含む民間福祉 普及」を基調。	87,346 35,259 2,534,944 E。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える
実績・成果 課題 評価	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3年続たす街頭募金 国民たすけめに重要かつ的に展開して	では、多くの 対	71, 225, 49, となっていた実績額 関係機関、団体の方 環として実施される ことから、引き続き 前年実績を上回るる	479円 ⑥その他の募 976円 *計 384円 *前年比49, が本年度は減に転じて なの協力をいただき 共同募金は、本会を にたすけあいの心の	296円減 てしまいました ました。 含む民間福祉 普及」を基調。	87,346 35,259 2,534,944 E。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3年続たす街頭募金 国民たすけめに重要かつ的に展開して	では、多くの 対	71, 225, 49, となっていた実績額 関係機関、団体の方 環として実施される ことから、引き続き 前年実績を上回るる	479円 ⑥その他の募 976円 *計 384円 *前年比49, が本年度は減に転じて なの協力をいただき 共同募金は、本会を にたすけあいの心の	296円減 てしまいました ました。 含む民間福祉 普及」を基調。	87,346 35,259 2,534,944 E。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3)連絡調整機能	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3年続たす街頭募金 国民たすけめに重要かつ的に展開して 上の強化及で	では、多くのはあい運動の一部のである。 まいります。 評価の説明	71, 225, 49, となっていた実績額. 関係機関、団体の方 環として実施される ことから、引き続き 前年実績を上回るこ 3化をすすめ、前年写	479円 ⑥その他の募 976円 *計 384円 *前年比49, が本年度は減に転じて なの協力をいただき 共同募金は、本会を にたすけあいの心の	296円減 てしまいました ました。 含む民間福祉 普及」を基調。	87,346 35,259 2,534,944 E。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3) 連絡調整機	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3年続たす街頭募金 国民たすかのに展開して 上のでは、	では、多くのはあい運動の一部のである。 まいります。 評価の説明 ご使途の見える	71, 225, 49, となっていた実績額 関係機関、団体の方 環として実施される ことから、引き続き 前年実績を上回るこ 6化をすすめ、前年9	479円 ⑥その他の第976円 *計384円 *前年比49.が本年度は減に転じての協力をいただき、共同募金は、本会をでしたすけあいの心のでしたができなかっただま。	296円減 てしまいました ました。 含む民間福祉; 普及」を基調。 ため。	87,346 35,259 2,534,944 E。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3) 連絡調整機	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3年続たす街頭募金 国民重要別して 上のに展開して 全 日本の強化及で との充実 国社事業関係機 公私社会福	では、多くのは、多くのはあい運動の一部のである。 まいります。 評価の説明 評価の見える 選関・団体等と 選ע事業関係機	71,225,49,249,325,49,49,49,49,49,49,49,49,49,49,49,49,49,	479円 ⑥その他の第976円 *計384円 *前年比49.が本年度は減に転じたの協力をいただき、共同募金は、本会をでしたすけあいの心のでしたができなかっただま。 は関連をあざします。	296円減 Cしまいました。 含む民間福祉; 普及」を基調。 E.め。	87,346 35,259 2,534,944 こ。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える とした各種募金活動を積
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3) 連絡調整機	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3頭募 をすりのに展見をして 上のの強化及で との充実 記述事業関係を 公お、他機	では、多くのは、多くのはあい運動の一部のである。 まいります。 評価の説明 評価の見える 選関・団体等と 選ע事業関係機	71,225,49,249,325,49,49,49,49,49,49,49,49,49,49,49,49,49,	479円 ⑥その他の第976円 *計384円 *前年比49.が本年度は減に転じたの協力をいただき、共同募金は、本会をでしたすけあいの心のでしたができなかっただま。 は関連をあざします。	296円減 Cしまいました。 含む民間福祉; 普及」を基調。 E.め。	87,346 35,259 2,534,944 E。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3)連絡調整機能 ① 公私社会社	②街頭募金 ③法人募金 ④職域募金 過去3頭募金 過去3頭募 国に展開したのに展開したのでである。 PRの強化及で との充実 量社事業関係を確している。	では、多くの対象のでは、多くの対象のである。まいります。 評価の説明 評価の見える 関関・団体等と関連 関係係られている。	71,225,49,249,325,49,49,49,49,49,49,49,49,49,49,49,49,49,	479円 ⑥その他の第976円 *計384円 *前年比49.が本年度は減に転じたの協力をいただき、共同募金は、本会をでしたすけあいの心のでしたができなかっただま。 は関事業の性進を、、本会役職員が着任	296円減 Cしまいました。 含む民間福祉; 普及」を基調。 E.め。	87,346 35,259 2,534,944 こ。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える とした各種募金活動を積
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3)連絡調整機能 ① 公私社会社	②街頭募金 ③法人募募金 ④職域 表面 国に 国に 国に 国に 国に 国に 国に 国に 国に 国の 強化 及び 日本 の 発生 関係 を で の 発生 の で の で で は で の で で で で で で で で で で で で	では、多くの対象のでは、多くの対象のである。まいります。 評価の説明 評価の見える 関関・団体等と関連 関係係られている。	71,225,49,249,349,3449,3449,3449,3449,3449,344	479円 ⑥その他の第976円 *計384円 *前年比49.0 が本年度は減に転じたの協力をいただき、共同募金は、本会をでしたすけあいの心のととができなかっただま。 は関事業の仕ます。 は、協働事業の推進を、本会役職員が着任意。	296円減 Cしまいました。 含む民間福祉; 普及」を基調。 E.め。	87,346 35,259 2,534,944 こ。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える とした各種募金活動を積
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3) 連絡調整機能 ① 公私社会社	②街頭募金金 ③法域 3頭 5 国に	では、多くの あい 運動の る では、 多くの あい 運動の あってい かでます。 評価の 見える 関連 は 関連 は は は は は は は は は は は は は は は は	71, 225, 49, 49, 49, 49, 225, 49, 49, 25, 49, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25	479円 ⑥その他の第976円 *計384円 *前年比49.0 が本年度は減に転じたれる協力をいただき、共同募金は、本会をできている。 は、本会できなかっただま は 増をめざします。 は 協働事業の推進をに、 本会役職員が着任。 の 事務局長 の アーク協議会 委	296円減 C しまいました。 含む民間福祉注 普及」を基調。 E め。 図りました。 3参画した委託	87,346 35,259 2,534,944 こ。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える とした各種募金活動を積
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3)連絡調整機能 ① 公私社会社	②街頭 第金金 (4) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	では、多くの あい 運動の る では、 多くの あい 運動の る で まずの で まずの で まずの 見える で は 関	71, 225, 49, 49, 49, 49, 225, 49, 49, 25, 49, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25	479円 ⑥その他の第976円 *計384円 *前年比49.0 が本年度は減に転じたれる協力をいただき、共同募金は、本会をできている。 は、本会できなかっただま は 増をめざします。 は 協働事業の推進をに、 本会役職員が着任。 の 事務局長 の アーク協議会 委	296円減 てしまいました。 含む民間福祉; 普及」を基調。 きめ。	87,346 35,259 2,534,944 こ。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える とした各種募金活動を積
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3)連絡調整機能 ① 公私社会社	②街頭募金金 ③法域 3頭 5 国に	では、多くの あい 運動の る では、 多くの あい 運動の あってい かでます。 評価の 見える 関連 は 関連 は は は は は は は は は は は は は は は は	71, 225, 49, 49, 49, 49, 225, 49, 49, 25, 49, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25	479円 ⑥その他の第976円 *計384円 *前年比49.0 が本年度は減に転じたれる協力をいただき、共同募金は、本会をできている。 は、本会できなかっただま は 増をめざします。 は 協働事業の推進をに、 本会役職員が着任。 の 事務局長 の アーク協議会 委	296円減 C しまいました。 含む民間福祉注 普及」を基調。 E め。 図りました。 3参画した委託	87,346 35,259 2,534,944 こ。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える とした各種募金活動を積
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3)連絡調整機能 ① 公私社会社 内容	②街法域 会報 と は で は で で で で で で で で で で で で で で で で	では、多くのあいでは、多くのあいでは、多くのあいでは、多くのあいでは、多くのあるでは、運動のある。 評価の説明 では、 評価の見える 世界 は 保護 は は は は は は は は は は は は は は は は は	71, 225, 49, 225, 49, 49, 25, 49, 25, 49, 25, 49, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25	479円 ⑥その他の第976円 *計384円 *前年比49,が本年度は減に転じたり、次の協力をいただき、共同募金は、本会をいただきをいったができなかっただとができなかっただとができなかっただとり、協働事業の推進を任い、本会役職員が着任いのの。	296円減 C しまいましたました。 含む民間福祉注 普及」を基調 さめ。 図りました。 (事務)等	87,346 35,259 2,534,944 こ。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える とした各種募金活動を積
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3)連絡調整機能 ① 公私社会社	②街送会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会	では、多くのあいでは、多くのあいでは、多くのあいでは、多くのあいでは、多くのあるでは、運動のある。 評価の説明 では、 評価の見える 世界 は 保護 は は は は は は は は は は は は は は は は は	71, 225, 49, 225, 49, 49, 25, 49, 25, 49, 25, 49, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25	479円 ⑥その他の第976円 *計384円 *前年比49,が本年度は減に転じたり、次の協力をいただき、共同募金は、本会をいただきをいったができなかっただとができなかっただとができなかっただとり、協働事業の推進を任い、本会役職員が着任いのの。	296円減 C しまいましたました。 含む民間福祉注 普及」を基調 さめ。 図りました。 (事務)等	87,346 35,259 2,534,944 こ。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える とした各種募金活動を積
実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み 3)連絡調整機能 ① 公私社会社 内容	②街法域 会報 と は で は で で で で で で で で で で で で で で で で	では、多くのあいでは、多くのあいでは、多くのあいでは、多くのあいでは、多くのあるでは、運動のある。 評価の説明 では、 評価の見える 世界 は 保護 は は は は は は は は は は は は は は は は は	71, 225, 49, 225, 49, 49, 25, 49, 25, 49, 25, 49, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25, 25	479円 ⑥その他の第976円 *計384円 *前年比49,が本年度は減に転じたり、次の協力をいただき、共同募金は、本会をいただきをいったができなかっただとができなかっただとができなかっただとり、協働事業の推進を任い、本会役職員が着任いのの。	296円減 C しまいましたました。 含む民間福祉注 普及」を基調 さめ。 図りました。 (事務)等	87,346 35,259 2,534,944 こ。運動のPR的役割を果 活動を資金面から支える とした各種募金活動を積

	T					
実績・成果	地域福祉推 くりをすすめ		ネート役たる機能を柔軟し	こ発揮し、関係機関、団体と	連携しつつ、	福祉のまちづ
課題			会としての明確な将来像の	の確立と協働事業の具体的展	開。	
評価	0	評価の説明	関係機関、団体と連携し	、各協議会等へ参画できただ	きめ。	
改善策及び今後 の取り組み	今後も積極的	に関係機関、	団体と連携協働し、地域	冨祉の増進に努め、社協の存	在意義を強ぐ	く示す
② 民生委員場	見童委員協議会	の支援(事務	(局)			
内容	地域福祉推	進のパートナ	ーたる同協議会の事務局の	として、運営を支援しました	0	_
			:毎月各1回開催			
目標達成度を計 る指標	全委員の外部 ネットワーク				目標設定	35/35
実績・成果	委員活動の 活動日数は 平成22年 進展が図られ	述べ5,309日 まから事務局を つつあります。	会の開催(外部との調整) (44日増)。 を担うことにより、両者の。また、平成24年度から))連携協働体制がより強化され 受託した地域包括支援センタ 安心に寄与できています。		
課題	・予算措置な ・事務局運営 ・民児協の主	の多様化	り事務用品購入等一部負	旦あり)		
評価	0	評価の説明	定例会及び役員会を予定 他町との交歓民児協の実 たため。	通り開催できたため。 施及び上ブロック大規模研修	多等に積極的	に参加ができ
改善策及び今後 の取り組み	児童委員活動	の強化(研修	参加、活動周知)			
	高齢者の生 援、介護予防 能)を果たす また、ネット 関との町生活 した。 本事業の理	活支援、介護 サービスの提 「生活支援コー 支援サービス・ フ支援サービス・ 解を深めるた。	供体制の構築に向けたコ・ ーディネーター(地域支: のコーディネート等に関ニーズとサービスのマッ・ 推進協議会(協議体)の め、各種研修会等への参	置(町受託事業) を推進していくことを目的と ーディネート機能(資源開発 え合い推進員)」を配置しま する業務、生活支援、介護予 チングの調査を実施しました 開催に向けて、事務局(保険 加と、住民向けの研修会を開 な支援組織化が図られました	やネットワー した。 防サービの! 。 健康課)と』 催し、モデル	- ク構築の機 巴握等、関係機 連携、協働しま
期日	通年	1日化〇、十字:			0	
 目標達成度を計	立ち上げモデ				目標設定	
る指標	実施地区支援 ① 地域支援					モデル地区増
実績•成果	●中中の原島修め師生師修生日活//の時間のでは、 ●中の原島修め師生師修生日活//の時間のでは、 ●本のでは、	区支援 支援 支援 受支援 開福サ川 コ21年 2月21年 2月21年 2月19日 312月 312月 312月 312月 312月 312月 312月 312月	活動視察研修(平塚市) 生活支援活動員の取り組 活動立上準備会立上げ 地域のサロン活動調 修会 成町社会福祉協議会 い手養成講座」 援専門員協会 副理事長 ーター養成研修)、11月29日(木))、12月27日(木) ターフォローアップ研修	開催日:2月14日(木) 開催日:2月25日(水)		参加:41人 参加:2人 参加:1人 参加:1人
			(m)			

実績•成果	 ②地域包括支援センター業務との連携(部門ミーティング等への参画) ③地域ケアねっとわーく会議への参画 ④自治会福祉部連絡会への参画 ⑤生活支援コーディネーター養成研修(講師派遣) ⑥地域支えあいフォーラムin足柄上の開催(県社協受託) ⑦広報啓発物の作成・開成町生活支援体制整備事業チラシ・開成町支えあいガイドの作成(H30.08)・支えあう地域をめざして(H31.01) 	参加:124人
課題	・コーディネーターとしてのスキルアップ	
評価	中家村並びに円中地区の取り組みを中心に地域の活動を関連事業(フォーラム、講師派遣、広報啓発物の製作	
改善策及び今後の取り組み		の開催
② 福祉会館の	の管理・運営(*指定管理者制度事業)	
内容	福祉会館の施設、設備の維持、管理並びに利用に伴う運営を行いました。また時掲載し広くPRに努めるとともに、開成町とも連携を密にし施設利用の充実をページ上にて福祉会館各部屋の予約状況公開含む)。また、①酒田、酒田みずのべ保育園及び②開成幼稚園の園児、③開成、開成南童、生徒の絵画等作品を、年間をつうじて会館1F(多目的ホール西側)に展示し	図りました(本会ホーム 小学校や④文命中学校の児
期日	通年	
	H27年度ベース6%増(利用料収入・稼働率) 利用回数・人数	目標設定 利用件数2,500回 利用人数35,000人
		稼働率31%
施設稼働率 利用回数	9,143時間 *前年比 1,221時間 増 28.5% *同年比 2.4% 増 (楽屋、控室、ボランティ延2,413回 *同年比 248回 増 延37,162人 *同年比 949人 増 詳細「資料1」のとおり ①寺子屋サマースクールの開催(小学生を対象に夏休み期間中の全9日間)参加者 延168人(実員50人)学習指導支援ボランティア 延9人(実員1人)+民生委員児童委員協議会 ②「体験教室、講習会、セミナーなど」共催事業の開催(企業、店舗等)大人の塗り絵 無料体験教室 9月27日(金)/参加者 ③防災訓練(町防災訓練を含む3回)	ア室を除く) 延12人(実員11人) 11人
施設稼働率 利用回数 同 者数	28.5% *同年比 2.4% 増 (楽屋、控室、ボランティ延2,413回 *同年比 248回 増 延37,162人 *同年比 949人 増 詳細「資料1」のとおり ①寺子屋サマースクールの開催(小学生を対象に夏休み期間中の全9日間) 参加者 延168人(実員50人) 学習指導支援ボランティア 延9人(実員1人)+民生委員児童委員協議会 ②「体験教室、講習会、セミナーなど」共催事業の開催(企業、店舗等) 大人の塗り絵 無料体験教室 9月27日(金)/参加者	ア室を除く) 延12人(実員11人) 11人 季節感のある装飾)
施設稼働率 利用回数 同 者数 その他	28.5% *同年比 2.4% 増 (楽屋、控室、ボランティ延2,413回 *同年比 248回 増	ア室を除く) 延12人(実員11人) 11人 季節感のある装飾) バルミネーション(11月下
施設稼働率 利用回数 同 者数 その他	28.5% *同年比 2.4% 増 (楽屋、控室、ボランティ延2,413回 *同年比 248回 増	ア室を除く) 延12人(実員11人) 11人 季節感のある装飾) バルミネーション(11月下
施設稼働率 利用回数 同 者数 その他	28.5% *同年比 2.4% 増 (楽屋、控室、ボランティ延2.413回 *同年比 248回 増	ア室を除く) 延12人(実員11人) 11人 季節感のある装飾) ルミネーション(11月下 利便を図りました。

□ 福祉サービス部門 □

【評価基準】

②:計画以上の成果(100%以上)○:概ね計画通りの成果(60~100%)△:計画通りに進まなかった(30~60%)■:成果がない・未達・未実施(30%未満)

福祉サービス利用支援 関係

O7 安心センター事業の充実

	自立支援事業の実施(*県社協受託事業)	
内容	判断能力が不十分な高齢者や障がいをお持ちの方の日常生活上の金銭管理、財力の利用を支援するために、日常生活自立支援事業を受託、実施しました。	産の保全及び福祉サービス
期日	通年	
契約締結審査会	神奈川県社会福祉協議会設置、開催 *審査件数O件	
目標達成度を計	モニタリングの実施	目標設定
る指標	利用契約者への適切な支援・援助 生活支援員の確保	利用契約者20人 支援員2人
相談件数	延488件	
訪問活動件数	延236件	
	延12人(うち、新規0人 終了2人)	
支援員数	1人(非常勤職員)	
実績・成果	行政や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携により、利用契約要な日常生活上の金銭管理、財産の保全及び福祉サービスの利用を支援するためいました。	
課題	・利用者が抱える課題を的確に判断し、その課題解決に向けた専門員の資質 ・契約者の増加に伴い、生活をサポートしていくための生活支援員の増員	
評価	京価の説明 目標の利用契約者20人、支援員2人確保が達成できた 生活支援員の不足により専門員が生活支援員を兼務す	
改善策及び今後 の取り組み	・専門員及び生活支援員の資質向上と適正な支援が行われる体制整備 ・専門員と生活支援員がそれぞれの役割を踏まえた相互牽制機能できる体制整備	
② 福祉対象者	ち把握一覧の整備・活用 *名称変更	
内容	在宅での援助を必要とする高齢者や障がいをお持ちの方等の個別状況を把握し、なげることとあわせて、関係機関、団体との情報の一元化を図るために、名簿を	
期日	通年 * 更新2回/年(9、2月)	
連携先	開成町(福祉課)、地域包括支援センター、民生委員児童委員協議会	
	発行(更新)回数 内容の充実	目標設定 2回
実績・成果	各種サービス利用者、登録者の個別状況を把握、一元化して、関係機関、団体にた。 ①804人(9月) ②812人(2月)	
課題	一覧掲載への拒否希望者の対応 要援護対象者の対応、取り扱い方法	
評価	評価の説明 年間2回更新ができ、情報が共有化できたため。	
改善策及び今後 の取り組み	対象者の理解(同意)を得て、必要な方が記載されるよう周知を強化します。	
③ 法人後見	事業の調査・研究	
内容	判断能力が不十分な高齢者や障がいをお持ちの方の権利を擁護するための法人役 究しました。	後見事業について調査、研
期日	通年	
連携先	自立支援協議会権利擁護部会 足柄上地区ネットワーク連絡会	
	日常生活自立支援事業との連携 広域展開にむけた取り組み強化	目標設定 広域連携の確立
実績•成果	自立支援協議会権利擁護部会と足柄上地区ネットワーク連絡会へ参加し情報交易である。 ました。 成年後見推進センター(仮称)の設置に向けて、足柄上地区社協連絡会において	
課題	今後の方向性の確立 足柄上地区社協連絡会における広域的な取り組み	
評価	平価の説明 足柄上地区社協連絡会として、日常生活自立支援事業 推進センター」の設置に向けた取り組みを強化する方	
改善策及び今後 の取り組み	近隣社協(足柄上地区社協連絡会)で課題の一つとして広域連携事業として検討	 します。

O8 総合相談・援護事業の充実

O8 総合相談 1)総合相談支援	長関係)允実							
	目談の実施	- /	1	+===		: tw/	+ - + - 	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	-/
内容	住民の皆さ とにより、福 を開設しまし	祉ニーズの問	上のあらゆる 題把握から解	相談に、 決まで	応じ 、 関係 の一貫した	機関との連携は相談援助体制	ものもと、 別を確立す	適切な助言と援助をるために、総合生活	活付うころ相談所
	1) 一般相談 2) 専門相談				毎月	月第2、4火曜	∄ É		計24回
期日					毎月	目最終火曜			計12回
743.2	②法務					月第3土曜			計12回 計46回
	福祉会館		₩VC Δ=#±↓	d) m	医红状毒土	^		*	計46世
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		重委員協議会 、		、小田	原仃以青 工	.云		目標設定	
目標達成度を計 る指標	相談受付体制 相談件数(開							適切な助き	
	1) 一般相談	(相談員:民生	主委員児童委員	員協議2	会) 2人	/ 0		2315-0151010	O件
	2) 専門相談								
及び 同 件数		目談員:弁護士				\			33件
	②法務(同	司 :行政書	(工)		2)	\		↓ = ↓	17件 50件
	 ①財産・相続	ā.			27件 ⑤{	主字		↑ 直 [3件
	②土地	u			10件 6村				3件
同 内訳	③法律				8件 ⑦				2件
	④離婚				4件 8	その他			16件
								*計(重複あり)	73件
実績・成果		☆窓口を開設す ○年より6件増。		、住民	にとって相	談できる窓口]のある安	心感につながってい	います。
課題	相談窓口のP	R不足。							
評価	\cap	評価の説明	適切な助言、	援助、	関係機関/	への移行(連	携)ができ	きているため。	
改善策及び今後 の取り組み	金融機関や病	 i院などへの相	 談所開設PR					<u> </u>	
内容期日	資金の貸付(x			の安定	及び修学の	ために必要な	な資金の貸	付と相談指導を行い	<u></u>)まし
	扣談码付休制	の整備・強化						目標設定	
目標達成度を計 る指標	償還監視•指							貸付相談・償還 他制度・機関と	
相談件数									
実績・成果	貸付や償還の	相談対応、関 機関との連携		携がで	きた。				
評価	0	評価の説明	貸付や償還の	D相談対	がを迅速に	こ行えたため	0		
改善策及び今後 の取り組み	貸付相談に対	する的確な判	断と迅速な対	応。関	係機関との	連携と必要な	な情報の共	有	
3) 援護支援隊		n ++40						+D.V/•A	Λ
<u>(1)</u> 年末たすに 内容	ナあい援護費の 年末たすけあ 2ヶ所の障が		川県共同募金	会開成した	町支会主管	うへ寄せられ	た寄付金	担当:3 の一部を激励金とし	6木雅人 √て町内
期日	12月25日(٠،ر. ا					
目標達成度を計		障がい者地域化	作業所への継続	続配分				目標設定 120	,000円
	①れんげ	- 		95.7	768円 * 請	 †			,768円
配分内訳	②合力の郷				200円				,

実績・成果	町内2か所の障がい者地域作業所への配分ができた。					
課題	配分の妥当性の検討。					
評価	0	評価の説明	効果的な配分ができたため。			
改善策及び今後 の取り組み	配分の妥当性(使途)の審査					
② 交通遺児抗	爰護費(県社協	弱受託事業)の)支給			
目標達成度を計る指標	該当者への適	切かつ迅速な	支給	目標設定 迅速かつ適切な対応		
* 今年度支給対象	象なし					
③ 災害見舞会	金の支給					
目標達成度を計る指標	-					
実績•成果	半焼1件					
課題	該当者への適	切かつ迅速な	支給			
評価	0	評価の説明	迅速かつ適切に見舞金を支給できたため			
改善策及び今後 の取り組み	該当者への適	切かつ迅速な	支給			
在宅福祉サー						
	サービスの推		<u>険外)</u>	10 N/ -10 11 11 11 1		
1 福祉機器質	賞与事業の実施 関成町在住 (日常生活をおくることに支障のある高齢者や障がいを	担当:松井雅史		
内容	とする福祉機 対象①高齢者 ②介護 ③一時	器を貸与し、 または身体障 保険給付サー	その在宅生活を支援しました。 がい者(要介護認定された方は除く) ビス「福祉用具貸与」の対象外の福祉機器を利用するれ、福祉機器が必要な方			
			が必要と認める方 。利用者の満足度は高い。			
	年度末にアン 通年		が必要と認める方			
目標達成度を計	年度末にアン 通年 利用件数	ケートを実施	が必要と認める方 。利用者の満足度は高い。	目標設定		
目標達成度を計	年度末にアン 通年	ケートを実施	が必要と認める方 。利用者の満足度は高い。 	目標設定 166件(10%増) 11件(4)		
目標達成度を計る指標	年度末にアン 通年 利用件数 利用者のニー ①車イス ②ポータブル	ケートを実施 ズ・満足度把	が必要と認める方 。利用者の満足度は高い。 握 69件(10) ④シャワーイス 20件(3)	166件(10%増) 11件(4)		
目標達成度を計	年度末にアン 通年 利用件数 利用者のニー ①車イス	ケートを実施 ズ・満足度把	が必要と認める方 。利用者の満足度は高い。 握 69件(10) ④シャワーイス 20件(3) 41件(7) *計	166件(10%增) 11件(4) 延142件		
目標達成度を計 る指標 利用件数	年度末にアン 通年 利用件数 利用者のニー ①車イス ②ポータブル	ケートを実施 ズ・満足度把 トイレ	が必要と認める方 。利用者の満足度は高い。 握 69件(10) ④シャワーイス 20件(3)	166件(10%増) 11件(4)		
目標達成度を計 る指標 利用件数	年度末にアン通年 利用件数 利用者のニー ①車イス ②ボッド 登録者 延べ 長期利でした。	ケートを実施 ズ・満足度把 トイレ 40人 6名。短期利り した。支払い	が必要と認める方 。利用者の満足度は高い。 握 69件(10) ④シャワーイス 20件(3) 41件(7) *計	166件(10%増) 11件(4) 延142件 *前年比 6件減 ービスとの住み分けを図る		
目標達成度を計 る指標 利用件数 利用者数 実績・成果	年度末にアン通年 利用件数 利用者のニー ①東イタブル ③ベッド 登録者 延べ 長期利がで。 でがいる でいい。	ケートを実施 ズ・満足度把 トイレ 40人 6名。 短期利り した。 支払い ども(骨折等	が必要と認める方 。利用者の満足度は高い。 握 69件(10) ④シャワーイス 20件(3) 41件(7) *計 *()は保有台数 用者が多く、申込み時に利用目的を把握し介護保険サ 方法について申し込み時や初回請求時の電話による訪	166件(10%増) 11件(4) 延142件 *前年比 6件減 ービスとの住み分けを図る 明を行い混乱はありません		
目標達成度を計 る指標 利用件数 利用者数 実績・成果	年度末にアン通年 利用件数 利用者の二一 ① ポータド ② 録者 用ででいたい で び はまで でが ぎ で が で の で で で で で で で で で で で で で で で で	ケートを実施 ズ・満足度把 トイレ 40人 6名。 短期利り した。 支払い ども(骨折等	が必要と認める方 。利用者の満足度は高い。 握 69件(10) ④シャワーイス 20件(3) 41件(7) *計 *()は保有台数 用者が多く、申込み時に利用目的を把握し介護保険サ 方法について申し込み時や初回請求時の電話による説 の利用もあり周知が図れていると感じました。	166件(10%増) 11件(4) 延142件 *前年比6件減 ービスとの住み分けを図る 明を行い混乱はありません		
目標達成度を計 る指標 利用件数 利用者数 実績・成果 課題	年度末にアンカリスをはいる。 一種を表している。 一種を表している。 一種を表している。 一種を表している。 一種のでは、 一面のでは、	ケートを実施 ズ・満足度把 トイレ 40人 62。。 骨 に 説明 では でいまる では でいまる でいまい でいまい でいまい でいまい でいまい でいまい でいまい	が必要と認める方。利用者の満足度は高い。 握 69件(10) ④シャワーイス 20件(3) 41件(7) *計 *() は保有台数 用者が多く、申込み時に利用目的を把握し介護保険サ 方法について申し込み時や初回請求時の電話による訪 の利用もあり周知が図れていると感じました。 電動操作がうまくできず利用者が不安に感じてしまう ・年度末のアンケートで満足度が高評価だったため。 ・初回利用者に対し丁寧な事業説明を行なうことが 査、アンケートの実施	166件(10%増) 11件(4) 延142件 *前年比6件減 ービスとの住み分けを図る 明を行い混乱はありません		
目標達成度を計 る指標 利用件数 利用者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み	年度年 利用用者イーッ ・短用件数のスタド を関連しているでは、 を関連しているでは、 を関連しているでは、 がでいるでは、 を関連しているでは、 を可能して、 を可能して、 を可能して、 を可能して、 を可能して、 を可能して、 を可能して、 を可能して、 を可能して、 を可能して、 を可能して、 を可能	ケートを実施 ズ・満・イレ 40人 60 だ き で き で で で で で で で で で で で で で で で で	が必要と認める方。 利用者の満足度は高い。 握 69件(10) ④シャワーイス 20件(3) 41件(7) *計 *()は保有台数 用者が多く、申込み時に利用目的を把握し介護保険サ方法について申し込み時や初回請求時の電話による訪 の利用もあり周知が図れていると感じました。 電動操作がうまくできず利用者が不安に感じてしまう ・年度末のアンケートで満足度が高評価だったため。 ・初回利用者に対し丁寧な事業説明を行なうことが 査、アンケートの実施 図る	166件(10%増) 11件(4) 延142件 *前年比6件減 ービスとの住み分けを図る 明を行い混乱はありません		
目標達成度を計 る指標 利用件数 利用者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み ② ふくし移送	年通利利①②登長こで障ける度年日用用車ポベ 録 期としが 護 短H者 イーッ 者 用で。者 ッ 知広し で行た送 明や化 ス国め対 に行た送 で 別 利広し の難、応 の まな日事 できる さいまた しょう はんしょう いきない まなり まなり まなり まなり まなり また しょう はんしょう かいまた しょう はんしょう しょう はんしょう しょう はんしょう しょう はんしょう しょう はんしょう しょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう しょう はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんし	ケーズ・ト 40人 60し ど 老 評 のよの * 者に	が必要と認める方。利用者の満足度は高い。 握 69件(10) ④シャワーイス 20件(3) 41件(7) *計 *()は保有台数 用者が多く、申込み時に利用目的を把握し介護保険サ方法について申し込み時や初回請求時の電話による説 の利用もあり周知が図れていると感じました。 電動操作がうまくできず利用者が不安に感じてしまう ・年度末のアンケートで満足度が高評価だったため。・初回利用者に対し丁寧な事業説明を行なうことが 査、アンケートの実施 図る 分(H30年度はPトイレ10台を廃棄)	166件(10%増) 11件(4) 延142件 *前年比6件減 一ビスとの住み分けを図る。 明を行い混乱はありません ことがある。 できたため。		
目標達成度を計 る指標 利用件数 利用者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み ② ふくし移送	年通利利①②③受長こで障力日期日ボベ会期としが毎短H名上一一一一	ケーズ・ト 40人 60し ど 老 評 のよの * 者に	が必要と認める方。利用者の満足度は高い。 握 69件(10) ④シャワーイス 20件(3) 41件(7) *計 *()は保有台数 用者が多く、申込み時に利用目的を把握し介護保険サ方法について申し込み時や初回請求時の電話による説 の利用もあり周知が図れていると感じました。 電動操作がうまくできず利用者が不安に感じてしまう ・年度末のアンケートで満足度が高評価だったため。・初回利用者に対し丁寧な事業説明を行なうことが 査、アンケートの実施 図る 分(H30年度はPトイレ10台を廃棄) 「資運送対応事業 いをお持ちの方等(公共交通機関を利用することが医	166件(10%増) 11件(4) 延142件 *前年比6件減 一ビスとの住み分けを図る。 明を行い混乱はありません ことがある。 できたため。		

	1)目的地別				
	①足柄上病	院	136件	4)東海大学病院大磯	18件
	②あしがら	らクリニック	13件	⑮永田接骨院	39件
	③安藤眼科	4	13件	16白鷗医院	23件
	④おおり医	院	8件	⑪松本医院	4件
	⑤岡部医院	ŧ	25件	18横浜子ども医療センター	7件
	⑥小田原循	f環器病院	22件	⑩樹医院	13件
	⑦大熊整形	外科	31件	20小田原市立病院	9件
利用件数	⑧さくら眼	科	3件	②中村デンタル	4件
	9湘南たま	で治療院	34件	②秦野厚生病院	4件
	⑩西湘病院	ਰੋ	6件	②山近記念クリニック	6件
	⑪ダイデンタ	タルクリニック	4件	24松田医院	9件
	⑫辻村歯科	医院	4件	その他	10件
	13東海大学	\$病院伊勢原	25件	*計(重複あり)	470件
	2)内容別				
	①通院		470件		
	②入院		〇件	*前年比 164件增	
登録者数	①利用者	66人			
三二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	②支援者		祉サポーター/ふくし移送せ		
実績・成果	新規利用登	録、利用件数	が増加し、利用者の移動の利	列便性を提供いたしました	
課題	・定期的な利	用者モニタリ	ングの実施		
	• 支援者(運	転業務)の確	保と運行方法 		
評価	\cap	評価の説明	 利用件数は目標を達成でき	、利用者の移動の利便性を	を提供できたため。
		1+			
改善策及び今後の取り組み			保及び教育 モニタリングの継続		
しつはくり 心圧のテ	で利用者のググ	ヒスメンド、			
○③ 生活揺助雪	重業 4 高齢・	パードファッド	②産前・産後サービスの	主施 ※夕称変更	
			・		
内容			とにより、不安なく日常生活		
期日	通年				
					目標設定
					日际政化
目標達成度を計	利用件数(子	育てサービス	の展開)		310件
目標達成度を計 る指標 		育てサービス	の展開)		
目標達成度を計 る指標 	利用件数(子1)派遣別	育てサービス	の展開)		310件
目標達成度を計 る指標 	1)派遣別	育てサービス がいサービス	の展開) 274件	* 	310件
目標達成度を計 る指標 	1)派遣別 ①高齢・障 ②産前・産			*計	310件 (高:300+子:10)
る指標 	1)派遣別 ①高齢・障 ②産前・産 2)内容別	がいサービス 後サービス	274件	* = †	310件 (高:300+子:10)
目標達成度を計 る指標 利用件数	1)派遣別 ①高齢・障 ②産前・産	がいサービス 後サービス	274件	⑤外出の付き添い	310件 (高:300+子:10)
る指標 	1)派遣別 ①高齢・障 ②産前・産 2)内容別	がいサービス 後サービス 逐理整頓	274件 9件		310件(高:300+子:10)
る指標 	1)派遣別 ①高齢・障 ②産前・産 2)内容別 ①清掃、整	がいサービス 後サービス 逐理整頓	274件 9件 270件	⑤外出の付き添い	310件 (高:300+子:10) 283件 O件
る指標 	1)派遣別 ①高齢・障 ②産前・産 2)内容別 ①清掃、整 ②調理指導	がいサービス 後サービス 逐理整頓	274件 9件 270件 129件	⑤外出の付き添い⑥その他	310件 (高:300+子:10) 283件 O件 O件
る指標 利用件数	1)派遣別 ①高齢・障 ②産前・産 2)内容別 ①清掃、整 ②調理指導 ③買い物 ④洗濯	がいサービス 後サービス ^と 理整頓	274件 9件 270件 129件 0件	⑤外出の付き添い⑥その他*計(重複あり)*前年比49件減	310件 (高:300+子:10) 283件 O件 O件
る指標 	1)派遣別 ①高齢・障 ②産前・産 2)内容別 ①清掃、整 ②調理指 ③買い物 ④洗濯 ①利用者 ②支援者	がいサービス 後サービス 理整頓 身 26人(うち、 3人(在宅福)	274件 9件 270件 129件 0件 0件 実利用者18数 人、新規で 祉サポーター/ヘルパー)	⑤外出の付き添い⑥その他*計(重複あり)*前年比49件減7人)	310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件
る指標 利用件数 登録者数	1)派遣別 ①高齢・障 ②産前・ ②度前・ ②内容別 ①清理指 ③買い物 ④洗濯 ①利用者 ②支援機関との	がいサービス 後サービス 登理整頓 拿 26人(うち、 3人(在宅福 連携のもと、)	274件 9件 270件 129件 0件 0件 実利用者18数 人、新規で 社サポーター/ヘルパー) 産前・産後サービスの新規系	⑤外出の付き添い⑥その他*計(重複あり)*前年比49件減7人)別用・登録につながりまし	310件 (高:300+子:10) 283件 O件 O件
利用件数登録者数実績・成果	1)派遣別 ①高齢・障 ②産容別 ①清課理別 ①清課理別 ④洗器 ②買に ③買に ④ 一利接援関との 以ングによる	がいサービス 後サービス 整理整頓 26人(うち、 3人(在宅福 連携のもと、 が、沢把握に努	274件 9件 270件 129件 0件 0件 実利用者18数 人、新規で 社サポーター/ヘルパー) 産前・産後サービスの新規系 め、必要時に関係機関との情	⑤外出の付き添い⑥その他*計(重複あり)*前年比49件減7人)別用・登録につながりまし	310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件
利用件数登録者数実績・成果	1)派遣別 ①高齢・障 ②産前・ ②度前・ ②内容別 ①清理指 ③買い物 ④洗濯 ①利用者 ②支援機関との	がいサービス 後サービス 整理整頓 26人(うち、 3人(在宅福 連携のもと、 が、沢把握に努	274件 9件 270件 129件 0件 0件 実利用者18数 人、新規で 社サポーター/ヘルパー) 産前・産後サービスの新規系 め、必要時に関係機関との情	⑤外出の付き添い⑥その他*計(重複あり)*前年比49件減7人)別用・登録につながりまし	310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件
利用件数登録者数実績・成果	1)派遣別 ①高齢・障 ②産容別 ①清課理別 ①清課理別 ④洗器 ②買に ③買に ④ 一利接援関との 以ングによる	がいサービス 後サービス 整理整頓 26人(うち、 3人(在宅福 連携のもと、 が、沢把握に努	274件 9件 270件 129件 0件 0件 実利用者18数 人、新規で 社サポーター/ヘルパー) 産前・産後サービスの新規系 め、必要時に関係機関との情	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 刻用・登録につながりまし 青報共有を図りました。	310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件
る指標 利用件数 登録者数 実績・成果 課題 評価	1)派遣別 ①高齢・障 ②産前・ ②産初 ①清理昭物 ④洗濯 ①利用者 ②支係機関による 対別利用に向	がいサービス 接サービス 理整頓 26人(うち、 3人(在宅福 連携のもと、 状況把握に努 けたPRの拡大 評価の説明	274件 9件 270件 129件 0件 9件 実利用者18数 人、新規で 祉サポーター/ヘルパー) 産前・産後サービスの新規系 め、必要時に関係機関との情 な、必要時に関係機関との情	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 刻用・登録につながりまし 青報共有を図りました。	310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件
る指標利用件数登録者数実績・成果課題評価改善策及び今後	1)派遣別・通常・ ②店前り・ ②店前別、 ②店で開設では ②内清理で ③買深濯 ①利度援関ンが開業で ののるで があるで があるで があるで では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	がいサービス 後サービス 整理整頓 26人(うち、 3人(在宅宅) 対況把握に努 けたPRの拡大 に対けたPRの説明 ト、モニタリ	274件 9件 270件 129件 0件 0件 実利用者18数 人、新規で 社サポーター/ヘルパー) 産前・産後サービスの新規を め、必要時に関係機関との情 は、 関係機関との連携のもとサ	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 刻用・登録につながりまし 青報共有を図りました。	310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件
る指標利用件数登録者数実績・成果課題評価改善策及び今後	1)派遣別 ①高齢・障 ②産前・ ②産初 ①清理昭物 ④洗濯 ①利用者 ②支係機関による 対別利用に向	がいサービス 後サービス 整理整頓 26人(うち、 3人(在宅宅) 対況把握に努 けたPRの拡大 に対けたPRの説明 ト、モニタリ	274件 9件 270件 129件 0件 0件 実利用者18数 人、新規で 社サポーター/ヘルパー) 産前・産後サービスの新規を め、必要時に関係機関との情 は、 関係機関との連携のもとサ	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 刻用・登録につながりまし 青報共有を図りました。	310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件
る指標 利用件数 登録者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み	1)派遣別 ①高齢・障 ②産前・ ②産前別 ② 内清調 ② で で で で で で で で で で で で で で で で で で	がいサービス 後サービス 理整頓 26人(うち、 3人(在宅と、 が、別けたPRの拡大 に下の説明 では、このでは、 に向けた に関いて、	274件 9件 270件 129件 0件 0件 実利用者18数 人、新規で 社サポーター/ヘルパー) 産前・産後サービスの新規系 め、必要時に関係機関との情 で 関係機関との連携のもとサ ングの継続 PR強化	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 刻用・登録につながりまし 青報共有を図りました。	310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件
る指標 利用件数 登録者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み	1)派遣別・「企産のでは、1)派遣船・「企産のでは、1)の	がいサービス 後サービス 理整頓 26人(うち、 3人(在もと、 が状況把握の拡大 評価の説明 1ト、進に向けた かに進に向けた は、の実施 ※	274件 9件 270件 129件 0件 (270件 129件 (270件 (29件) (29+) (2	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 別用・登録につながりまし 青報共有を図りました。 ービス提供を行い、情報共	310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件 た。アセスメント、モニタ 共有を図ることができた
る指標 利用件数 登録者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み	1)派遣別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がいサービス 選理整頓 26人(の表別) 26ん(の表別) 26ん(の表別) 26ん(の表別) 26ん(の表別) 26ん(の表別) 26ん(の表別) 26ん(の表別) 26ん(one)	274件 9件 270件 129件 0件 0件 270件 129件 0件 20件 20件 20件 20件 20件 20件 20件 20件 20件	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 別用・登録につながりまし 青報共有を図りました。 ービス提供を行い、情報対	310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件 た。アセスメント、モニタ 共有を図ることができた
る指標 利用件数 登録者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み ○④ 「ふれあい	1)派遣別・・・ 2)内清調 3 (金)	がいサービス 選理整頓 26人(の表別) 26ん(の表別) 26ん(の表別) 26ん(の表別) 26ん(の表別) 26ん(の表別) 26ん(の表別) 26ん(の表別) 26ん(one)	274件 9件 270件 129件 0件 (270件 129件 (270件 (29件) (29+) (2	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 別用・登録につながりまし 青報共有を図りました。 ービス提供を行い、情報対	310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件 た。アセスメント、モニタ 共有を図ることができた
る指標 利用件数 登録者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み	1)派高別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がいサービス 選理整頓 26人(うちる) 連携況把握に多い が以けたPRの拡け にでは、の が以けたPRの説明 がによいでは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	274件 9件 270件 129件 0件 0件 270件 129件 0件 20件 20件 20件 20件 20件 20件 20件 20件 20件	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 別用・登録につながりまし 青報共有を図りました。 一ビス提供を行い、情報対	310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件 た。アセスメント、モニタ は有を図ることができた
る指標 利用件数 登録者数 実績・成果 課題 評価 改善策及び今後 の取り組み ○④ 「ふれあい	1) (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	がいサービス 理整頓 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連環の拡射では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連携、地域では、 26人(の連集、地域では、 26人(の連集、地域では、 26人(の連集、地域では、 26人(の連集、地域では、 26人(の連集、地域では、 26人(の連集、地域では、 26人(の連集、地域では、 26人(の連集、地域では、 26人(の連集、地域では、 26人(の連集、地域では、 26人(の)には、 26ん(の)には、 26ん(の) 26ん(o) 26ん	274件 9件 270件 129件 0件 0件 実利用者18数 人、新規7 祉サポーター/ヘルパー) 産前・産後サービスの新規系 め、必要時に関係機関との情 気 関係機関との連携のもとサ ングの継続 PR強化 ・名称変更 齢者がつどい、ふれあいのな 促進するために、ふれあいち	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 別用・登録につながりまし 青報共有を図りました。 一ビス提供を行い、情報対 なかから相互の交流と仲間 プロンを実施しました。 (310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件 た。アセスメント、モニタ は有を図ることができた
る指標 利用件数 登録者数 実績・成果 評価 改善策及び今組み 〇④ 「ふれあい	1) ① ② 内 3 回 4 回 2 回 3 回 4 回 5 回 5 回 5 回 5 回 5 回 5 回 5 回 5 回 5	がいサービス 選理整頓 (在も握別けた 評価の説明 ト促 のの社 く招き では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	274件 9件 270件 129件 0件 0件 (270件 129件 (270件 (29件) (29+)	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 利用・登録につながりまし 青報共有を図りました。 一ビス提供を行い、情報対 コンを実施しました。(シトイベントとして紅葉見ました。(310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件 た。アセスメント、モニタ は有を図ることができた
る指標 利用件数 登録すり (対) 表表 (对) 表表	1) ①②内清別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がいサービス 選理整頓 (在も握別けた 評価の説明 ト促 のの社 く招き では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	274件 9件 270件 129件 0件 0件 (270件 129件 (270件 (29件) (29+)	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 別用・登録につながりまし 青報共有を図りました。 一ビス提供を行い、情報対 なかから相互の交流と仲間 プロンを実施しました。 (310件 (高:300+子:10) 283件 0件 0件 399件 た。アセスメント、モニタ は有を図ることができた
る指標 利用件数 登録・成果 実績・成課 で 改善策及りの組 ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	1) ①② (1) (2) (2) (3) (4) (4) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	がいサービス 選理整頓 26人(の選別) 26人(の認別) 26人(の認別) 26人(の記別) 26し(の記別)	274件 9件 270件 129件 0件 0件 実利用者18数 人、新規7 社サポーター/ヘルパー) 産前・産後サービスの新規系 め、必要時に関係機関との情 関係機関との連携のもとサ ングの継続 PR強化 ・名称変更 齢者がつどい、ふれあいのな に進するために、ふれあいた として体操を実施、アクセン に楽しいひとときを過ごしま	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 別用・登録につながりまし 青報共有を図りました。 一ビス提供を行い、情報対 なかから相互の交流と仲間 プロンを実施しました。(シトイベントとして紅葉見ました。 *計24回	310件 (高:300+子:10) 283件 О件 0件 399件 た。アセスメント、モニタ されることができた
る指標 利用件数 登録すり (対) 表表 (对) 表表	1) ①② (1) (2) (2) (3) (4) (4) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	がいサービス 選理整頓 26人(の選別) 26人(の認別) 26人(の認別) 26人(の記別) 26し(の記別)	274件 9件 270件 129件 0件 0件 (270件 129件 (270件 (29件) (29+)	⑤外出の付き添い ⑥その他 *計(重複あり) *前年比49件減 7人) 別用・登録につながりまし 青報共有を図りました。 一ビス提供を行い、情報対 なかから相互の交流と仲間 プロンを実施しました。(シトイベントとして紅葉見ました。 *計24回	310件 (高:300+子:10) 283件 О件 0件 399件 た。アセスメント、モニタ されることができた

				目標設定
目標達成度を計 る指標	参加者数			参加者240人 ボランティア等170人
参加者数	延194人(参	か者) ボランティア等		
実績・成果	参加者とボラ	ンティアがと	・/ もに内容を考え、相互の交流や仲間づくりの機会とな 加者の増につながりました。	りました。広報PRやロコ
課題	参加者の固定	化		
	0	評価の説明	参加者相互の交流の機会となっているため	
改善策及び今後 の取り組み			報PR とのメニューの検討	
⑤ レスパイト	~(障がい児者	が 家族等の休息	り、サービスの実施	
内容	身体的、精神施しました。	的な負担の軽 また、サービ	長期休暇中に、知的障害児等を数回一時的に預かり、 減と、当事者のの情緒安定等を図ることを目的として スにあたるボランティアの発掘育成と、今後の障がい。 者支援ボランティア講座」を開催しました。	、レスパイトサービスを実
協力	民生委員児童	委員協議会、	教育委員会、開成小学校、開成南小学校、文命中学校 開成町心身障がい児者と家族の会かるがも。放課後デ わり、放課後デイサービス蕾、個人ボランティア	イサービストゥモローラン
目標達成度を計る指標	支援者・関係 参加者の増加			目標設定 共同企画立案実施 参加者20人
	②8月11日 (福祉会館他	(木) 設 目)プール体 〔土〕イオン募	*計 1回 集 金 *計 2回	
参加者数		ランティア講座 ドランティアス		
実績・成果	障がい児者支	援ボランティ	ア講座の参加者が4人あった。他事業所と協力し多くの	
課題	一時預かり中 ボランティア	の保護者向け(担い手)養成	プログラムの検討 t、確保	
評価	0	評価の説明	当事者団体との共催できた。他事業所の協力もあり多	らくの参加者があった。 との参加者があった。
	一時預かりプール体験		けプログラムの検討	
06 コミュニラ	ティバスの運行	Ī		
内容	上と外出の機	会とコミュニ	新たな公共交通を…」との要望が多方面から出されて ティの場を提供することを目的として町(福祉課)か ュニティバスの利用者の把握や運行時の利用状況を調	ら運行(試行)事業を受託
期日			*月〜金曜日(祝祭日、12月29日〜翌年1月8日は運 のための期日前投票期間(土、日)に臨時運行	休)
 目標達成度を計 る指標				目標設定 40人/日
実績•成果	1日平均利用 *運行日数 (臨時運行:	者数において ³ 243日 4日	延4,131件を大きく超える延5,781件の利用がありま も、23.8人(目標17.0人)となり、町民の利便性を図 *運行便数 3,888便 64便) ・ *平均:43.6人/日 :2.7人/便 6.3人増 0.3人増	した。 図ることができました。
その他	詳細「資料2」	」のとおり		
課題			的とする社協の福祉サービスとして対応力 的の社協としての役割 	
評価	0	評価の説明	運行及び利用状況調査が実施でき、利用者数が大きく 地域の声、利用者要望への可能な限り対応できたため	

の取り組み ・利用者要望の把握と今後の運行形態の協議 介護保険事業の推進 居宅介護支援事業(ケアマネジメント)の実施("介護予防"居宅介護支援事業を含む) 介護保険法等関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて自立した日 常生活を行うために必要な居宅サービスが利用できるよう「居宅サービス計画(ケアプラン)」を、また地域包括支援センターからの委託を受け、要支援の方の「介護予防サービス計画」をそれぞれ作成するととも に、当該計画に基づいて適切な居宅サービスまたは介護予防サービスの提供が確保されるよう、サービス事 業者等との連絡調整及びその他の便宜を図りました。 期日属年 月標設定 プラン立案件数 目標達成度を計 る指標 収支バランス 850件 介護 70人 *計 71人 契約者数 ②予防 1人 *前年同数 1)介護 662人 *計 671人 利用者数 ②予防 9人 *前年比 51人減 その他 詳細「資料3」のとおり 実績・成果 年間を通じ、おおむね担当可能件数の上限まで対応しています。 課題 新規ケース依頼の依頼に対し、十分な対応がとれていないため事業所の体制整備が必要 評価の説明「年間を通じてプラン立案件数を維持することができたため。 評価 改善策及び今後 新規ケース依頼の依頼に対し、可能な限り対応できるよう事業所の体制整備(新規採用) の取り組み ○② 通所介護事業(デイサービス)の実施("介護予防"通所介護事業を含む) 介護保険法等関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅で自立した日常生活を営むために、 付対象または「介護予防」給付対象となる機能訓練やレクリエーション、給食、入浴等の通所介護事業を-体的に行いました。 「介護」給付対象:要介護1~5、「介護予防」給付対象:要支援1~2。 プログラムメニューとしては、午前はタオル体操や歌、ゲームのほか、あじさい見学等の季節に応じた行 内容 事を、午後はカレンダーづくり等さまざまな作品づくりをつうじて、手指の訓練を目的とした創作活動をそ れぞれ実施しました。 毎月1回防災訓練を実施し、スタッフ利用者ともに安全に避難することができる体制づくりを実施しまし た。 期日 毎週月~金曜(敬老の日、12月29日~翌年1月4日を除く) *計 255回 日標設定 目標達成度を計一定員充足率/年 る指標 利用者満足度 12人/年 会場 デイサービスセンター (福祉会館1F) (1)介護 29人 *計 40人 契約者数 ②予防 9人 *前年比 3人增 ③ 総合 2人 介護 2,556人 *計 3,156人 ②予防 547人 *前年度比 220人增 利用者数 ③総合 53人 *1日平均 12.4人(前年度比 0.8人增) その他 詳細「資料4」のとおり きめ細かなサービスを提供することにより、利用者の身体負担軽減。利用者家族の介護負担軽減につなが 実績・成果 りました。また、地域の居宅介護支援事業所への営業活動と広報紙、パンフレットによりPRにより利用者 の増につながりました。お試しデイサービスは11人を受け入れ、全員サービス利用へと繋がりました。 課題 |町内道路が狭いため、送迎車両(大型)の見直し、入れ替えが必要 (0)営業活動により利用登録者も順調に増え、目標値を達成。 評価 評価の説明 改善策及び今後 よりきめの細かいサービスの研究と提供。送迎車両(大型)の見直し、入れ替え の取り組み ③ 介護保険事業利用者等意向調査の実施 本会が実施している介護保険事業(居宅介護支援事業、通所介護事業所)のご利用者、ご家族の意向、要

改善策及び今後 ・サービスの質の維持に向けた運転員ミーティングの実施

にアンケート形式による調査を行いました。

期日 通年

望等を把握し、今後のより質の高いサービス提供、運営体制に反映していくことを目的として、契約終了時

				目標設定
目標達成度を計る指標	居宅:概ね満足 通所:サービス			居宅:満足度増
る田宗	一世別・ソービン	へに何足して	いるル·。	通所:サービス提供時間 等変更に伴う満足度
		7時に宝施す		ました。結里を部門ミー
実績・成果	ティングで共和	有することに	より、業務の振り返りの機会となっています。	
大顺 	通所:サービス 満足度の高い@		利用料、送迎体制等の変更による満足度調査を行いま	したが、全ての利用者から
			さな <i>い</i> た。 せていただけるようアンケート項目の見直し	
		200元で可	居宅:昨年度と同様に比較的満足度の高い回答が得ら	
評価	0	評価の説明	通所:サービス内容の変更による満足度調査で満足度	
			より、迅速な対応、よりよいサービス提供をめざしま スの提供を継続します	ġ
		= *** ~ ** **		
11 地域包括	支援センター	事業の推進		
	* 素の美 胞 アアマネジメン	ト業務		
内容	要介護状態は	こなるおそれの	のある方の介護予防プログラムや軽度者(総合事業対	象者、要支援1、2の認定
	を受けているア	う)の介護予	防サービスのケアプランを作成しました。	
目標達成度を計 る指標	要介護状態区分	かへの移行ケ	ースの減	目標設定 5件
			859件 *計	1,134件
プラン立案数	②他事業者分		275件 *前年比:166件增	1,10111
実績・成果			総合事業」対象者は昨年度1人から7人となりました。	
課題			る一方であり、地域包括支援センター内の体制整備と 業所の確保が必要です。 -	共に、ブラン立案を担って
評価	0	評価の説明	体制が不十分ながらも委託は要介護状態のご家族や要ケースのみ(2件増)で、その他のケースはセンター	
			だける居宅介護支援事業所の確保	
の取り組み 	・センターの	へ貝体制の登1		
② 総合相談3	5援事業の実施			
内容	け、専門的、終		介護保険に関するもののほか、高齢者の生活全般にわ から必要なサービスや機関へつなぐ支援を行いました。	
 目標達成度を計 る指標	相談件数			目標設定
			- ** T.U 400 #\#	3,021件
	延2,919件	武川江・丰工・た・	* 前年比:183件減 が内容は多岐に渡り、多問題を抱えるケースや長期的	・継続的な経過組象を求め
実績 • 成果 	られるケースだ	が増えていま	す。住民や他機関からの苦情はありませんでした。	
課題			びに介護予防対象者把握事業の雇用を図り、包括三職 相談窓口としての周知が課題です。	性(の号「別な相談援助を
評価	0	評価の説明	相談件数は目標を下回りましたが介護予防把握事業や 座等と合わせながら包括の周知を行なえたため。	認知症サポーター養成講
改善策及び今後 の取り組み	相談窓口体制の	の整備と相談	窓口としての周知	
	詳細「資料⑤」	のとおり		
③ 権利擁護	芒 終			
		して暮らせる。	よう、関係機関と連携を図り、権利擁護相談や高齢者	
目標達成度を計る指標	相談件数			目標設定 延べ130件
相談件数	延166件		*前年比:45件増	2 10011
実績・成果		こ。長期的に	増えましたが、相談のあった案件に対し、迅速な対応 支援するケースもありましたが県社協ライフサポート ができました	
=甲旦百			がてさな <i>り</i> た。 り、切れ目のない支援を行なっていくことが課題です。	
	_			•
評価 改善策及び今後	0	評価の説明	相談に対し行政や包括内で相談し適切な支援を図るこ	ことかできたため。
以音束及びラ俊の取り組み	行政、福祉事務	努所、社協事	業等の関係機関との更なる連携強化を図ります	

	継続的ケアマネ						
内容			支援専門員への後方支援、ネットワ [、]	ークづくりに取り			
目標達成度を計 る指標	居宅介護支援	事業者連絡会の	の開催回数(開催方法の検討)		目標設定 4回		
相談件数	延542件 *	延542件 *他事業者からの相談件数 *前年比:39件減					
	件数は減となりましたが、寄せられたケースには連携のもと対応しました。						
課題	平成29年12月から保健師が欠員のままで医療面でのサポートが行き届かない状況です。 						
評価	0	評価の説明	相談件数は微減ですが、連携のもと	対応できたため。			
改善策及び今後 の取り組み			険者)と共に居宅介護支援事業者連	経会の内容を検討	J		
⑤ 地域ケア 5	会議(開成町地	地域ケアねっと	わ~く会議)の開催				
内容	課題解決に向	け、関係者間の	D抽出を目的とした"地域ケア個別st D調整、ネットワーク化、新たな資 義"に分け構成員にはねっとわーくst	原開発、さらには	施策化の形成を目的とした		
	毎月1回開催 福祉会館						
協力		ネーター、居	果、小田原保健福祉事務所足柄上センミケアマネージャー、民生委員、地域		、民間事業所、介護保険事		
目標達成度を計 る指標		数(会議運営)	う法の検討)		目標設定 12回		
実績・成果	域で支える」	具体的な話し	事例に関する多職種の出席を得るこ。 合いを行なうことができました。地は からの意見をいただくことができまし	或ケアねっとわー			
課題	地域課題を抽	出することは [・]	できたが、どのように解決していくの	のか具体的な政策	提言までを目的としたい。		
評価	0	評価の説明	会議開催回数は目標どおり12回でし 域課題をイメージする話し合いがで		は活発な意見交換ができ地		
改善策及び今後 の取り組み		ターの日々の	目談業務からも地域の実情を把握し	課題抽出、解決方	法を検討していく会議とす		
2) 指定予防介護	· · · · · · · · · · · · · ·						
	#女庄≠ (纵	:合事業対象者、	要支援1、2の認定を受けている方	i) の介護予防サー			
内容期日	しました。ま 通年	た、公正、中	立性を確保しつつ委託事業所との連携	隽を図りました。			
		よる取組件数	(他事業所からの相談件数)		目標設定 500件		
評価	0	評価の説明	人員体制が整わないため、即応性に	やや欠けていたと	-		
改善策及び今後 の取り組み							
	詳細「資料⑥	」のとおり					
3)在宅医療・介			ま性士伝レンク・を中心にませびより	↑ ₽ ₽	ルキのエエルなが8月火ナれナー		
内容	た。足柄上地	区の包括代表	連携支援センターを中心に講義形式が としてH28年度〜H30年度まで協議 ネットワーク構築等の取り組みに協力	議会委員として会			
, —	研修(奇数月) 足柄上センタ		等連携推進協議会(年2回) ^{完他}				
目標達成度を計 る指標	医療機関・介	護支援専門員	からの相談件数		目標設定 600件		
 実績・成果	包括内で分担	しながら研修	こ参加しました。参加者同士の顔のタ	見える関係が構築			
課題	疾病を抱え 方々や様々な	ても、自宅等は団体と協力し、	D住み慣れた場所で療養し、安心し 在宅医療と介護が連携する仕組みて	て自分らしい生活 づくりをしていく	を続けられるように地域の ことが課題です。		
評価	0	評価の説明	在宅医療介護連携支援センターの主 議への参画を図れたため。	催する研修参加の)ほか、毎月に地域ケア会		
改善策及び今後 の取り組み	切れ目のない	支援を提供で	きるように包括と医療や事業所間での	の連絡、調整機能	の充実を図る		

4) 認知症総合支援事業 町(保険者)と共に認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)に基づき、認知症になっても本人の意 内容 向が尊重され、可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう支援体制の構築に努めました。 期日通年 __ 日標達成度を計 目標設定 認知症ボランティア登録者の増員 る指標 35人 認知症サポーター養成講座を福祉教育事業、金融機関、自治会等で展開、昨年度を上回る302人に受講 いただきました。また、町(保険者)が設置した2年目の「認知症初期集中支援チーム」のチーム員として 実績・成果 増員した体制で取り組みました。また、6月からボランティアの協力を得ながら認知症カフェ「ほのぼのサロン」を隔月(偶数月)に開催しました。雨天のため中止となりましたが、町の「徘徊高齢者捜索模擬訓練」に協力、実施に先立っての認知症サポーター養成講座を担いました。 課題 町(保険者)と共に認知症カフェ「ほのぼのサロン」の増回を検討、取り組んでいきます。 ボランティアの協力を得ながら、認知症力フェ「ほのぼのサロン」の開催や認 (0)評価の説明 評価 知症サポーター養成講座の受講者増を図れたため。 改善策及び今後 ・ボランティアの協力を得ながら、認知症カフェ「ほのぼのサロン」の増回、内容の充実 ・徘徊高齢者が発生した場合の町との連携体制(役割分担)の検討 の取り組み 5) その他 ① 介護予防・日常生活支援総合事業の実施 高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を送れるよう、介護・福祉・健康・医療などの様々 な面から多様化するニーズに対応し、生活支援・介護予防サービスが利用できるような地域づくりをめざし、町(保険者)、社会福祉協議会と共に取り組みました。 通年 期日 日標設定 目標達成度を計 生活支援サービス推進会議への参加回数 る指標 2回+分科会? 総合事業対象者数の増加により介護予防の段階から早期にサービスにつなぐことができました。生活支援体 実績・成果 制整備事業や地域活動、町の事業(いきいき元気塾・いきいき倶楽部)、社協(介護保険外サービス)との 連携を構築しました。 地域ケア会議開催による地域課題の明確化。生活支援サービスとのスムーズな連携。 課題 地域ケアねっとわーく会議での専門多職種による地域課題検討の他、個別会議 評価 評価の説明 において地域住民や民間事業所の参加を図ることができたため 改善策及び今後 |総合事業対象者や介護保険申請前の方への生活支援サービスの周知、充実を図りフレイルの段階から地域、 の取り組み一町、社協と協働し介護予防に努める 介護予防対象者把握事業の実施 町が70歳と75歳で介護保険未申請の方を対象に実施したアンケートから訪問や電話等により健康状態や 生活状況を確認し、心身機能の低下を防ぎ、いつまでも住み慣れた地域でできる限り自立した生活が送れる よう、必要なサービスや相談を行っていくことを目的に調査を実施しました。アンケート提出先を役場に設 定し、回答内容によりハイリスク者を抽出、包括職員(主任ケアマネ、社会福祉士、プランナー)で訪問し必要に応じ介護予防プランを作成しました。アンケート提出の無かった方については訪問を行い話を伺ったり不在の場合はアンケート用紙や包括マグネットをポストへ投函し周知を図りました。 内容 対象者85件(ハイリスク者38件、アンケート未回収者47件) 延相談件数247件 相談件数 目標設定 ①対応件数 目標達成度を計 ②予防計画書作成数 ②15件 ①250件 る指標 ③いきいき元気塾へつなげた人数 ③10件 アンケート未回収者の対象を75歳のみとしたことで対応人数は減りましたが、介護予防プランの作成等で 継続的な関わりが確保できたケースも数件ありました。包括マグネットを用い周知を図ることができまし 実績・成果 た。 町からの情報が住所のみであり、アンケート未提出者に対するフォローが再度ポスティングするのみで、 課題 状況把握に結びつかない対象者がいらっしゃいました。 評価 評価の説明 保健師の採用が叶わず、プランナーを含め3名で事業を進めました。 改善策及び今後 ・保健師の採用 ・多職種連携による相談支援体制の充実を図る の取り組み ③ 任意事業の実施 介護者の健康維持、増進と介護負担の軽減、適切な介護知識、技術の習得、地域住民への啓発に、開成町 やボランティアと協力して取り組みました。 1部知症サポ -ター養成事業への協力 ①08月01日(水)②09月12日(水)③11月18日(日)④11月27日(火)⑤01月29日(火) 期日 ⑥02月20日(水)※認知症VR体験⑦02月28日(木)⑧03月18日(木) ⑨03月29日(金)※おたがいさまネット中家村でのミニ講座 ②さがみ信用金庫開成町支店 ③中家村公民館 ④吉田島高校 ⑤さがみ信用金庫開成町支店 ①福祉会館 会場

9中家村公民館

⑦文命中学校 ⑧岡野公民館

⑥福祉会館

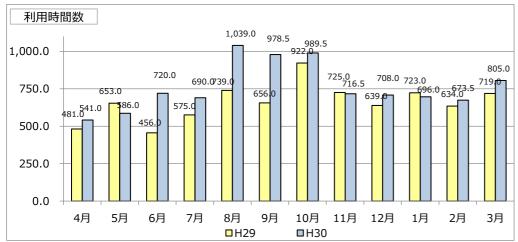
季加者数
 ● クル では 23人
 ② 介護家族教室・介護者のつどいの開催
 期日 (10月18日(木) ②12月06日(木) *計2回会場協力 町と共催

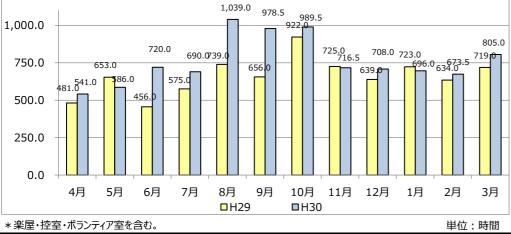
協力	町 乙 共催				
目標達成度を計				目標設定	
日际建成反と記る指標	事業の開催回	数		2回+5回(カフェ開催予	
3.515.				定)	
参加者数					
実績・成果	認知症サポ	ーター養成講	座、認知症VR体験、ミニ講座、介護家族教室(認知	症カフェ「ほのぼのサロ	
大限・以木	ン」としての開催)など、認知症について考える機会を多く設定できました。				
課題	認知症カフ	ェ「ほのぼの	サロン」の効果的な展開、回数増、内容の充実		
評価	0	評価の説明	 昨年度より多くの住民の方々に認知症について考える	は継合を記けられたため	
ōŦIШ				が成立ではいられることの。	
改善策及び今後	羽知庁であっ	ても安心して	暮らせるまちづくりに向けた取り組みの体系化		
の取り組み			替りに包みクレトリに回りに取り組のの体が心		

開成町福祉会館 平成30年度 利用状況報告(前年度対比)

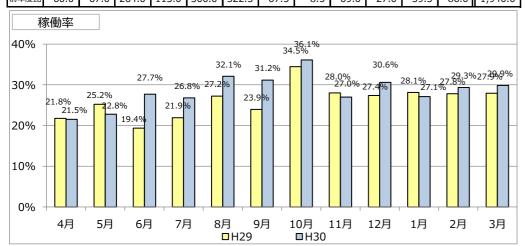
〔別添資料①〕

単位:人



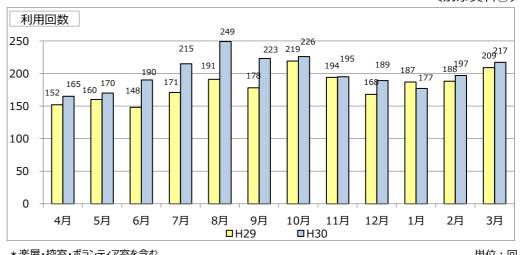


· //-	1 <u>T</u> T	ハンファー	, _	O o								<u>→ 14</u>	נפונייי
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	同期 計
H29	481.0	653.0	456.0	575.0	739.0	656.0	922.0	725.0	639.0	723.0	634.0	719.0	7,203.0
H30	541.0	586.0	720.0	690.0	1,039.0	978.5	989.5	716.5	708.0	696.0	673.5	805.0	9,143.0
前年度比	60.0	-67.0	264.0	115.0	300 O	322.5	67.5	-8.5	69 N	-27 N	39.5	86 N	1 940 0

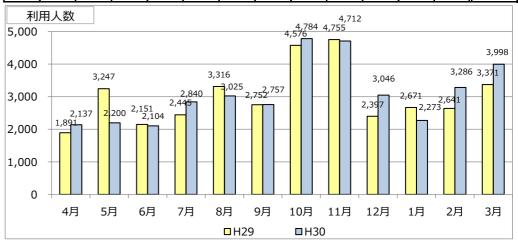


* 楽屋・	控室・ボラ	ンティア室	を除く。	
				_

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	同期 計
H29	21.8%	25.2%	19.4%	21.9%	27.2%	23.9%	34.5%	28.0%	27.4%	28.1%	27.8%	27.9%	23.2%
H30	21.5%	22.8%	27.7%	26.8%	32.1%	31.2%	36.1%	27.0%	30.6%	27.1%	29.3%	29.9%	28.5%
前年度比	-0.3%	-2.4%	8.3%	4.9%	4.9%	7.3%	1.6%	-1.0%	3.2%	-1.0%	1.5%	1.9%	5.3%



* 栄圧	・控至・バ	Nフンナイ.	ア至を召	೮.									単位:凹
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	同期 計
H29	152	160	148	171	191	178	219	194	168	187	188	209	1,956
H30	165	170	190	215	249	223	226	195	189	177	197	217	2,413
前年度比	13	10	42	44	58	45	7	1	21	-10	9	8	457



*楽屋・控室・ボランティア室を含む。

	***	エエ・ハノ	フリ1) 王	€ B O°										单位:人
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	同期 計
	H29	1,891	3,247	2,151	2,445	3,316	2,752	4,576	4,755	2,397	2,671	2,641	3,371	32,842
	H30	2,137	2,200	2,104	2,840	3,025	2,757	4,784	4,712	3,046	2,273	3,286	3,998	37,162
	前年度比	246	-1,047	-47	395	-291	5	208	-43	649	-398	645	627	4,320
-														

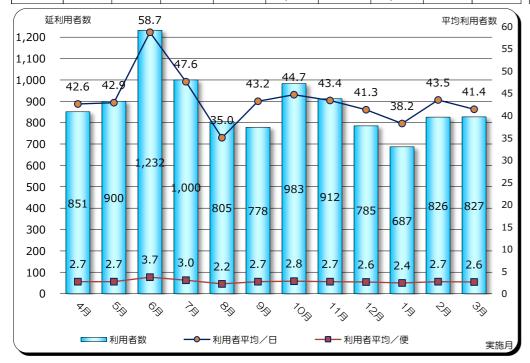
開成町内巡回バス運行業務 〔別添資料②〕

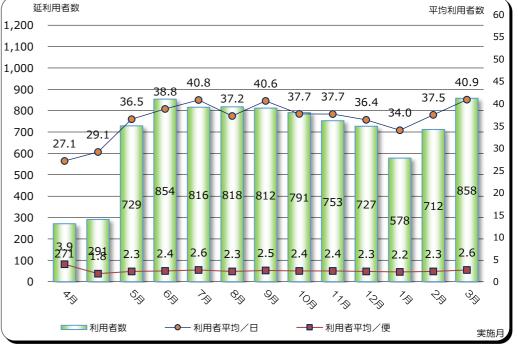
平成30年度

1 1363	ア ルス								
	運行日数	運行便数			利用者数			利用者平	利用者平
	座1」口奴	连1丁安奴	A-①系統	A-②系統	B-①系統	B-②系統	計	均/日	均/便
4月	20	320	185	149	262	255	851	42.6	2.7
5月	21	336	146	146	284	324	900	42.9	2.7
6月	21	336	219	183	324	506	1,232	58.7	3.7
7月	21	336	189	174	292	345	1,000	47.6	3.0
8月	23	368	151	148	271	235	805	35.0	2.2
9月	18	288	145	139	241	253	778	43.2	2.7
10月	22	352	175	180	305	323	983	44.7	2.8
11月	21	336	210	176	265	261	912	43.4	2.7
12月	19	304	184	171	232	198	785	41.3	2.6
1月	18	288	133	115	204	235	687	38.2	2.4
2月	19	304	149	139	252	286	826	43.5	2.7
3月	20	320	177	164	245	241	827	41.4	2.6
合計	243	3,888	2,063	1,884	3,177	3,462	10,586	43.6	2.7
同時期比	1	119	-395	-433	1,852	552	1,576	6.3	0.3

4	₹成.2	9年	度
-	ニリメュム	. J . –	יעו

	運行日数	運行便数				利用者平	利用者平		
	连11口数	连门 灭奴	A-①系統	A-②系統	B-①系統	B-②系統	計	均/日	均/便
4月	10	70	100	171			271	27.1	3.9
7/7	10	160	64	68	41	118	291	29.1	1.8
5月	20	320	166	175	87	301	729	36.5	2.3
6月	22	352	179	188	167	320	854	38.8	2.4
7月	20	320	190	209	138	279	816	40.8	2.6
8月	22	352	232	220	115	251	818	37.2	2.3
9月	20	320	210	178	128	296	812	40.6	2.5
10月	21	336	215	191	121	264	791	37.7	2.4
11月	20	320	227	199	97	230	753	37.7	2.4
12月	20	320	221	176	115	215	727	36.4	2.3
1月	17	259	175	152	93	158	578	34.0	2.2
2月	19	304	221	178	97	216	712	37.5	2.3
3月	21	336	258	212	126	262	858	40.9	2.6
合計	242	3,769	2,458	2,317	1,325	2,910	9,010	37.2	2.4





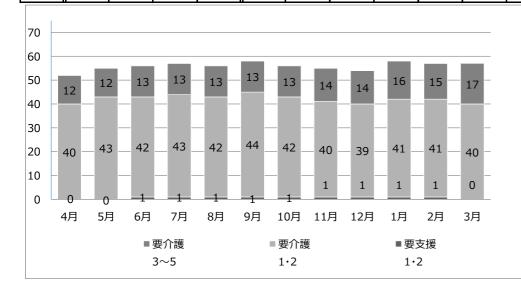
居宅介護支援事業 〔別添資料③〕

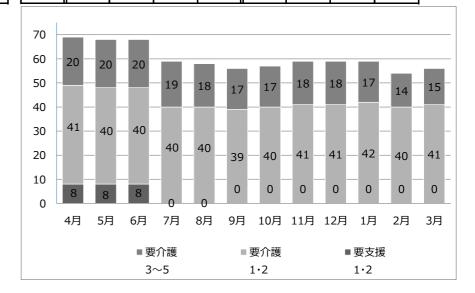
平成30年度

		プラン立	案状況					加算の	D状況			
$ \setminus $	要支援	要介護	要介護	計	初回	入院時	入院時	退院・	退所①	退院・	退所②	退院 •退所③
	1.2	1.2	3~5		加算	連携 I	連携Ⅱ	カンファ無	カンファ有	カンファ無	カンファ有	カンファ有
4月	0	40	12	52	0	0	0	0	0	0	1	0
5月	0	43	12	55	0	0	0	0	1	0	0	0
6月	1	42	13	56	2	0	0	0	0	0	0	0
7月	1	43	13	57	1	0	1	0	0	0	0	0
8月	1	42	13	56	0	1	1	0	0	0	0	0
9月	1	44	13	58	4	0	0	0	1	0	0	0
10月	1	42	13	56	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	1	40	14	55	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	1	39	14	54	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	1	41	16	58	2	0	1	0	0	0	0	0
2月	1	41	15	57	2	2	2	0	0	0	0	0
3月	0	40	17	57	2	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	497	165	662	13	3	5	0	2	0	1	0

<u>17</u>	成20	午	卋
—	11V. / `	7-11-	10

		プラン立	案状況			加算の	D状況	
	要支援	要介護 1·2	要介護 3~5	計	初回加算	入院時 連携 I	入院時 連携 II	退院 •退所
4月	8	41	20	69	0	0	1	0
5月	8	40	20	68	0	1	0	1
6月	8	40	20	68	0	0	0	0
7月	0	40	19	59	1	0	0	0
8月	0	40	18	58	1	0	0	0
9月	0	39	17	56	1	0	2	1
10月	0	40	17	57	0	0	1	0
11月	0	41	18	59	2	0	0	1
12月	0	41	18	59	0	0	1	0
1月	0	42	17	59	1	1	2	0
2月	0	40	14	54	0	1	1	0
3月	0	41	15	56	3	0	0	0
合計	24	485	213	722	9	3	8	3





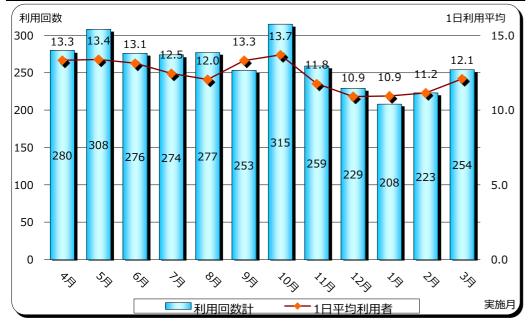
デイサービスセンター事業(地域密着型通所介護・総合事業[独自A6])

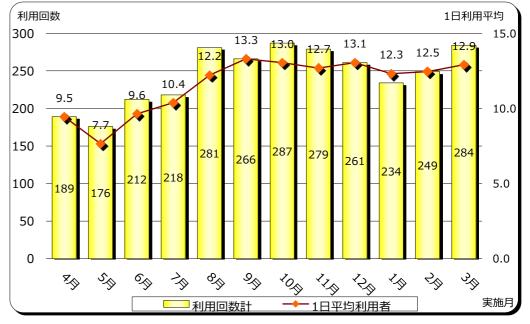
平成30年度

T10%20±		W > 77 - 77 - 71			111.1.1.		-r ^ -#				4 🗆 🎞	1
	総合事	業通所型				着型通			利用回	88=0. 4/	1日平	配食
	総合	要支援	要支援	要介護	要介護	要介護		要介護	数計	開設数	均利用	サービス
	1,0.1	1	2	1	2	3	4	5			者	
4月	4	17	27	115	91	0	26	0	280	21	13.3	3
5月	5	16	28	137	91	0	31	0	308	23	13.4	146
6月	4	24	21	124	66	4	33	0	276	21	13.1	5
7月	5	30	13	130	73	4	19	0	274	22	12.5	13
8月	4	24	23	129	76	4	17	0	277	23	12.0	13
9月	4	14	33	101	83	4	14	0	253	19	13.3	9
10月	5	25	43	120	98	6	18	0	315	23	13.7	13
11月	4	13	31	113	70	12	16	0	259	22	11.8	12
12月	4	12	29	100	66	3	15	0	229	21	10.9	15
1月	4	13	30	104	38	5	14	0	208	19	10.9	12
2月	3	15	26	116	41	10	12	0	223	20	11.2	10
3月	7	10	30	132	52	10	13	0	254	21	12.1	9
合計	53	213	334	1,421	845	62	228	0	3,156	255	12.4	260
前年度比	35	67	101	-41	344	-12	-219	-55	220	1	0.8	70

平成29年度

	介護予防通所介護			介護		j	通所介護	į		利用回		1日平	配食
		総合	要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	数計	開設数	均利用	サービス
		1700 1	1	2	1	2	3	4	5			者	
	4月	0	10	12	97	18	8	44	0	189	20	9.5	4
	5月	0	12	13	88	13	7	38	5	176	23	7.7	151
	6月	0	13	14	95	26	9	46	9	212	22	9.6	2
	7月	0	13	13	101	33	8	42	8	218	21	10.4	3
	8月	0	13	23	143	40	8	46	8	281	23	12.2	3
	9月	0	9	22	132	40	8	47	8	266	20	13.3	6
1	0月	0	12	23	146	44	9	46	7	287	22	13.0	3
1	1月	2	8	27	145	50	9	33	5	279	22	12.7	5
1	2月	4	12	21	140	45	8	26	5	261	20	13.1	4
	1月	4	12	18	136	36	0	28	0	234	19	12.3	2
	2月	4	16	19	109	75	0	26	0	249	20	12.5	3
	3月	4	16	28	130	81	0	25	0	284	22	12.9	4
É	合計	18	146	233	1,462	501	74	447	55	2,936	254	11.6	190





平成31年3月31日現在

相談総数 2,919件

相談区分 /相談者区分 網掛は延件数	合	計	本	人	家族	同居	家族		家族町		近隣	端者	友	人	ホ ゛ラン	ソティア	知 その		ケア −シ`		保健主管		保健事務	福祉	医療	機関	介護施	保険設	社会協調	福祉	民事業		民生	委員	その	他
村住(は延1十女)	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
合計	2,905	2,919	533	537	173	173	98	98	189	190	20	20	7	7	1	1	4	4	541	542	573	580	30	30	120	120	2	2	72	72	231	231	230	230	81	82
介護・日常生活 に関する相談	2,044	2,055	368	370	118	118	63	63	134	135	16	16	6	6	1	1	4	4	377	378	494	501	22	22	83	83	2	2	35	35	93	93	185	185	43	43
サービスの利用 に関する相談	581	583	116	118	41	41	21	21	26	26	2	2	0	0	0	0	0	0	126	126	62	62	0	0	8	8	0	0	21	21	116	116	25	25	17	17
医療 に関する相談	85	85	7	7	5	5	2	2	5	5	2	2	0	0	0	0	0	0	19	19	4	4	1	1	21	21	0	0	4	4	2	2	13	13	0	0
所得・家庭生活 に関する相談	20	20	5	5	6	6	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
その他	5	5	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
苦情相談	5	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
権利擁護 に関する相談	165	166	35	35	3	3	12	12	20	20	0	0	1	1	0	0	0	0	14	14	11	11	6	6	7	7	0	0	12	12	19	19	5	5	20	21

※参考 月次相談件数

4月	220
5月	227
6月	197
7月	159
8月	296
9月	193
10月	217
11月	382
12月	239
1月	290
2月	244
3月	255
合計	2,919

						F	勺訳								内訳			
$ \cdot $			介護	予防	初回	糸	総合事業	#	初回			介護	予防	+700	ŕ	総合事業		.
	国保連 請求総額	地域包括 支援センター 請求分	要 支 援 1	要 支 援 2	小模 幾 能 携 算	事業 対象 者	要 支 援 1	要 支 援 2	小 模 機 能 携 算	他事業所 担当分 差額	他事業所 扱い分 合計	要 支 援 1	要 支援 2	初回 小規模 多機能 連携 加算	事業 対象者	要 支 援 1	要 支援 2	初回 小規模 多機能 連携 加算
4月	380,100	286,145	14	29	2	1	12	8	0	4,945	93,955	1	8	0	0	4	10	0
5月	378,800	293,015	13	30	1	1	11	10	2	4,300	81,700	2	8	0	0	3	8	0
6月	413,600	315,630	16	31	2	1	12	10	1	5,630	97,970	2	9	1	0	3	8	1
7月	398,600	304,645	17	28	0	1	11	12	1	4,945	93,955	2	9	0	0	3	9	0
8月	413,600	323,730	19	29	6	1	10	11	0	4,730	89,870	2	9	0	0	2	9	0
9月	433,400	339,445	20	29	0	2	11	13	4	4,945	93,955	2	9	0	0	3	9	0
10月	434,700	333,960	19	32	2	2	9	13	0	5,460	100,740	1	12	1	0	3	8	0
11月	433,400	339,445	19	31	0	5	8	13	3	4,945	93,955	1	12	0	0	3	7	0
12月	439,000	345,045	21	30	2	6	7	13	1	4,945	93,955	2	10	0	0	3	8	0
1月	430,400	333,745	19	30	2	6	7	13	0	5,245	96,655	3	10	1	0	2	8	0
2月	423,100	325,060	16	32	1	7	6	12	1	5,160	98,040	4	10	0	0	3	7	0
3月	416,200	315,460	17	30	3	7	5	11	0	5,160	100,740	5	10	1	0	3	6	0
合計	4,994,900	3,855,325	210	361	21	40	109	139	13	60,410	1,135,490	27	116	4	0	35	97	1

法人単位資金収支計算書 (自)平成30年04月01日 (至)平成31年03月31日

法 人:社会福祉法人 開成町社会福祉協議会事 業:法人全体

1 / 1

(単位:円)

	勘定科目	予 算(A)	決 算 (B)	差 異 (A-B)	備考
事	会費収入	3,622,000	3,403,000	219,000	
業	寄附金収入	628,000	870,013	242,013	
活	補助金収入	35,431,000	35,431,000	0	
動	受託金収入	47,799,200	45,308,289	2,490,911	
に収		12,310,000	10,217,927	2,092,073	
^ ی	共同募金配分金収入	1,810,000	1,810,768	768	
る	介護保険事業収入	40,872,000	33,409,456	7,462,544	
ЦΣ	受取利息配当金収入	306,000	204,700	101,300	
支	その他の収入	315,000	332,216	17,216	
	事業活動収入計(1)	143,093,200	130,987,369	12,105,831	
	人件費支出	87,230,177	77,293,989	9,936,188	
_	事業費支出	26,757,599	25,145,841	1,611,758	
支出	事務費支出	26,767,191	26,478,583	288,608	
	その他の支出	1,401,380	1,398,339	3,041	
	事業活動支出計(2)	142,156,347	130,316,752	11,839,595	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	936,853	670,617	266,236	
施	施設整備等補助金収入	0	80,000	80,000	
設			·		
整収					
備					
等					
に	施設整備等収入計(4)	0	80,000	80,000	
ょー	固定資産取得支出	0	108,864	108,864	
る	ファイナンス・リース債務の返済支出	779,000	778,896	104	
収点					
支					
	************************************	770,000	007.700	400.700	
	施設整備等支出計(5) 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	779,000 779,000	887,760 807,760	108,760 28,760	
そ	積立資産取崩収入	1,388,000	1,117,587	270,413	
の	慎立貝连	1,300,000	1,117,567	270,413	
他の人					
活					
動	その他の活動収入計(7)	1,388,000	1,117,587	270,413	
<u> </u>	基金積立資産支出	852,000	850,000	2,000	
ょ	積立資産支出	4,260,000	3,668,000	592,000	
る対出		, 200, 000	2,230,030	222,000	
収出					
支					
	その他の活動支出計(8)	5,112,000	4,518,000	594,000	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	3,724,000	3,400,413	323,587	
予備	費支出(10)	2,616,000	-	1,975,998	
		640,002			
当期	資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	5,542,145	3,537,556	2,004,589	
		2,3.2,0	2,23.,000	_, ,	
前期		6,505,555	17,436,198	10,930,643	
	末支払資金残高(11)+(12)	963,410	13,898,642	12,935,232	

法人単位事業活動計算書 (自)平成30年04月01日 (至)平成31年03月31日

法 人:社会福祉法人 開成町社会福祉協議会事 業:法人全体

1 / 1 (単位:円)

					(単位:円)
		勘定科目	当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)
サ		会費収益	3,403,000	3,375,000	28,000
		寄附金収益	870,013	917,086	47,073
ビ		経常経費補助金収益	35,431,000	34,766,000	665,000
ス	収益	受託金収益	45,308,289	48,664,832	3,356,543
活		事業収益	10,217,927	9,611,110	606,817
動		共同募金配分金収益	1,810,768	1,801,454	9,314
増		介護保険事業収益	33,409,456	33,640,223	230,767
減		サービス活動収益計(1)	130,450,453	132,775,705	2,325,252
の		人件費	77,293,989	79,236,093	1,942,104
部		事業費	25,145,841	23,995,490	1,150,351
	費用	事務費	26,478,583	23,118,326	3,360,257
	H	基金組入額	850,000	0	850,000
		減価償却費	2,114,006	2,164,606	50,600
		国庫補助金等特別積立金取崩額	306,665	300,000	6,665
		サービス活動費用計(2)	131,575,754	128,214,515	3,361,239
サ		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	1,125,301	4,561,190	5,686,491
ו		受取利息配当金収益	204,700	244,700	40,000
Ľ	ПΔ	その他のサーピス活動外収益	332,216	275,935	56,281
ス	収益				
活					
動		サービュに乗り(四分型/4)	500,040	E20, C2E	40,004
外		サービス活動外収益計(4)	536,916	520,635	16,281
増		ての他のパーに入占動が負用	1,398,339	46,974	1,351,365
	費				
減の	用				
部					
			1,398,339	46,974	1,351,365
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	861,423	473,661	1,335,084
経	常均	曾減差額(7)=(3)+(6)	1,986,724	5,034,851	7,021,575
特		施設整備等補助金収益	80,000	0	80,000
別		その他の特別収益	0	27,000	27,000
増	収益				
減					
の					
部		特別収益計(8)	80,000	27,000	53,000
		固定資産売却損・処分損	1	4	3
	弗	国庫補助金等特別積立金積立額	80,000	0	80,000
	費用	その他の特別損失	0	778,896	778,896
		特別費用計(9)	80,001	778,900	698,899
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	1	773,900	751,899
当	期流	舌動增減差額(11)=(7)+(10)	1,986,725	4,282,951	6,269,676
繰越		期繰越活動增減差額(12)	21,140,160	9,636,209	11,503,951
超活動		期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	19,153,435	13,919,160	5,234,275
増減	基	本金取崩額(14)	0	0	0
差額	基	金取崩額(15)	1,117,587	2,808,000	1,690,413
の部	そ	の他の積立金取崩額(16)	0	8,645,000	8,645,000
1417	そ	の他の積立金積立額(17)	3,668,000	4,232,000	564,000
	次	期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	16,603,022	21,140,160	4,537,138
	_				

法人単位貸借対照表 平成31年03月31日現在

法 人:社会福祉法人 開成町社会福祉協議会事 業:法人全体

1 / 1 (単位:円)

	資産の	部			負債の	部	
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	31,949,822	27,991,892	3,957,930	流動負債	18,830,076	10,555,694	8,274,382
現金預金	21,395,751	18,797,343	2,598,408	事業未払金	16,249,730	10,771,065	5,478,665
未収金	9,703,125	8,254,488	1,448,637	1 年以内返済予定リース債務	778,896	0	778,896
立替金	89,110	71,153	17,957	預り金	1,801,450	1,182,964	618,486
前払金	171,036	275,959	104,923	その他の流動負債	0	1,398,335	1,398,335
前払費用	0	0	0				
仮払金	590,800	592,949	2,149				
その他の流動資産	0	0	0				
固定資産	155,460,122	153,232,352	2,227,770	固定負債	15,975,696	16,700,988	725,292
基本財産	1,000,000	1,000,000	0	リース債務	778,896	2,336,688	1,557,792
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	退職給付引当金	15,196,800	14,364,300	832,500
その他の固定資産	154,460,122	152,232,352	2,227,770	負債の部合計	34,805,772	27,256,682	7,549,090
車輌運搬具	1,016,669	1,626,669	610,000		純資産の部		
器具及び備品	99,796	3	99,793	基本金	1,000,000	1,000,000	0
有形リース資産	1,557,792	2,336,688	778,896	基本金	1,000,000	1,000,000	0
権利	72,800	72,800	0	基金	68,040,879	68,308,466	267,587
ソフトウェア	2,088,450	2,804,490	716,040	福祉基金	68,040,879	68,308,466	267,587
投資有価証券	20,000,000	110,000,000	90,000,000	国庫補助金等特別積立金	573,335	800,000	226,665
退職給付引当資産	15,196,800	14,364,300	832,500	その他の積立金	66,386,936	62,718,936	3,668,000
福祉基金積立資産	48,040,879	8,308,466	39,732,413	退職共済積立金	66,386,936	62,718,936	3,668,000
退職共済積立資産	66,386,936	12,718,936	53,668,000	次期繰越活動増減差額	16,603,022	21,140,160	4,537,138
				(うち当期活動増減差額)	1,986,725	4,282,951	6,269,676
				純資産の部合計	152,604,172	153,967,562	1,363,390
資産の部合計	187,409,944	181,224,244	6,185,700	負債及び純資産の部合計	187,409,944	181,224,244	6,185,700

財産目録 平成31年03月31日現在

法 人:社会福祉法人 開成町社会福祉協議会 事 業:法人全体

1 / 2

						(単位:円)
貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
資産の部		-				
1 流動資産						
現金預金	*別添貸借対照表のとおり	-		-	-	21,395,75
未収金	*別添明細表のとおり	-		-	-	9,703,12
立替金	*同上	-		-	-	89,11
前払金	*同上	-		-	-	171,03
前払費用		-		-	-	
仮払金	*同上	-		-	-	590,80
その他の流動資産		-		-	-	
		⊥ 産合計				31,949,82
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金		-		-	-	1,000,00
	基本財	産合計				1,000,00
(2) その他の固定資産					T	
車輌運搬具	軽自動車貨物/軽トラック他	-		10,017,800		1,016,66
器具及び備品	冷凍冷蔵庫(SRR-G1261C2A) 他	-		767,844	668,048	99,79
有形リース資産	*別添明細表のとおり 	-		-	-	1,557,79
権利	電話加入権 (82-5222)	-		-	-	72,80
ソフトウェア	PCシステム ワイズマン	-		3,580,200	1,491,750	2,088,45
投資有価証券	*別添明細表のとおり	-		-	-	20,000,00
退職給付引当資産	神奈川県福利協会	-		-	-	15,196,80
福祉基金積立資産	福祉基金積立	-		-	-	48,040,87
退職共済積立資産	退職金積立	-		-	-	66,386,93
	その他の固	定資産合計		·		154,460,12
	固定資					155,460,12
4 序の部	資産	合計				187,409,94
負債の部 4 済動免債						
1 流動負債 事業未払金	*別添明細表のとおり	-		-	-	16,249,73
1 年以内返済予定リー		-		-	-	778,89
ス債務 預り金	*同上	-		-	-	1,801,45
その他の流動負債		-		-	-	, ,
		<u> </u> 				18,830,07
	川野只					10,000,01
<u> リース債務</u>	リース債務残	-		-	-	778,89
退職給付引当金	神奈川県福利協会	-		-	-	15,196,80
		 債合計				15,975,69
	負債・					34,805,77
	差引納					152,604,17

財産目録 平成31年03月31日現在

法 人:社会福祉法人 開成町社会福祉協議会

事 業:法人全体

/ 2

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
---------	--------	------	-------	------	---------	---------

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。

- エル、 注切が「複数のも物口には、行口で控べた」可に加りて記載するものとする。
 同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
 科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
 「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
 なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
 「貸借対照表価額」欄は「取得価額 欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
 「貸借対照表価額」欄は「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
- また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輌運搬具の には会社名と車種を記載すること。車輌番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

財産目録明細表 平成31年03月31日現在

区分	相手方	金額(円)	説明
未収金			
社会福祉 事業			
福祉・企画部門 拠点			
法人運営事業	三菱UFJモルガンスタンレー証券	△ 19,124	債券満期時償還分
福祉サービス部門 拠点			5,35,13,743.23,52,72,73
在宅福祉サービス事業	利用者(移送サービス)	73,200	利用料 2・3月分
	同(福祉機器貸与)	7,170	同 3月分
	同(生活援助ヘルパー)	16,500	同 3月分
	開成町(コミュニティバス)	991,918	受託金第5期分
居宅介護支援事業	国保連他	1,342,955	報酬他 2・3月分
通所介護事業		3,569,036	
地域包括支援センター事業		644,390	
公益事業	민	044,090	וט
ム血 事業 福祉会館 拠点			
福祉会館管理運営事業	利用者(福祉会館)	3,080	利用料 30年度分
迪加 公加台坯建合学来	法人運営事業	3,074,000	H30資金不足による法人運営事業からの借
計	囚八座口学术	9,703,125	入分
		3,100,120	
立替金			
公益 事業			
福祉会館 拠点			
福祉会館管理運営事業	KOMNYれんげ	89,110	電気料金1% 4~1月分
計		89,110	
前払金			
福祉・企画部門 拠点			
法人運営事業	全社協	1,040	役員保険料 H31分
四八座口手术	同(生活支援体制整備)	31,755	事業保険料 H31分
福祉サービス部門 拠点	19 (工心人)及仲则在阴人	31,733	于本体区代 101月
安心センター事業	同(日常生活自立支援)	9,280	事業保険料 H31分
在宅福祉サービス事業	同(移送サービス)	38,000	
はも間はり一し入事未	同(生活援助事業)	8,033	
	同(丘心援助争集)	13,440	
	同(コミュニティバス)	40,000	
	国庫(コミュニティバス)	10,000	¹⁹ H31契約収入印紙
地域匀伏士揺わいり、 声楽			
地域包括支援センター事業計	土工协	19,488 171,036	_ 事業保険料 H31分 ┐
āl		171,030	
事業区分間貸付金			
社会福祉 事業			
福祉•企画部門 拠点			
法人運営事業	福祉会館管理運営事業	3,074,000	H30町返還(減免補填)分+電気料金3月 一分
計		3,074,000	

区分	相手方	金額(円)	説明
拠点区分間貸付金 社会福祉 事業			
福祉・企画部門 拠点			
法人運営事業	通所介護事業	8,645,000	H28資金不足による退職積立からの貸付 (未清算分)
計		8,645,000	(本/月井刀)
			_
仮払金			
公益 事業 福祉会館 拠点			
福祉会館管理運営事業	小田原税務署	590,800	消費税 中間申告納付分
計		590,800	7/35/4/50 1 1=5 1 2 //4/313/3
			_
車輛運搬具			
社会福祉 事業			
福祉·企画部門 拠点 法人運営事業	軽貨物	1	スズキ軽トラック (H17,08購入)
丛 八是日子来	普通ワゴン	1	トヨタレジアス (H19.08購入)
福祉サービス部門 拠点			
通所介護事業	中型バス	1,016,667	日産シビリアン (H22.12購入)
計		1,016,669	
器具及び備品			
社会福祉 事業			
福祉・企画部門 拠点			
法人運営事業	紙折機	99,794	ドレスインNA150 (H30.11購入)
ᆉᅙᆉᄔᆉᆉᅟᆝᄼᅩᄀᅕᄗᄱᄝᅟᆉᄢᅟᆂ	液晶テレビ	1	東芝37H8000 (H21.07購入)
福祉サービス部門 拠点 通所介護事業	冷凍冷蔵庫	1	SRR-G1261C2A (H2206購入)
計		99,796	
有形リース資産			
社会福祉 事業 福祉·企画部門 拠点			
法人運営事業	リコーリース	1,557,792	PCリース5年中、3年次目
計	<i>y</i>	1,557,792	
			_
権利			
社会福祉 事業 福祉・企画部門 拠点			
福祉·止曲部门 拠点 法人運営事業	NTT	72,800	電話加入権(82-5222他)
計	• •	72,800	
			_
ソフトウェア			
社会福祉 事業 福祉サービス部門 拠点			
地域包括支援センター事業	ワイズマン	2,088,450	PCシステム
it		2,088,450	

区分	相手方	金額(円)	説明

投資有価証券

社会福祉 事業

福祉•企画部門 拠点

法人運営事業 三菱UFJモルガンスタンレー証券 20,000,000 福祉基金(千葉県債) 計

20,000,000

区分	扣手方	全知 (田)	≣台日
△ 刀	イロナノノ	立領(ロ)	市本ツカ

事業未払金

事業未払金			
社会福祉 事業			
福祉・企画部門 拠点			
法人運営事業	常勤職員	87,697	時間外手当 3月分
	非常勤職員 (事務局)	84,150	給与 3月分
	同(生活支援)	150,565	同
	日本年金機構	490,214	社会保険料 2・3月分
	NTT	46,648	電話料金 2・3月分
	日本郵便	1,476	後納郵便 3月分
	開成町	120,000	H30受託金一部返戻(清算)
	福祉会館管理運営事業	3,074,000	H3O資金不足による福祉会館への貸付分
福祉サービス部門 拠点			
安心センター事業	非常勤職員	9,117	給与 3月分
総合相談・援護事業	神奈川県弁護士会	90,540	相談業務委託料 1-3月分
	日本郵便	13,014	後納郵便 3月分
在宅福祉サービス事業	常勤職員	1,126	時間外手当 3月分
	サポーター	380,772	業務手当 3月分 バス
	同	117,081	同移送
	同	49,904	同 生活援助
	日本年金機構	6,715	社会保険料 3月分
	日本郵便	328	後納郵便 3月分
	取引業者	121,915	ガソリン代 3月分
居宅介護支援事業	常勤職員	6,619	時間外手当 3月分
	非常勤職員	155,322	給与 3月分
	日本年金機構	62,938	社会保険料 3月分
	NTT	12,402	電話料金 2・3月分
	日本郵便	640	後納郵便 3月分
通所介護事業	常勤職員	6,755	時間外手当 3月分
	非常勤職員	1,174,036	給与 3月分
	日本年金機構	64,702	社会保険料 3月分
	NTT	1,676	電話料金 2・3月分
	福祉会館管理運営事業	78,580	電気料金 2・3月分4%
	取引業者	123,805	食材料 3月分他
	ハマギンファイナンス他	8,856	振替手数料他
	開成町	75,756	上下水道料金 1・2月分50%
地域包括支援センター事業	常勤職員	24,758	時間外手当 3月分
	非常勤職員	117,151	給与 3月分
	日本年金機構	122,183	社会保険料 3月分
	NTT	15,929	電話料金 2・3月分
	KDDI	1,736	携帯電話料金 3月分
	日本郵便	640	後納郵便 3月分
	取引業者	43,111	ゼロックス料金 3月分
	開成町	3,600,074	H30受託金一部返戻(清算)

区分	相手方	金額(円)	説明
公益 事業 福祉会館 拠点			
福祉会館管理運営事業	常勤職員 小田原年金事務所 NTT 日本郵便 取引業者 湘南電力 開成町	3,378 20,143 4,002 1,424 1,122,008 1,866,841 75,757	時間外手当 3月分 社会保険料 2・3月分 電話料金 2・3月分 後納郵便 3月分 清掃業務他 3月分 電気料金 2・3月分 上下水道料金 1・2月分50%
≣┼	(a)	390,420 2,222,826 16,249,730	H3O受託金一部返戻(清算) H3O減免補填分返戻(清算)
1年以内返済予定リース債務 社会福祉 事業	5		
福祉・企画部門 拠点 法人運営事業 計	リコーリース	778,896 778,896	H31(4年次目)分
預り金~社会保険			
社会福祉 事業 福祉·企画部門 拠点 法人運営事業 計	常勤•非常勤職員	1,298,397 1,298,397	_ 2・3月分
預り金~福祉会館次年度利用 公益 事業	月料		
福祉会館 拠点 福祉会館管理運営事業計	利用者(福祉会館)	484,313 484,313	利用料 H31分
預り金~その他			
社会福祉 事業 福祉·企画部門 拠点 法人運営事業 計	居宅介護支援事業他	18,740 18,740	電話料金
事業区分間借入金			
公益 事業 福祉会館 拠点 福祉会館管理運営事業 計	法人運営事業	3,074,000	H30町返還(減免補填)分十電気料金3月 分
拠点区分間借入金			
社会福祉 事業 福祉サービス部門 拠点 通所介護事業 計	法人運営事業	8,645,000 8,645,000	H28資金不足による退職積立からの借入 (末清算分)

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1)貯蔵品の評価方法 総平均原価法 (2)有価証券の評価方法 移動平均法

(3)退職給与引当金の計上基準 神奈川県福利協会加入し、退職給与引当金を計上

(4)固定資産の減価償却の方法

*車輛運搬具・器具及び備品 定額法

*ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

「神奈川県市町村職員退職手当組合退職手当支給条例」の規定割合により得た額を基準とする。

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。

- (1)法人全体の財務諸表(第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式)
- (2)事業区分別内訳表(第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式)
- (3)財産目録
- 当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。
 - (1)法人全体の財務諸表(第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式)
 - (2)事業区分別内訳表(第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式)
 - (3)社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式)
 - (4)公益事業における拠点区分別内訳表(第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式)
 - (5)各拠点区分におけるサービス区分の内容
 - ア)福祉・企画部門 拠点区分(社会福祉事業)

自治会福祉活動の支援

ボランティアセンターの推進

当事者活動の支援

広報啓発事業の充実

福祉教育事業の充実

事業推進体制の整備

イ)福祉サービス部門 拠点区分(社会福祉事業)

安心センター事業の充実

総合相談・援護事業の充実

在宅福祉サービスの推進(介護保険外)

介護保険事業の推進

ウ)福祉会館管理運営事業 拠点区分(公益事業)

福祉会館管理運営事業

6. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8.担保に供している資産

該当なし

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。 (単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輌運搬具	10,017,800	9,001,131	1,016,669

器具及び備品	767,844	668,048	99,796
合 計	10,785,644	9,669,179	1,116,465

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
有価証券(H29千葉県債)	20,000,000	20,000,000	0
合 計	20,000,000	20,000,000	0

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15 . その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために 必要な事項

該当なし

監査報告書

令和元年5月9日

社会福祉法人 開成町社会福祉協議会 会 長 小 澤 清 司 様

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計 算関係書類(計算書類及びその附属明細書)及び財産目録について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上